

会津若松市斎場 新築工事 設計図

電気設備工事



1. 工事場所 会津若松市 郡 田 大字 黒岩 字 石居7833 地内

建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表 第一による用途区分	備 考
倉庫	R C	2	1003.5575	15	

工事種目	工 事 種 別	工 事 区 分
● 電 灯 設 備		
● 動 力 設 備		
● 電 力 設 備	● 引込電線路設備 ● 幹線設備	
● 受 変 電 設 備		
● 自 家 発 電 設 備		
・ 遊 雷 設 備		
● 電 話 配 管 設 備		
● 電 話 配 線 設 備		
● 電 気 時 計 設 備		
● 拡 声 設 備		
・ 表 示 設 備		
・ インターホン設備	・ インターホン設備 ・ 電鈴設備	
・ 住 宅 情 報 用 設 備		
● テレビ共同受信設備		
● 自 動 火 災 報 知 設 備	● 自動火災報知設備 ・ 自動閉鎖設備	
・ 構 内 交 換 設 備		
・ 中 央 監 視 制 御 設 備		
● 外 灯 設 備		
● 構 内 配 電 線 路 設 備		
● 構 内 電 話 線 路 設 備		
・ 構 内 電 信 線 路 設 備		

1. 共通仕様書

図面及び特記仕様に記載されていない事項は「福島県庁建築備工部仕様書 建設大臣官庁営繕部公共住宅建設工事共通仕様書電気編（昭和60年版）」（以下「公共住宅共通仕様書」と言う。）及び「建設大臣官庁営繕部営繕部監修電気設備工事共通仕様書（昭和60年版）」（以下「営繕共通仕様書」と言う。）による。

2. 特記仕様

本仕様書の取扱いについては次にによる。

(1) 章・項目は番号に○印のついたものを適用する。

(2) 特記事項は◎印または文字に○印をつけたものあるいは書込みのあるものを適用する。

(4) ◎印のない場合は※印を付けたものを適用する。

(4) ◎印と◎印を付けた場合はともに適用する。

(3) 特記事項に記載の（ ）内表示記号で（住○○○）と表示されているものは、「公共住宅共通仕様書」の（章・節・項）を示し、（営○○○○）と表示されているものは、「営繕共通仕様書」の（編・章・節・項）を示す。なお（住総○○○）と表示されているものは、「公共住宅共通仕様書の総則編」（住建○○○）と表示されているものは建築編を示す。

章	項 目	特 記 事 項
①	① 適 用 基 準 等	・ 公共住宅共通仕様書 ・ 解説書電気編（昭和60年版）建設省住宅局監修 ・ ~~電気設備工事標準等（昭和60年版）建設大臣官房官庁営繕部監修~~ ・ 電気設備工事監理指針（昭和60年版）建設大臣官房官庁営繕部監修 ・ 福島県設備工事標準図（昭和61年版） ・ 建設大臣認定優良住宅部品データブック（ ）

防 食 散 樓

提出時期	着 工 前	工 事 中	竣 工	部 数
工事報告書	○	○	○	1部
既 済 検 査	○	○		2部
	○	○		1部(10枚位)
中 間 検 査	○	○		1部(10枚位)
竣 工 検 査	○	○	○	2部
	○		○	1部(10枚位)

塗覆装鋼管（接続部のみ） 電線管の地下埋設の場合はPEライニング電線管を除き防食ビ

15	配管支持
----	------

地上3階建以上の建物の最上階、屋上及び塔屋に設置する配線の支持方法 (営2.2.1.11)

13	インターホン設備	1 通話網方式	・親子式・相互式・複合式 回線 (営5.1.8.1)
		2 通話方式	・同時通話式・交互通話式 (営5.1.8.1)
		3 形式	・卓上形・壁掛形・電話形 (営5.1.8.1)
		4 ドアホン	・親機(・壁掛形・卓上形)・子機(・露出形・埋込形) (営5.1.8.1)
		5 電源種別	・AC100V・乾電池内蔵 (営5.1.8.1)
		6 標識	※身障者用標識(ピクトグラフ)を子機の上に取付ける。(営5.1.8.1)
		(ピクトグラフ)仕様	
			1) 板 アクリル樹脂板厚さ2mm天井りは厚さ5mmとする。 2) 表示 ピクトグラフによりシルクスクリーン印刷とする。 3) 寸法 150×150(mm) 4) 取り付け 両面粘着テープ張り(ビス併用)とする。
14	電話設備	1 ベル	・露出形・埋込形 径 mm
		2 プザー	・露出形・埋込形(音量調節器・あり・なし)
		3 動作電源	・AC V・DC V (住5.2.8)
15	住宅情報設備	1 訪問用チャイム	本工事に・含む・含まない (住5.2.6)
		2 インターホン	本工事に・含む・含まない (住5.2.6)
		3 集合玄関インターホン	本工事に・含む・含まない (住5.2.6)
		4 ガス漏れ警報器	本工事に・含む・含まない (住5.2.6)
		5 住宅情報盤	本工事に・含む・含まない (住5.2.6)
		6 インターホンオートドアロックシステム	本工事に・含む・含まない (住5.2.11)
16	テレビ共用受信設備	① アンテナ	・VHF素子(・全帯域用・広帯域用・専用帯域用) (住5.2.5) (営5.1.9.2)
		② アンテナマスト	・UHF素子(・低域用・中域用・高域用)
		③ 同上基礎	本工事に・含む(・壁面取付・自立)・含まない (住5.2.5) (営5.1.9.4)
		④ フィーディングシステム	・本工事・別途
		⑤ ブースター	⑦75Ω・300Ω (住5.8.2)
		⑥ 共同受信方式	本工事に・含む(利得30dB以上)・含まない (住5.2.5) (営5.1.9.2)
		⑦ アウトレットの出力端子	・幹線分岐式・直列ユニット式・併用式
		⑧ 機器	・VHF、UHF両用形・UHF形・VHF形 (住5.2.5) (営5.1.9.2)
17	自動火災報知設備	① 受信機	・P形2級5回線・壁掛形・自立形・予備電源付 (住5.2.7) (営5.1.10.2)
		2 副受信機	・回線 (住5.2.7) (営5.1.10.3)
		③ 発信機	・P形2級・露出形・埋込形 (住5.2.7) (営5.1.10.4)
		④ 通知器	差動式スポット形及び煙感知器は確認ランプ付 (住5.2.7) (営5.1.10.5)
		⑤ 表示灯	・DC 30V・AC V (住5.2.7) (営5.1.10.6)
		⑥ 電鈴	・鐘径150mm・普通・防水 (住5.2.7) (営5.1.10.6)
		⑦ 機器収容箱	・単独形(・埋込・露出)・消火栓組込形(別途) (住5.2.7) (営5.1.10.6)
		8 非常警報装置(非常ベル)	・非常電源(・蓄電池・非常電源専用受電設備) (住5.2.9) (営5.1.12.1~6)
			・起動装置(・丸形・角形)
			・機器配置(・各機器単独設置・一体型・埋込形・露出形)
18	自動閉鎖設備	⑨ ガス漏れ警報設備	本工事に・含む・含まない (住5.10.1) (営5.1.13.1~5)
		⑩ 機器	※日本消防検定協会の検定合格証票貼付品・製造者標準品 (住5.2.7) (営5.1.10.2~5)
			※非常警報設備認定業務委員会認定証票貼付品 (住5.2.9) (営5.1.12.2~6)
			※(財)日本ガス機器検査協会の合格証票貼付品 (営5.1.13.5)
19	構内交換設備	1 感知器	・煙感知器・3種(・光電式・イオン化式) 確認ランプ付 (住5.2.10) (営5.1.11.4)
		2 自動閉鎖装置	本工事に・含む・含まない (住5.2.10) (営5.1.11.3)
		3 連動制御盤	本工事に・含む・含まない (住5.2.10) (営5.1.11.2)
		4 警報盤	本工事に・含む・含まない
		5 配管配線	本工事に・含む・含まない(扉・制御盤)
		6 機器	※(財)日本建築センター防災性能評価マーク貼付品 (住5.2.10) (営5.1.11.2~3)
20	中央監視制御設備	1 機種	・ボタン電話式 形・分散中継台式・中継台式 (営6.1.1.1)
		2 回線数	・局線2/3回線、内線8/8回線、専用線2回線
		3 局線表示盤	本工事に・含む・含まない
		4 電話機	・ボタン電話 形台 (営6.1.6.1~3)
		・内線電話・601-A1 形黒色付台	
		・601-A2 形黒色付台	
		・601-P 形黒色付台	
21	構内交換設備	5 ボタン電話用配線	・局線受付電話※ボタン付台・ボタンランプ付台 構内用ケーブル0.5mm、ボタン電話用ケーブル0.4mm
		6 電話機への配線	内線電話1台につき、TIVE0.65-2C「20mm」、2号ワイヤプロテクタ「1.5m」を見込む。 ただしボタン電話機の場合は1台につき 号プロテクタ「1.5m」を見込む。
		7 蓄電池の形式	・鉛・アルカリ(・開放形・密閉形)・総合電源装置 (営6.1.5.1~2)
		8 充電器の形式	・シリコン・セレン (営6.1.5.1~2)
		9 停電時の切替	・自動・手動
		10 中央監視制御装置のシステム構成、機能	別添システム構成図及び機能一覧表ならびに管理点数表による。(営7.1.4.3)
22	外灯設備	1 管理対象	・電気設備・給排水衛生設備・空調設備・防災設備・エレベーター設備 ・自家発電設備・その他()
		2 自動制御設備との整合	自動制御盤及び現場盤とはこのシステム構成において協調をとること。
		3 中央処理装置	主記憶容量 キロバイト (営7.1.4.4)
		4 監視装置および機器	・各装置分離形・一体形 (営7.1.4.1)
		5 グラフィックパネル	・自立形・操作卓組込一体形
		6 記録装置	材質(・合成樹脂製・鋼板製) (営7.1.4.3)
		7 中央監視盤と端末装置との通話	各記録はプリンターを用いて行ない、正常時は黒印字、異常時は赤印字とする。(営7.1.4.5)
		8 電源装置の種別	・簡易形電源装置 ・簡易形電源装置 蓄電池を・設ける(形式 容量 Ah)・設けない ・交流無停電電源装置 (営7.1.5.1~6)
		9	(イ)定格電圧 V、50Hz 容量 KVA (ロ)蓄電池 形式 容量 Ah
		10	営繕共通仕様書機械設備工事(昭和60年版)第4編第1章~第2章による。
23	構内配電線路設備	① 電気方式	・単相2線式 100V、50Hz
		② 配線方式	・地中線式(・直埋式・管路式)・架空線式 (住2.9.1~3、2.10.1~4) (営2.2.12.1~4、2.2.13.1~4)
		③ 灯柱	・鋼管柱・電柱共用・壁面 (住2.1.16)
		④ 灯具	・水銀灯 200W 安定器(・内蔵・別置) (住2.1.19) (営2.1.4.1~5)
		⑤ 自動点滅器	・蛍光灯 W・白熱灯 W
		⑥ 接地	・設ける・設けない
		⑦ タイマー	・単独・共用 (住2.11.4~6、2.11.8) (営2.2.14.4~6、2.2.14.8~9)
24	構内配電線路設備	① 電気方式	・高圧三相3線式 6.6KV、50Hz ・低圧相線式 V、50Hz ・低圧相線式 V、50Hz
		② 電線路の種類	・地中線式(・直埋式・管路式)・架空線式 (住2.9.1~3、2.10.1~4) (営2.2.12.1~4、2.2.13.1~4)
		3 梯子	マンホール、ハンドホール用の昇降用アルミ製梯子1,400mm以上を(・設ける・設けない) (住2.10.2) (営2.2.13.2)
		4 ハンドホール・マンホール蓋	径 600φ・中耐・重耐・防水※クサリ付○入
		5 同上キー	本工事に・含む・含まない
		6 ハンドホール	セパレータを・設ける・設けない (住2.10.2) (営2.2.13.2)
		7 埋設管	※PEライニング電線管・ヒューム管B型○波付硬質ポリエチレン電線管
		8 ヒューム管用コンクリート基礎	本工事に※含む・含まない (営2.2.13.3)
25	構内電信線路設備	① 電線路の種類	・地中線式(・直埋式・管路式)・架空線式 (営5.2.11.1~4、5.2.12.1~3)
		2 梯子	マンホール、ハンドホール用の昇降用アルミ製梯子1,400mm以上を(・設ける・設けない) (住2.10.2) (営2.2.13.2)
		3 ハンドホール・マンホール蓋	径 φ・中耐・重耐・防水※クサリ付○入
		4 同上キー	本工事に・含む・含まない

注1 機器取付高

機器取付高さは、下記を標準とする。ただしこれによりがたい場合は監督員と協議する。

電	力	設	備	通	信	設	備
共	通	電	取引用計器	地上~窓中心	約1,800	引込線引留め高	地上~引込点
			引込開閉器	地上~下端	1,800	集合保安器箱	天上~上端
			引込線引留め高	地上~引込点		端子盤(廊下・室内など)	床上~下端
						・(EPSなど)	床上~中心
			分電盤	床上~中心	1,500(上端1,900以下)	局線表示盤	
						壁付アウトレット(一般)	床上~中心
			スイッチ(一般)	床上~中心	1,300	・(和室)	
			・(和室)		1,200	時	壁掛形時計
			コンセント(一般)		300	計	壁付子時計
			・(和室)		150	括	壁掛形スピーカ
電	灯	機	・(台上)	台上~下端	100	声	壁付アッテネータ
			・(ファン用)	床上~下端	ファン下端	響	表
			・(厨房)	床上~中心	800~1,000	報	壁付発信機
			・(車庫)		1,300	呼	ベル、プザー、チャイム
			・(機械室)		500~1,000	出	壁付押しボタン(一般)
						・(身障者玄関用)	
			ブラケット(一般)	床上~中心	2,100~2,300	示	・(身障者便所内)
			・(廊下)		約2,500	イ	壁付インターホン(一般)
			・(机上)	机上~中心	150	ン	・(身障者用)
			表示灯(身障者用)	床上~上端	1,500	テ	壁付アウトレット(一般)
機	力	器	非露口誘導灯	床上~下端	1,500以上	・(和室)	
			廊下通路誘導灯	床上~上端	1,000以下	機	器
						直	列
						レ	ユニ
						ット	
						・(和室)	
						・(和室)	
						・(和室)	
						・(和室)	
						・(和室)	

注2 電線の色別

ビニル電線を使用するときは、原則として下記のとおり電線を色別する。

空配管にはビニル被覆鉄線(心線1.2mm)を入れる。

(4) 電力設備

電	圧	種	別	配	線	方	法	接	地	側	電	圧	側
高	圧	三	相	三	線	式		—			赤	・	青
低	圧	単	相	二	線	式		白又は薄青			赤又は黒		
低	圧	単	相	二	線	式		電灯回路	白		赤		
低	圧	単	相	三	線	式		コンセント回路	白		黒		
低	圧	単	相	三	線	式		白又は薄青			赤	・	黒
低	圧	単	相	三	線	式		盤以降は単相2線式による。					
低	圧	三	相	三	線	式		白又は薄青			赤	・	青
低	圧	三	相	四	線	式		白又は薄青			赤	・	黒
直	流							負極	青		正極	赤	

【備考】接地線は、緑又は緑/黄

(4) 通信設備

配	線	種	別	色	別
電	気	時	計	青	(赤または黒)
括				黒	黄または赤 (白)
表	示	器	(交	黒	(白)
表	示	器	流)	青	(赤)
イ	ン	タ	ー	赤	黒 青 (白)
火	災	報	知	赤	(表示線) 黒(電話線)
・				青	(ベル線) 黄または青(確認ランプ線)
・				白	(共通線)
接	地	線		緑又は緑/黄	

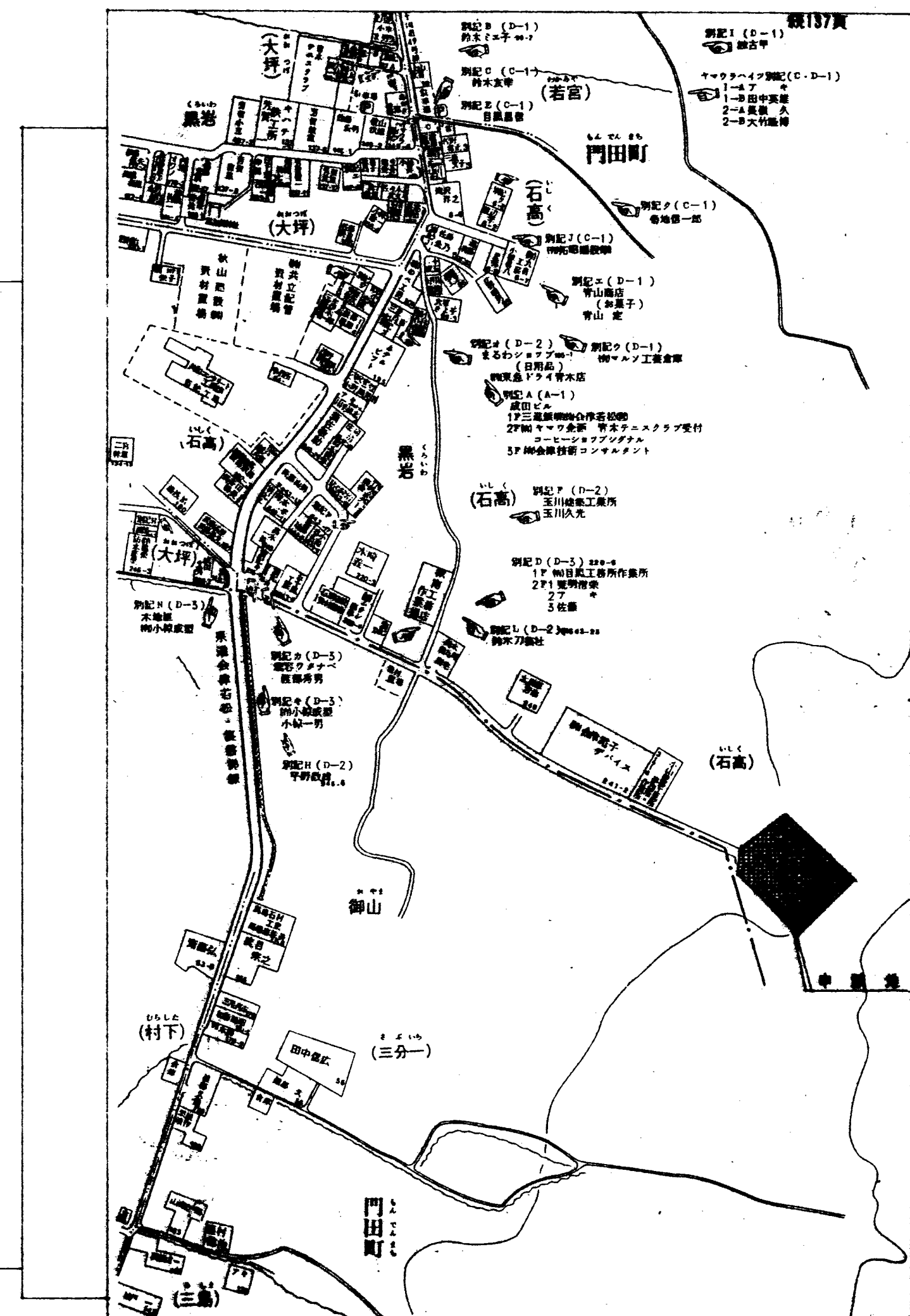
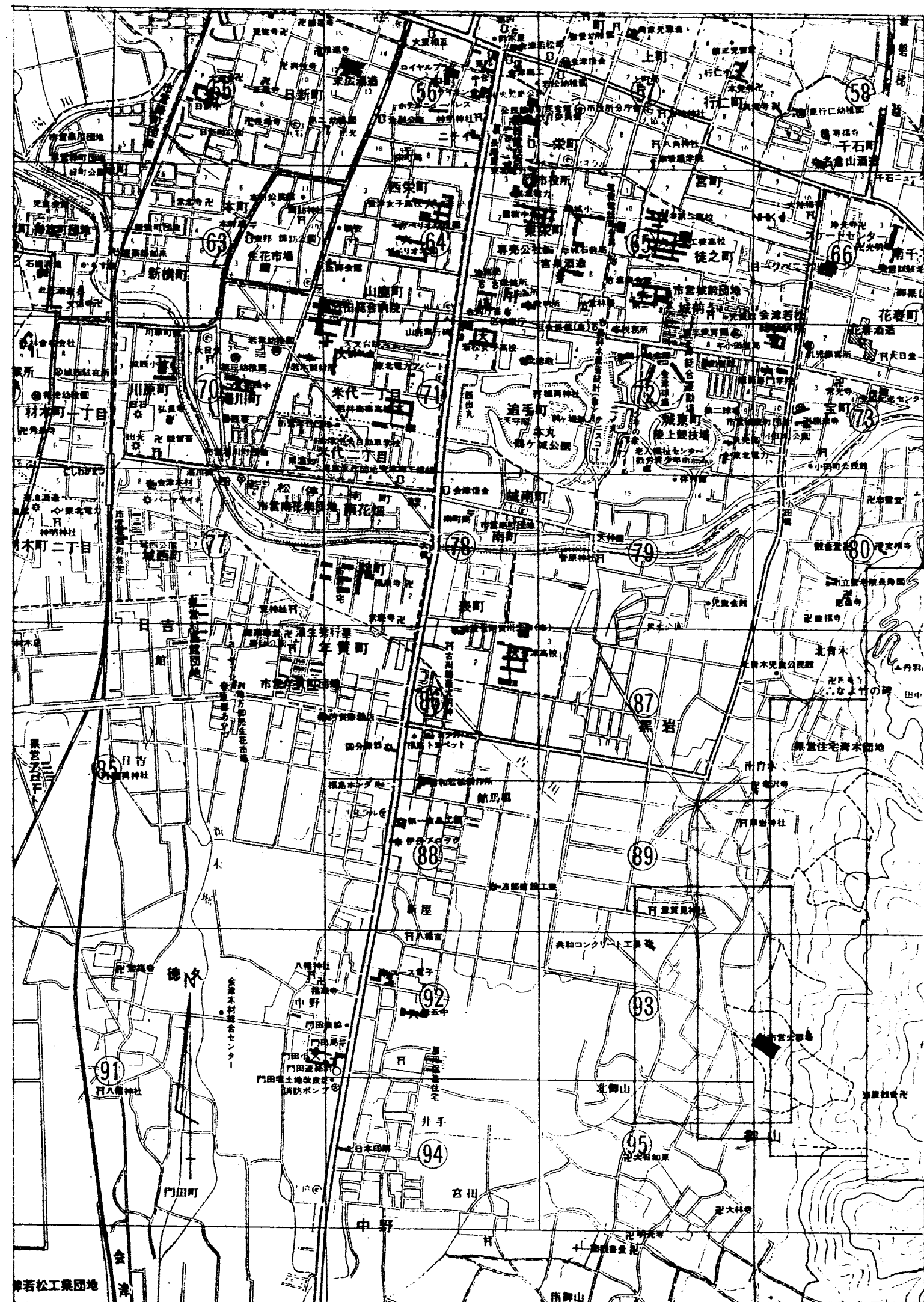
【備考】()内の色は、マイナス側または共通側を示す。

5. 工事範囲

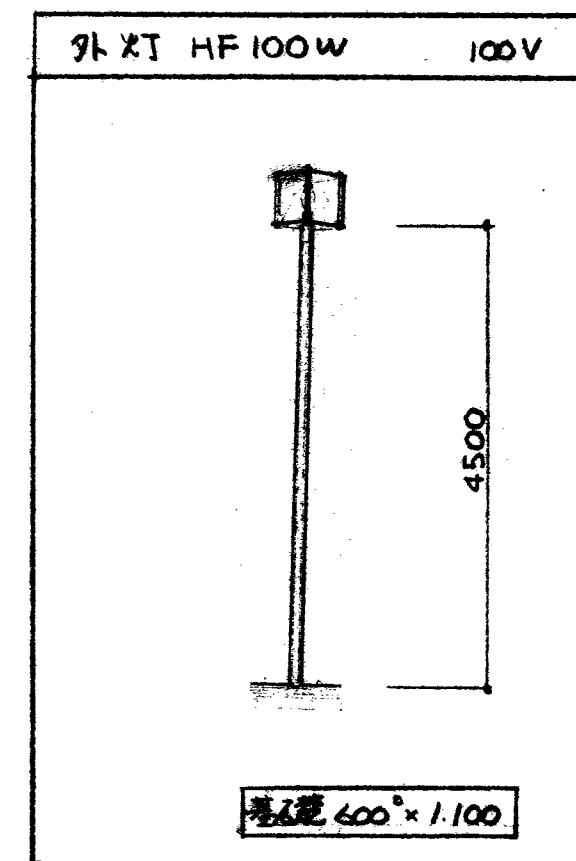
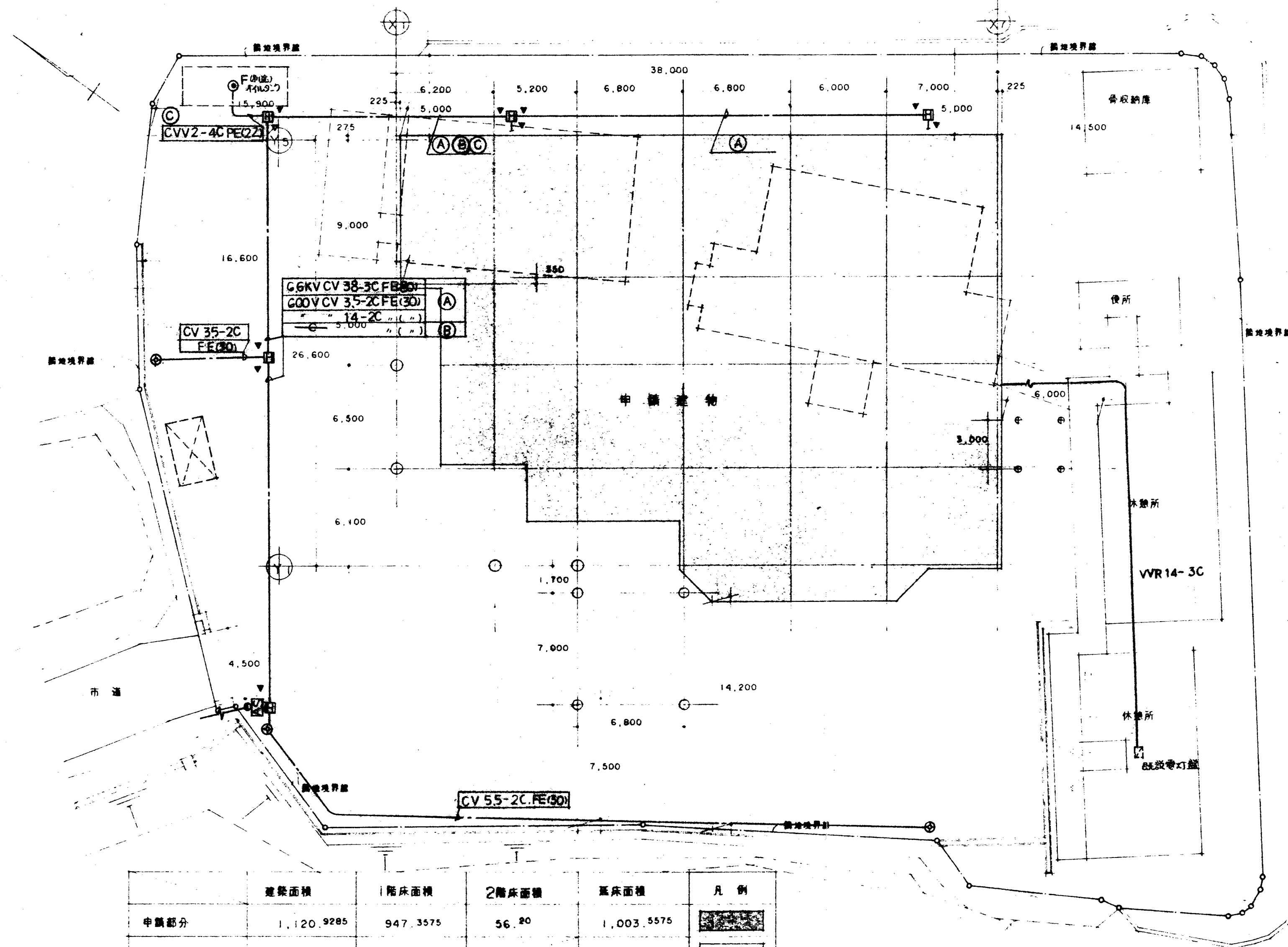
種 別	有 無	備 考
電 気		
受変電	○	
自家発電	○	
蓄電池		
非常照明誘導灯	○	
電灯・コンセント	○	
照明器具	○	
避雷針		
電話	○	
インターホン		
拡声	○	
電気時計		
表示管制		
テレビ・ラジオ共同受信	○	
火災報知	○	
住宅情報機器		
給排水衛生		
給湯		
排水・通気		
衛生器具		
消火栓		
ガス		
し尿浄化槽		
冷暖房		
空調		
暖房		
冷房		
換気		
昇降機		
エレベーター		
ダムウェーター		
準備		
敷地造成		
既存物件の処理		
擁壁		
道路補償		
解体工事		
移転工事		
仕上		
可動間仕切		
造付家具		
カーテンボックス		
外構		
造園		
構内施設		
門		
塼		
外灯		
屋外排水		
その他		
駐車場設備		
シャッター		
自動ドア		
エアーカーテン		
非常用救助袋		
移動家具		
その他の備品		
カーテン類		
カーペット類		
マット類		
ダストシュート		
郵便受		
靴洗器具		
表示板文字		
掲示板		
装飾物		

6. 建築・機械電気各工事の分担区分表
(※適用欄○印が該当する。)

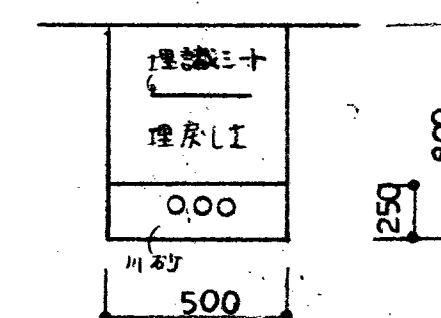
工事項目	適用	工事内容	建築	空調	電気	昇降機	備 考
各 工 事 共 通 項		・ 機械搬入口の設置（E.L.V.用含む）	○				開口部補強及び搬入後閉鎖含む
		・ 機械搬入用吊り下げビーム又はフック	○				位置、工数
		・ ボイラー用自家発電用煙突工事（接続フランジ含む） （耐火被覆の穴明けを含む）	○				煙突までの煙導及び接続は各設備工事
		・ 梁の貫通スリーブの補強	○				スリーブ及び周辺モルタル充填は設備工事
		・ 床・壁の貫通穴及び貫通スリーブ	○	○	○		周辺補強は建築工事
		・ 各壁面ガラリ、フード並びに通風板	○				機械換気用については設備工事
		・ バイブシャフト及び点検口、シャフト内ダクトスベース	○				バイブユニット取付用金物は設備工事
		○ 天井・壁・床の改め口（点検機作用）	○				
		・ 天井・壁・床・貫通パイプ箇所の穴明け	○				
		・ 屋内外トレンチ及び使用ビットの築造	○				
		・ 外装関連貫通パイプ等周辺のコーキング	○				
電 気		○ 電々ケーブル引込みマンホール					特殊なものは建築工事
		○ 電力ケーブル引込みマンホール					
		・ 電気等の床ビット及びカバー、蓋工事					
		・ 変圧器等床ビット基礎工事					
		○ 自家発電機器の床補強・機器基礎工事			○		
		・ の床ビット及び蓋工事					
		・ の天井・壁・床・フック工事					
		・ の地下オイルタンク、オイル配管工事					自家発電室内は電気工事
		・ の水配管工事					
設 備		○ 埋込照明器具及びスピーカの取付用下地及補強			○		切込み並びに補強共（墨出しは電気）
		・ 軽鉄間仕切壁に取付ける熱パイプ貫通の補強	○				
		・ 電動シャッターの配管配線（接続迄）					本体は建築
		・ オートドアの電源供給配管・配線（接続迄）					
		・ 防火戸の煙運動制御装置及び配管・配線（接続迄）					
		・ 可動間仕切内配管工事（接続迄）					
		○ アンテナ・マスト等基礎工事			○		
空 調		・ 蓄熱槽の築造工事	○				断熱工事、送風管、マンホールトラップ、清掃を含む
		・ オイルタンク基礎及び外廊のコンクリート工事	○				
		・ 冷凍機・冷却塔の床補強・機器基礎工事	○				機器アンカー並びに仕上工事は空調
		・ ポンプ、空調機、ファン等の機器基礎工事	○				
		・ 天井、吹出し等の取付用下地枠	○				切込み補強共（墨出しは空調）
		・ 照明器具併設吹出し口			○		
		・ 吸気用ガラリ	○				
		・ 窓下ファンコイルユニットの化粧囲い	○				吹出口、点検口を含む
		・ ファンコイル用配管配線（3Pコンセント迄）			○		100V電源
		・ 手元調整器		○			
		・ 自動制御関係計器類		○			
		・ 自動盤（現場）以降の配管配線		○			
		・ 天井換気扇（100V単独運転の電源は電気工事）	○				全熱交換形のコントロールスイッチは空調
		・ 壁換気扇		○			
昇 降 機		・ 地下各種水槽及びビットの躯体					マンホール・ダクト・汚水処理を含む
		・ 地上受水槽基礎、フェンス築造					
		・ 高架水槽、貯湯槽ポンプ等の床補強及び機器基礎					機器アンカー及び仕上工事は衛生
		・ 機械室厨房等の排水溝及び蓋工事					ガソリントラップ・フリストラップを含む
		・ 天井・床・壁の点検口					点検用梯子・保寸台を含む
		・ 造り付流し、ガス台（配管の特殊な穴あけを含む）					台内配管の周辺ふさはは衛生
		・ 便器取付開口部					切込み・補強共（墨出し・枠は衛生）
		・ 雨 樋					立樋受以降の横引配管は衛生
		・ フロートスイッチ、フロートレススイッチ取付					
		・ 同上用配管配線					
		・ 浄化槽用動力工事					
		・ 鏡及び化粧棚、洗面器上部					意匠図に示した特殊なものは建築
		・ 屋外防火用水槽					
		・ 屋外浄化槽躯体及周囲フェンス築造					
		・ 軽鉄間仕切に取付ける消火栓消火器等の補強					切込み並びに補強（墨出しは衛生）
		・ バイブ貫通含む					
昇 降 機		・ 機械室・シャフト・ビット躯体					機械室軽量コンクリート打設含む
		・ 出入口・インジケーター押釦の穴あけ					補強は建築
		・ 機械室床機械取付用穴あけ					（墨出しは昇降機）
		・ 機械室内配線ダクト穴あけ					（は電気）
		・ 機械室内仕上及び天井機械吊り上げ用フック					
		・ 出入口等取付後の床・壁・天井仕上					
		・ 換気設備及び付属電気設備					
		・ 電源引込					
		・ 接地工事					
		・ 昇降機外の監視盤・操作用板及びインターホン用配線引込み					配管は電気
		・ B.G.M用配線引込工事					
		・ 機械室ビット内コンセント工事					
		・ エレベーター監視盤製作及び配付					



案 內 圖



■	ハンドホール 900 ² x 900 79 600 ² 埋込
▼	1:7リット製標示杭
	外灯用Eは単独で配Iのこと



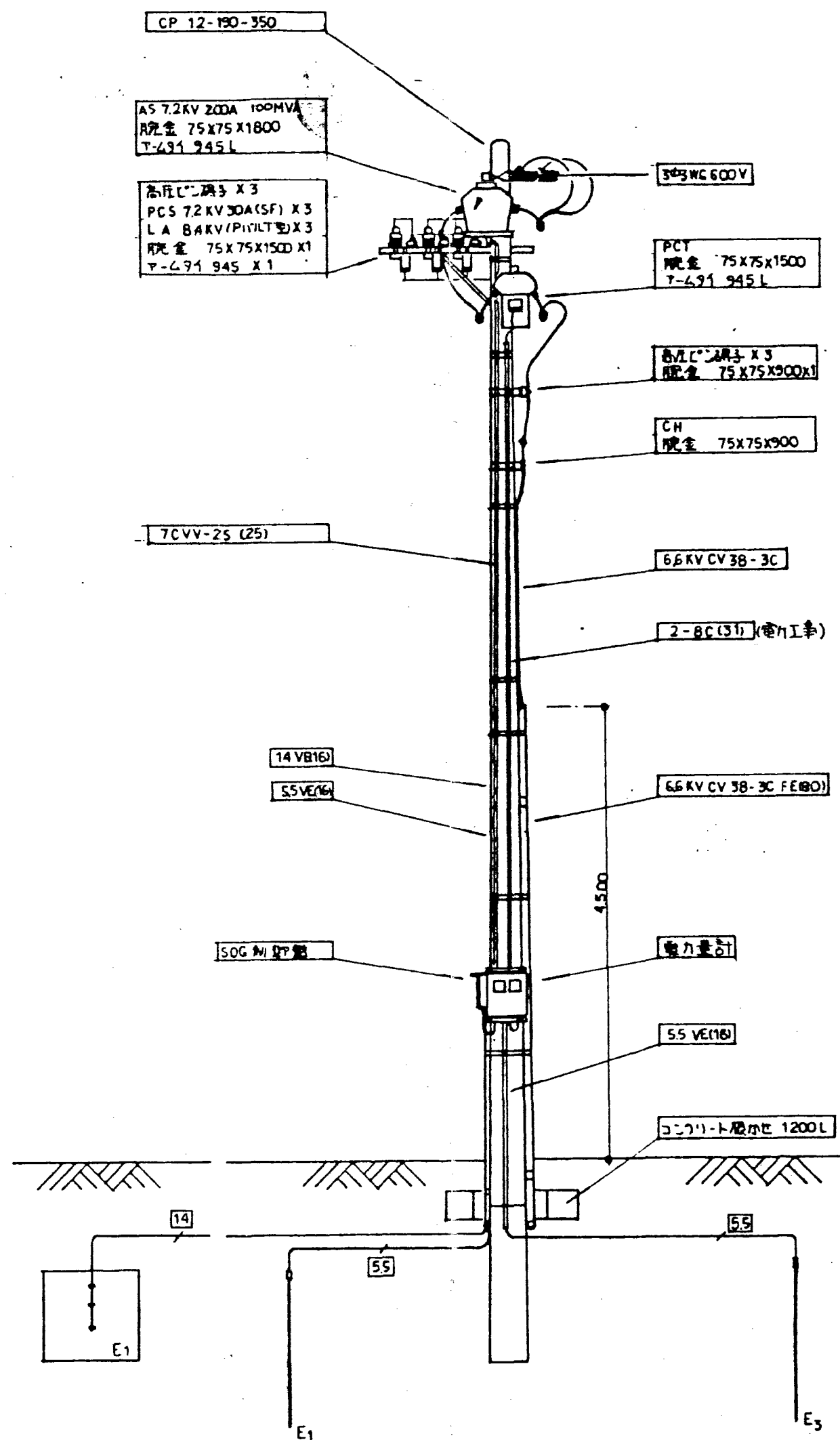
埋設参考図

建ぺい率	1,453.4415	43.48 %
容積率	3,343.0805	39.97 %

	建築面積	1階床面積	2階床面積	延床面積	凡例
申請部分	1,120.9285	947.3575	56.20	1,003.5575	
申請以外部分	332.51265	332.51265		332.51265	
合計	1,453.4415	1,279.87015	56.20	1,336.07015	

解体部分	351.4685	332.1485		332.1485	
------	----------	----------	--	----------	--

配置図 S=1/200



1Ø3W AC 200/100V 50HZ

LP-1 (埋込型)

R N T

MCB 3P100AF/75AT
L = S₂

150 VA	火 報	①
150	時 計 等	②
50	非常放送	③

④	警 報	50 VA
⑤	放 漏 警 報	10
⑥	予 備	

ELB 3P100AF/100AT
(30mA 0.1Sec)

温度表示
70734912-
T-E

2000	ヒーター	①
1800	電 灯	②
1400	"	③
1300	"	④

⑤	電 灯	800
⑥	"	1100
⑦	"	1250

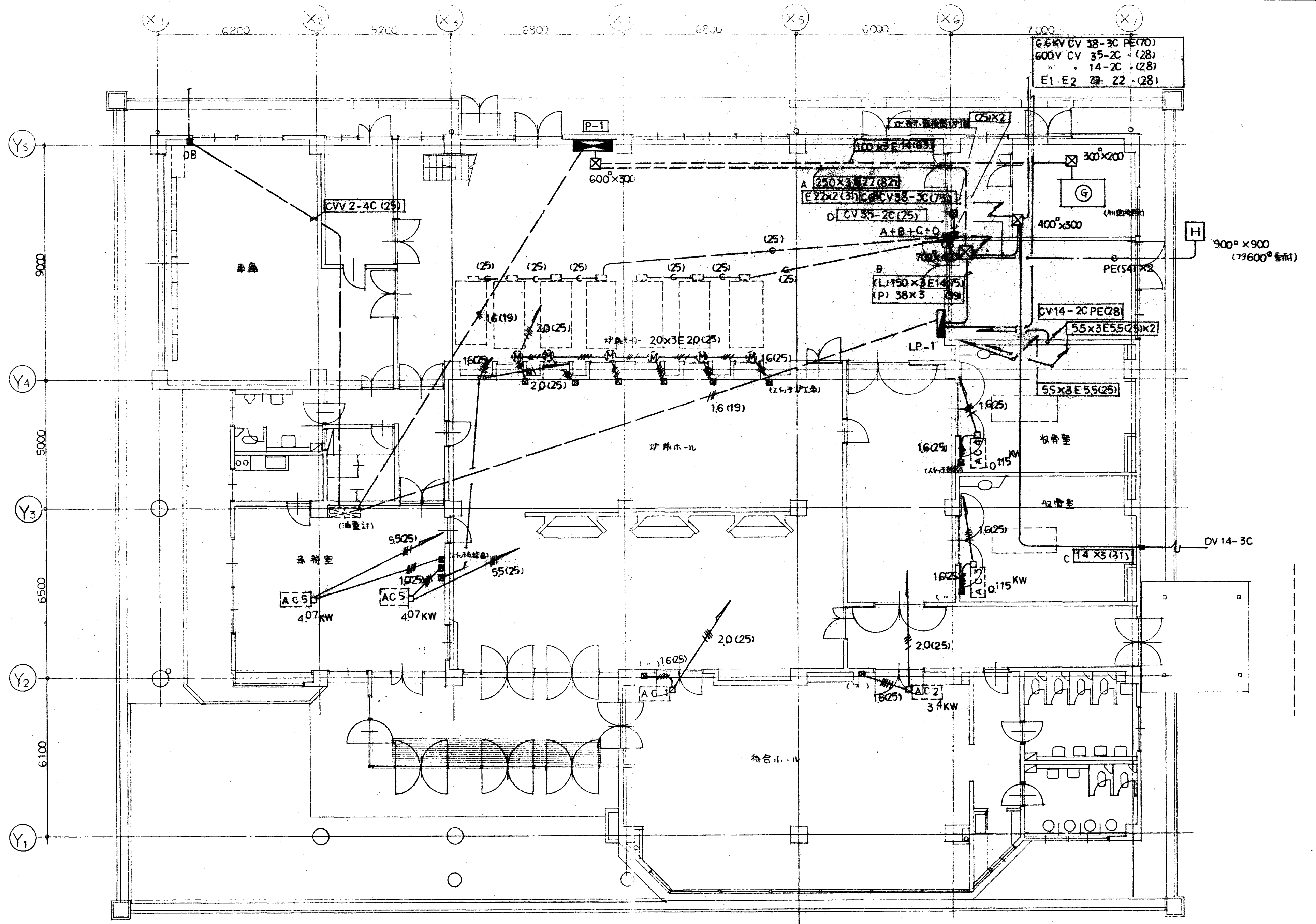
AS TM24H 52

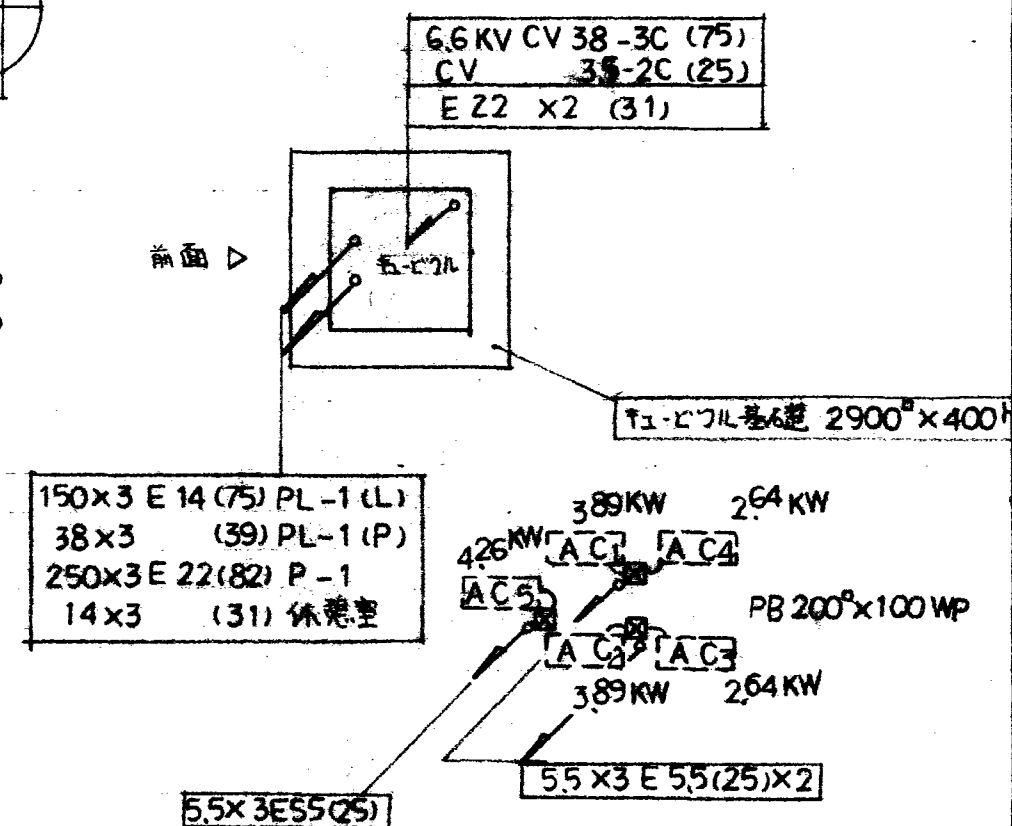
680	外 灯	⑧
500	コンセント	⑨
500	"	⑩
600	"	⑪
100	"	⑫
400	"	⑬
	予 備	⑭
	"	⑮
	"	⑯

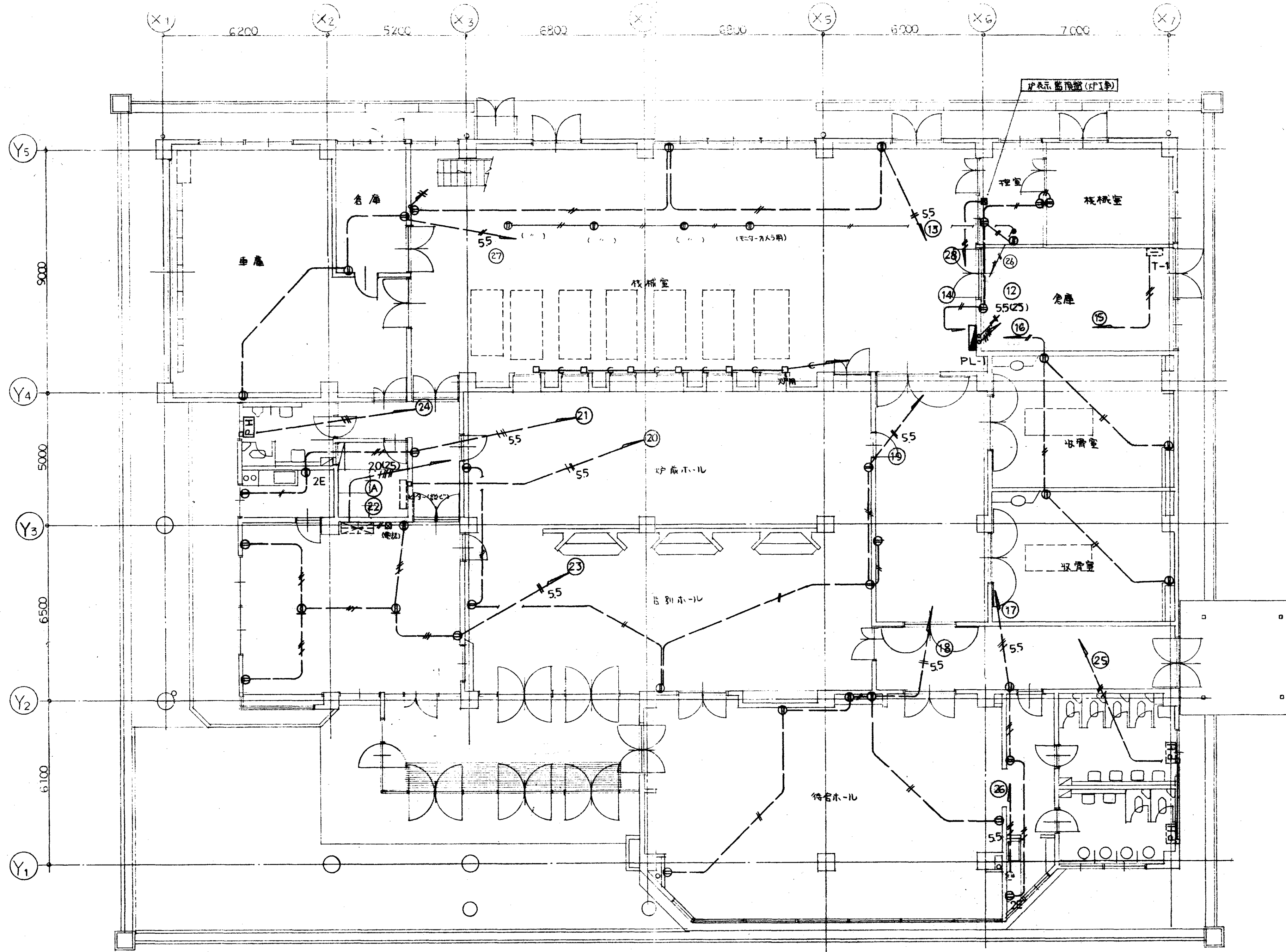
⑰	コンセント	700
⑱	T-Si	100
⑲	コンセント	1200
⑳	"	700
㉑	"	600
㉒	"	300
㉓	予 備	
㉔	"	
㉕	"	

NS x 24

① MCB 2P 50AF/20AT x 1
① ~ ㉔ MCB 1P 50AF/20AT x 24







[PH] パネルヒート 100V 500W サモスタット (リレー付) (トヨタ)

●	埋込コンセント	2P 15A x 2	—	20 x 2 (19)
●	埋込	E13	—	20 x 3 (11)
●	床上下式 (待機)		—	20 x 4 (25)

会津若松市斎場新築

工事設計図

No

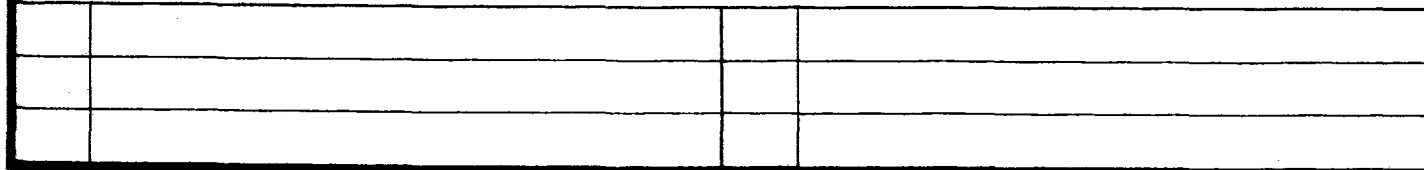
製
図

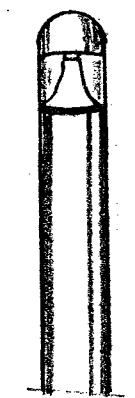
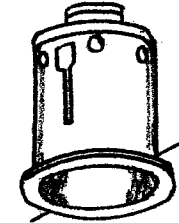
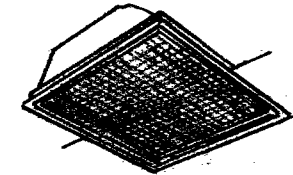
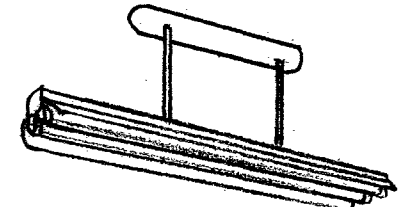
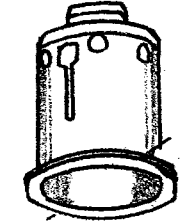
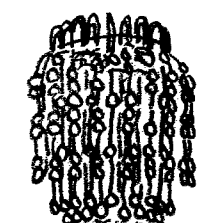
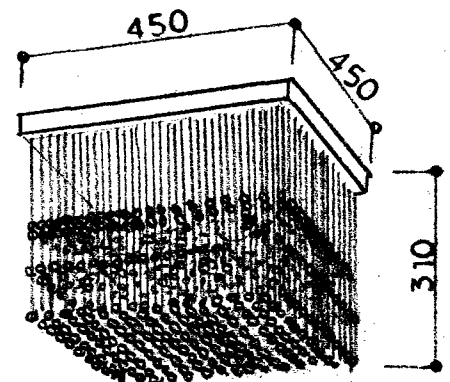
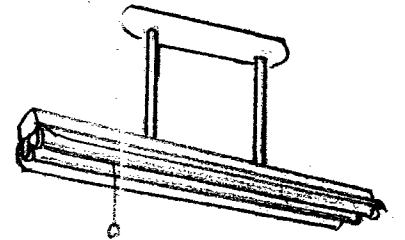
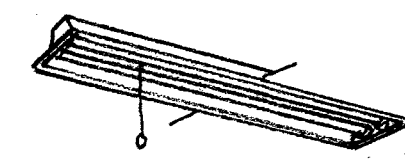
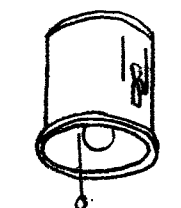
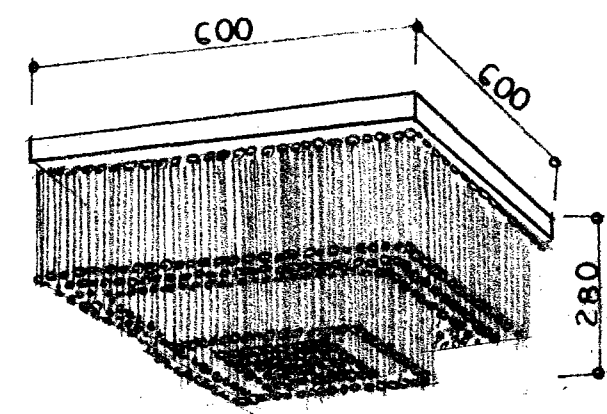
図
説

1階平面図
コンセント設備

S=1:100

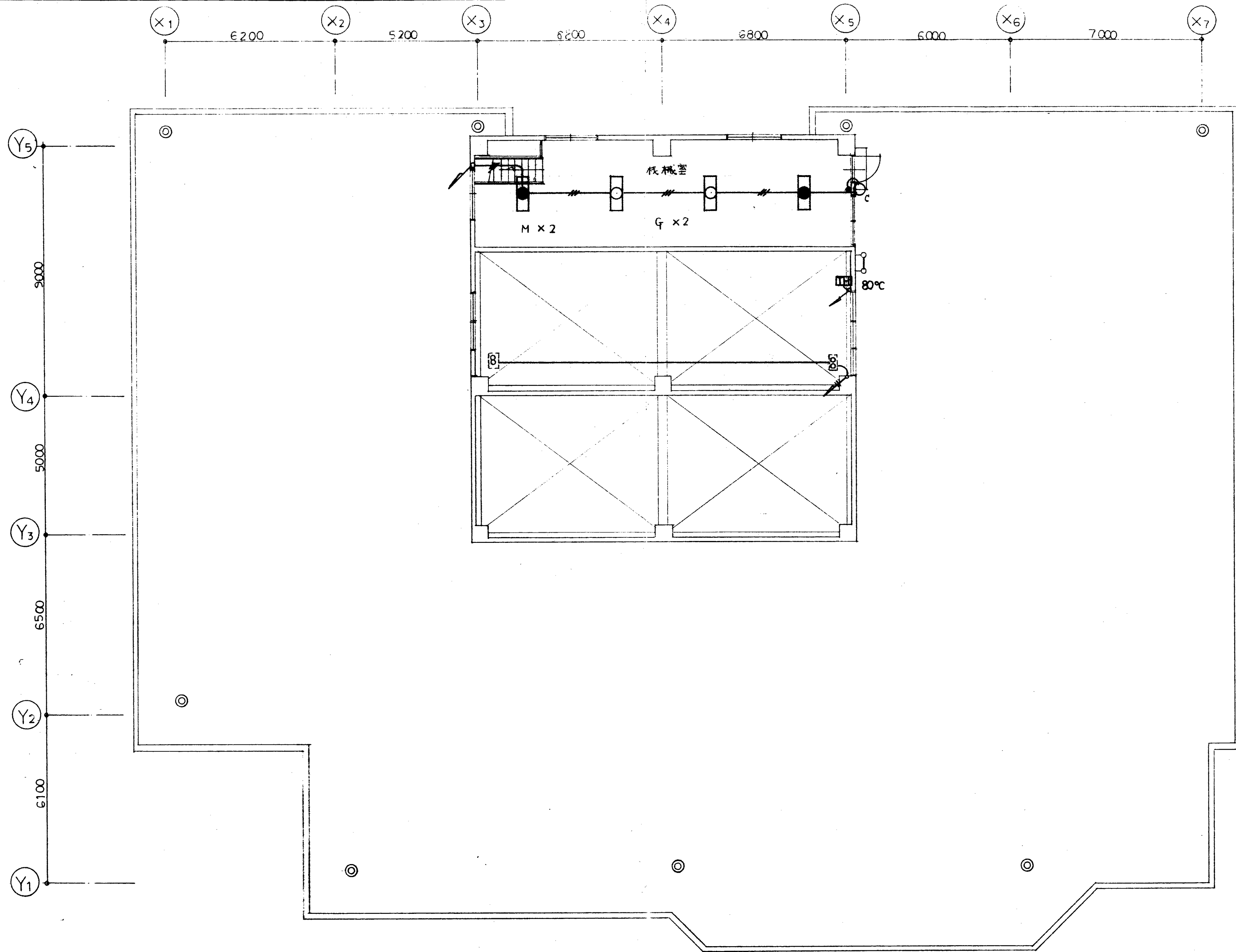
E-14

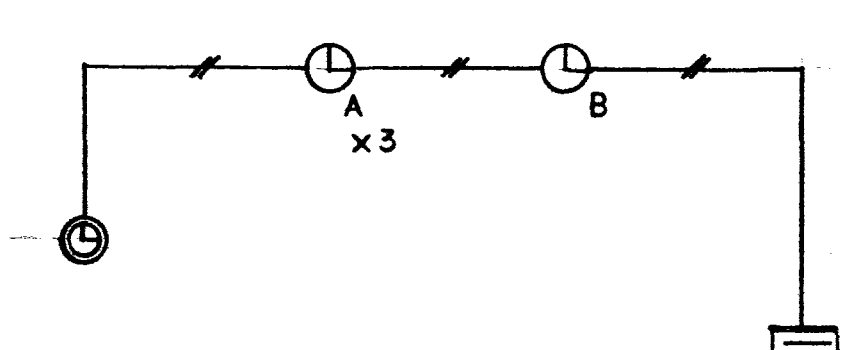
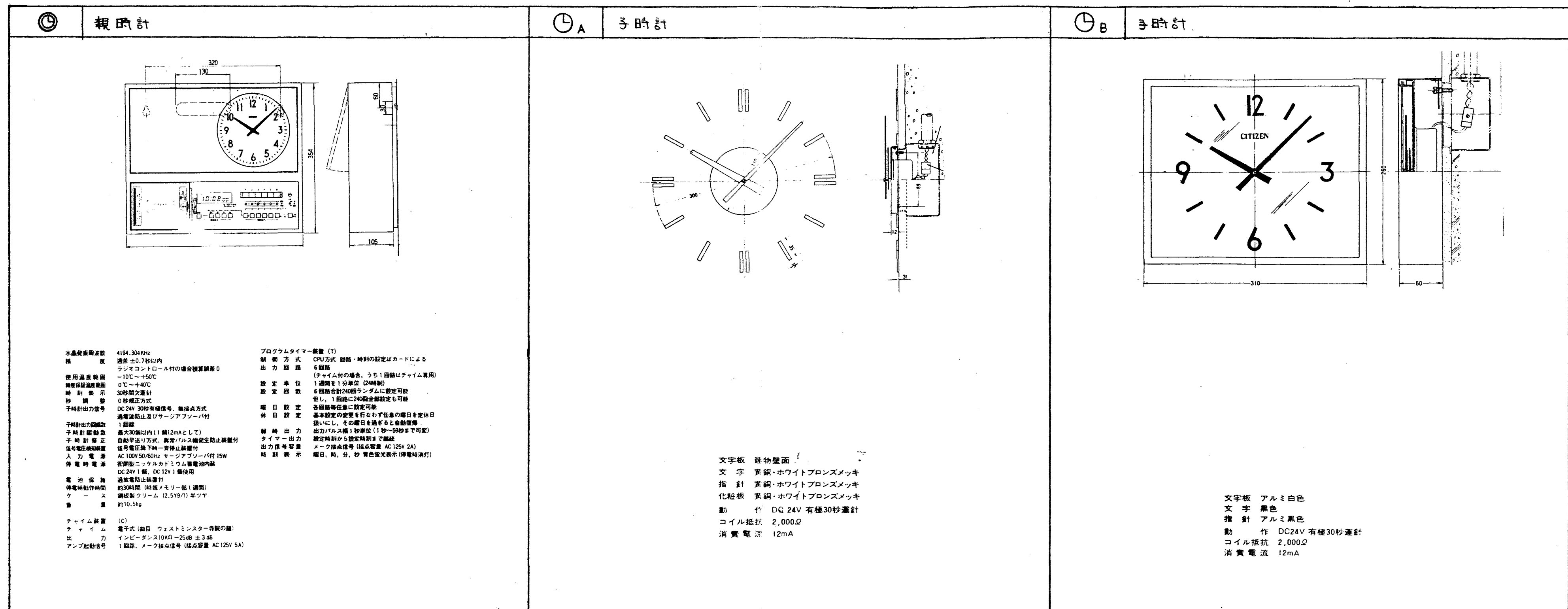


A IL 40 W WP H:1000 カーテンライト 黒色 	B IL 100 W ホワイトフロア色 	C IL 60 W WP (大光) 乳白ガラス アルミ鍍銀黒色ガラス 	D FL 40 W x 4 RH アクリル透明カバー (山田) 	E 1 FL 40 W x 2 RH 2 " 20 W x 2 GH  (官電協)
F 1 FL 40 W x 1 RH 2 " " WP 3 " 40 W x 2 "  (官電協)	G FL 40 W x 2 RH (バリエーション)  (同 左)	H FL 40 W RH  (同 左)	I 1 FL 40 W RH 2 FL 20 W GH  (同 左)	J IL 100 W ホワイトフロア色 (丸角型) 
K IL 40 W 金メッキガラス (山田) 	L IL 40 W x 4 金メッキ ストラスガラス (山田) 	M FL 40 W x 2 50% RH 電池内蔵形  (官電協)	N 1 FL 40 W x 2 50% RH 電池内蔵形 2 " 20 W x 2 55% GH 電池内蔵形  (同 左)	O 1 IL 20 W ホワイトフロア色 電池内蔵形 2 " 40 W " 電池内蔵形 
P IL 60 W x 4 金メッキ ストラスガラス (山田) 				メーカー名は参考とす 電圧は市電 100 V とす



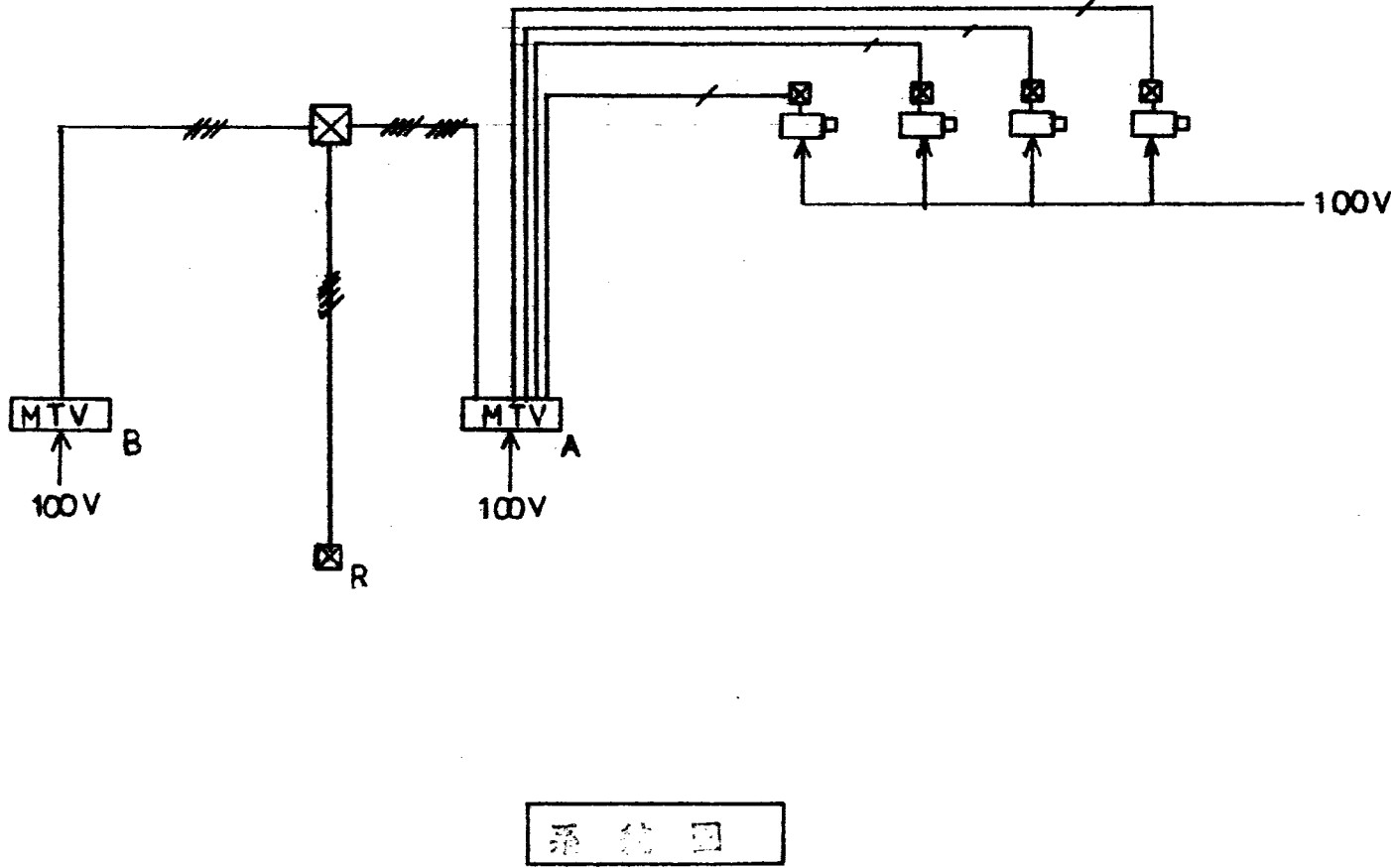
E - 17 /



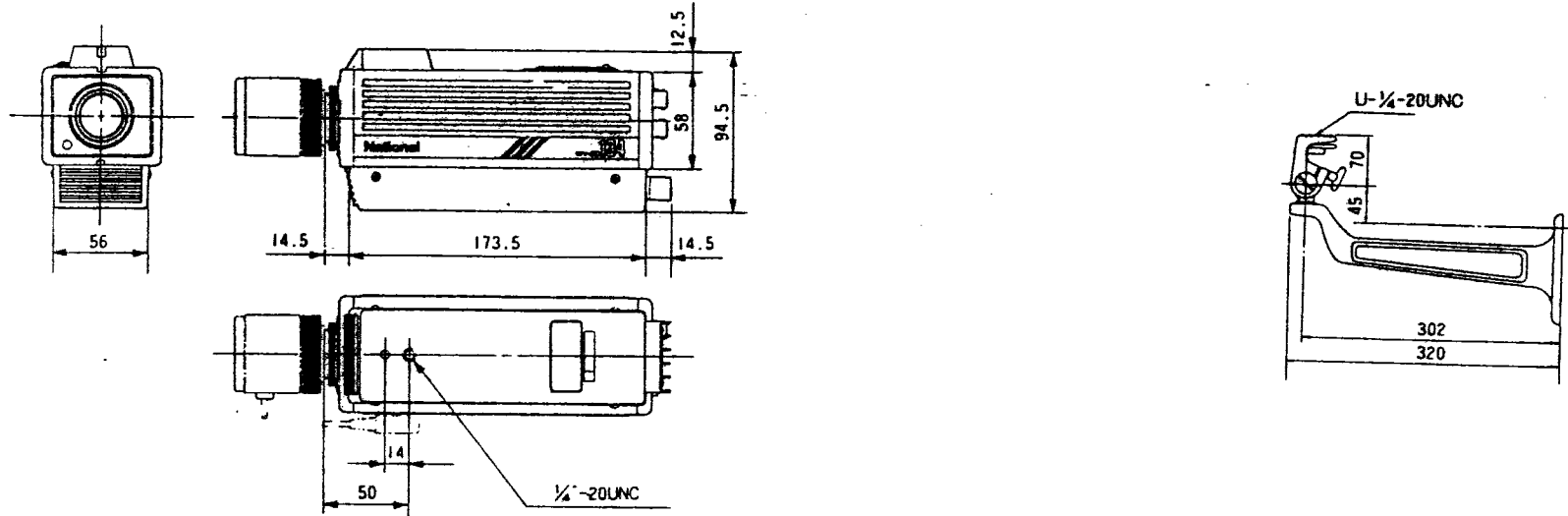


系統図

MTV A	モニター 4台、ラックマウント付
MTV B	" " "
□ R	モニターカメラ 吊具付
⊗ R	テレビモニター × 4 新金フレート
OB-P	アウトレットボックス 102×44 /ズル角フレート
5C	5C-FB × 1 (19)
5C	" × 2 (25) × 2



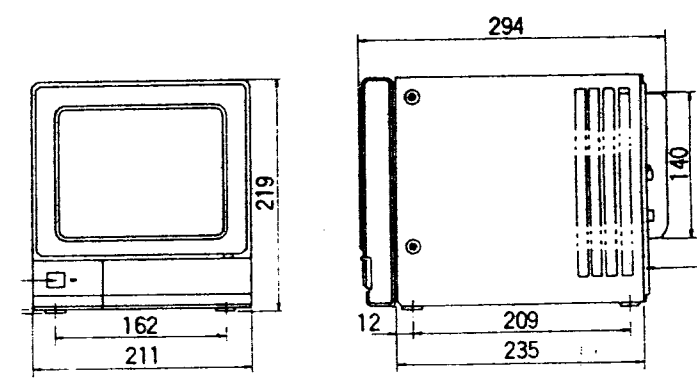
モニターカメラ 吊具具付



撮像素子	インターライン駆動方式CCD (カラーフィルタ付)画素数510(H)×492(V)	感度調整	別売専用EEレンズによる 自動絞り方式(40,000~66,000:1)
走査面積	6.6mm(V)×8.8mm(H) (2/3インチ増倍)	S/N比	46dB以上 (感度低下,ガンマ補正なし,AGC OFF)
レンズマウント	Cマウント(テレビカメラ用)	スイッチ機能	ホワイトバランス選択, ゲインロック解除,カメラON/OFF, サブキャリア位相調整, カメラ番号ON/OFF,カメラ番号選択
カラー化方式	単色RGB方式	調整機能	ホワイトバランス(R-B), サブキャリア位相調整
同期方式	内部同期/外部同期	電源	AC100V(AC24V) 50/60Hz
走査方式	2:1インターレース	消費電力	約8W(約9W)
水平走査周波数	15.734kHz	周囲温度	-10℃~+50℃
垂直走査周波数	59.9Hz	寸法	70(幅)×94.5(高さ)×191(奥行)mm (レンズを除く)
映像出力	NTSC1.0Vp-p/75Ωコンポジット信号 (BNC接続)	重量	約1.2kg
外部同期入力 (GEN-LOCK)	VBS1.0Vp-p/75Ω(BNC接続)	仕上	ブラウンメタリック塗装
解像度	水平:330本以上(中心部にて) 垂直:350本以上(中心部にて)		
最低照度	10 lux (F1.4,光源色温度5,100°K,反射率90%以上)		
標準観測照度	1,200 lux(F2.8)		

適用機種	17mm(2/3インチ)ニュービコンテレビカメラ, 図体画像テレビカメラ	入力インピーダンス	ハイインピーダンス (40kΩ以上)
焦点距離	f=16mm	絞り範囲	±20% (映像信号レベル, +20℃にて)
最大口径比	F=1:1.4	絞り全域動作 所要時間	約1.0秒以内 (映像出力信号V0.7Vp-pにて)
イメージサイズ	6.6×8.8mm	感度調整	V0.5~1.0Vp-p連続可変
写角	30°40'	焦点距離	標準ヘリコイド, 回転角58°
至近距離	0.5m	マウント	Cマウント/オリエント式
フランジバック	17.526mm	フィルター取り付け	φ43, F=0.75
自動絞り範囲	1:66,000	周囲温度	-20℃~+50℃
相当絞り	1.4~360	寸法	φ46.5(最大径)×46.7(高さ:マウントまで) φ45 (マウント内径) mm
入力電圧	DC8~16V (テレビカメラより供給)	重量	約130g
最大消費電流	35mA	仕上	シルバーメタリック焼付塗装
入力信号	コンポジット信号またはノンコンポジット信号 V0.7Vp-p(ノンコンポジット信号)入力にて設定済み		

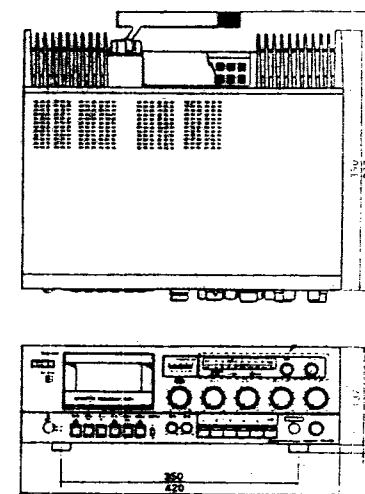
カラーモニター 4台1組 ラックマウント付



電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	33W
ブラウン管	8型70度偏向
キャビネット	鋼板
映像入出力端子	1Vp-p 75Ωまたはハイインピーダンス BNC接続
外形寸法	21.9×21.1×29.4cm

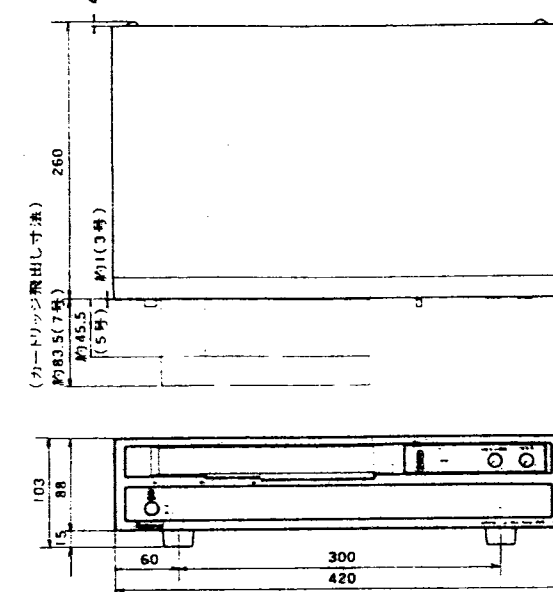
アンプ	アンプ
BGM	BGM装置
天井埋込スピーカー	天井埋込スピーカー
ホーンスピーカー	ホーンスピーカー
アッテネーター	1 W
3W	3 W
5W	5 W
DM	スイングジャックポート
1.2 x 2 (19)	
1.2 x 3 (19)	

アンプ



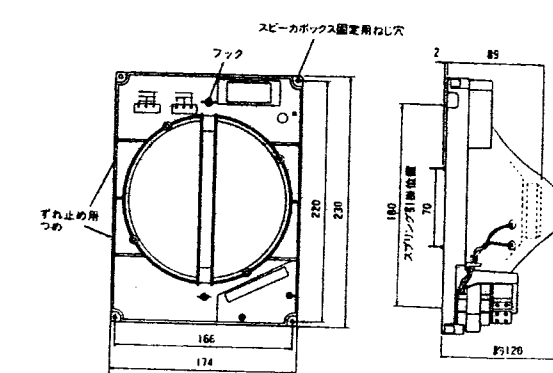
定格出力	60W
周波数特性	50-20,000Hz±3dB (EIA測定法にて)
マイク2	-72dB 600Ω 不平衡, SN比50dB以上
マイク1/ライン1	マイク1: -72dB 600Ω 不平衡, SN比50dB以上 ライン1: -22dB 20kΩ 不平衡, SN比50dB以上 (スイッチ切替)
レコード	-56dB 50kΩ 不平衡, SN比55dB以上
ライン2	0dB 20kΩ 不平衡, SN比60dB以上
チャイム	-30dB 100kΩ 不平衡, SN比55dB以上
負荷インピーダンス	1700 平衡 (100V), 4Ω 30dB
ライン	0dB 10kΩ 不平衡
トラック方式	2トラック1チャンネル モノラル
録音方式	交流バイアス方式
テープ速度	4.76cm/秒
ワウ・フラック	0.08% WRMS以下
電源・昇降時間	115秒以下 (C-60テープ使用にて)

BGM装置



電源	AC100V 50または60Hz固定式
消費電力	①15W 0.3A
定格出力	0dB
負荷インピーダンス	10kΩ以上 不平衡
周波数特性	40-10,000Hz±3dB以内
SN比	50dB以上
歪率	2.0%以下 (1,000Hzにて)
適合カートリッジ	フィデリティバック型 300形(3号), 600形(5号), 1200形(7号)
テープ速度	9.5cm/秒±2%以内
ワウ・フラック	0.2% WRMS以下
使用テープ	2トラックモノフォニック
演奏時間	最大1200形 1チャンネルで1時間 2チャンネルで2時間
モータ	4極ヒステリシスシンクロナス
ヘッド	1/4インチ用8トラック2チャンネル

天井埋込スピーカー 丸型アルミバンチングアポート



定格入力	3W
入力インピーダンス	3.3k, 10kΩ
周波数特性	130-12,000Hz (偏差20dB)
出力音圧レベル	92dB (1W, 1mにて)
使用スピーカー	16cm丸形スピーカー
仕上げ	ハニインパクトスチロール黒色

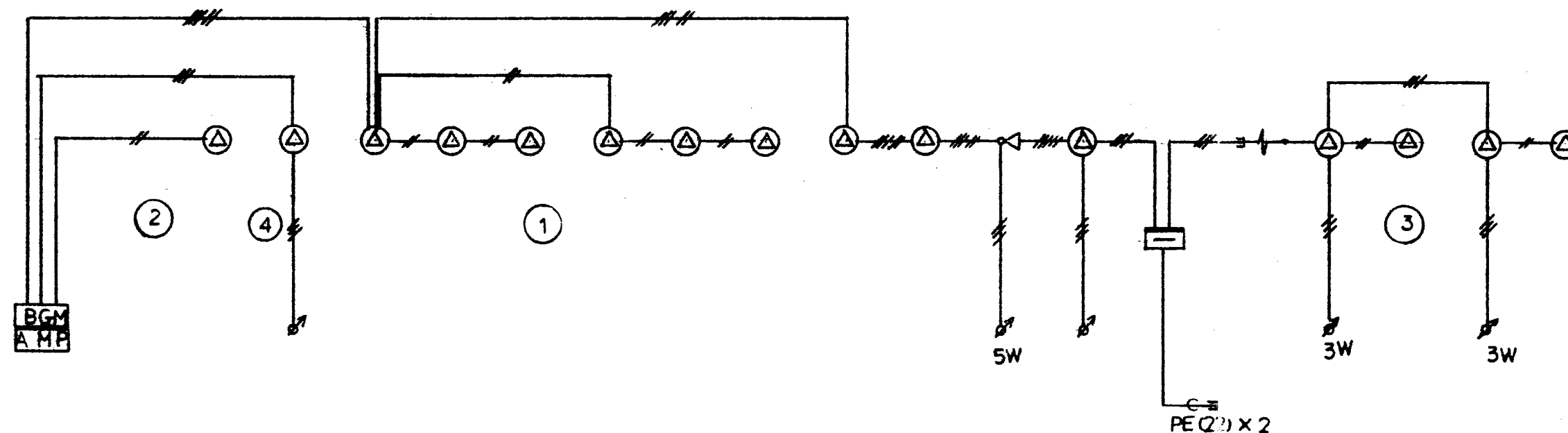
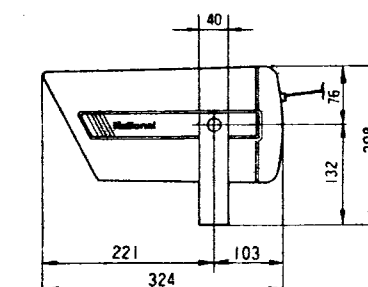
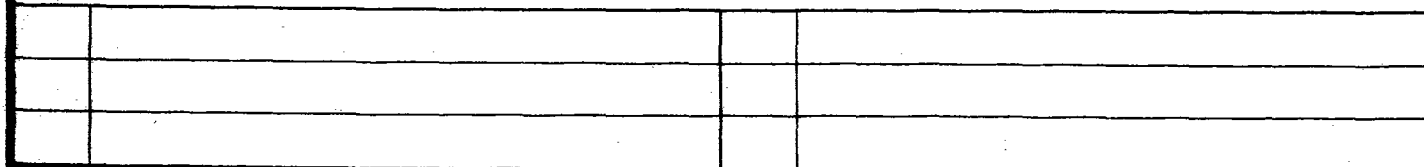


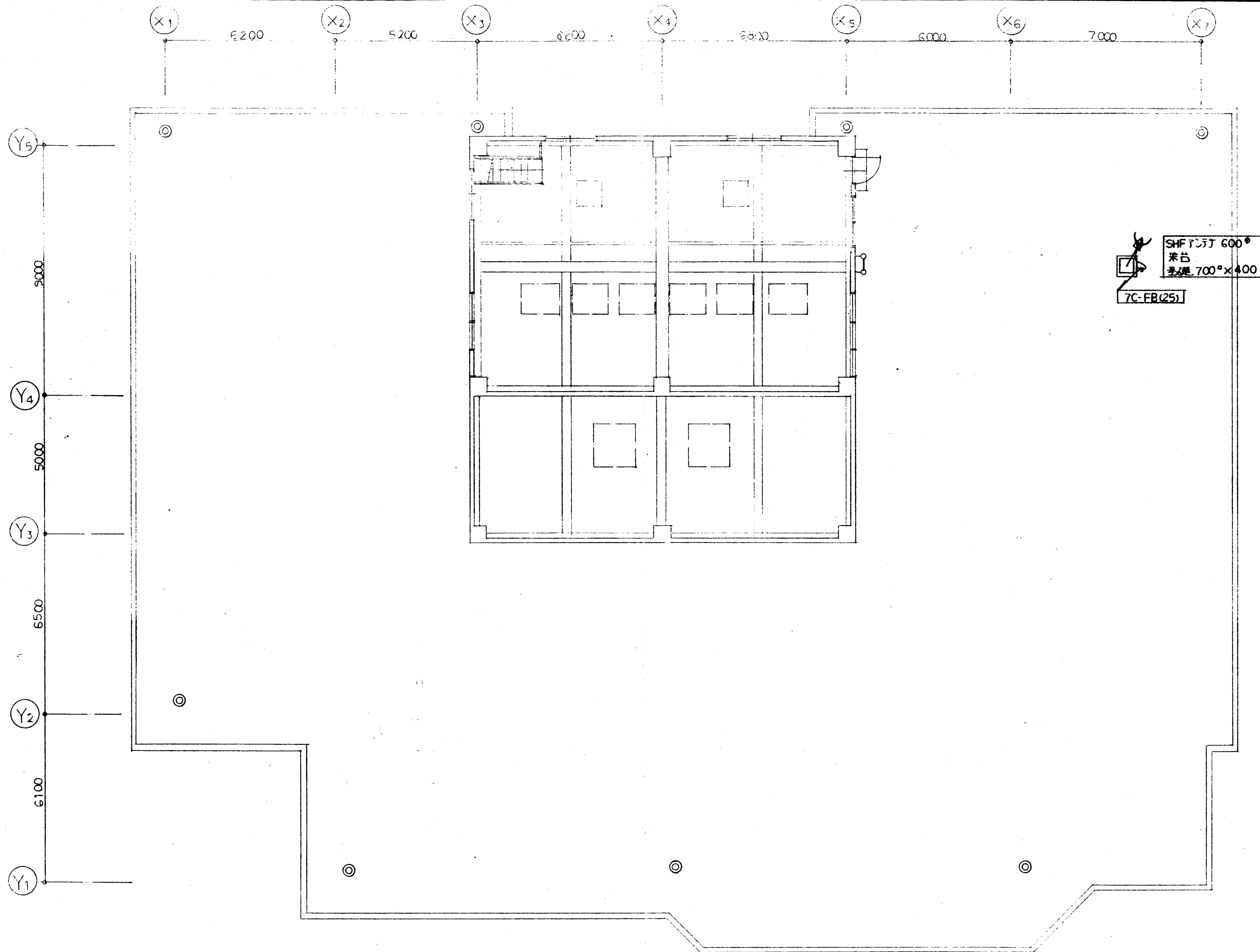
図 1

ホーンスピーカー

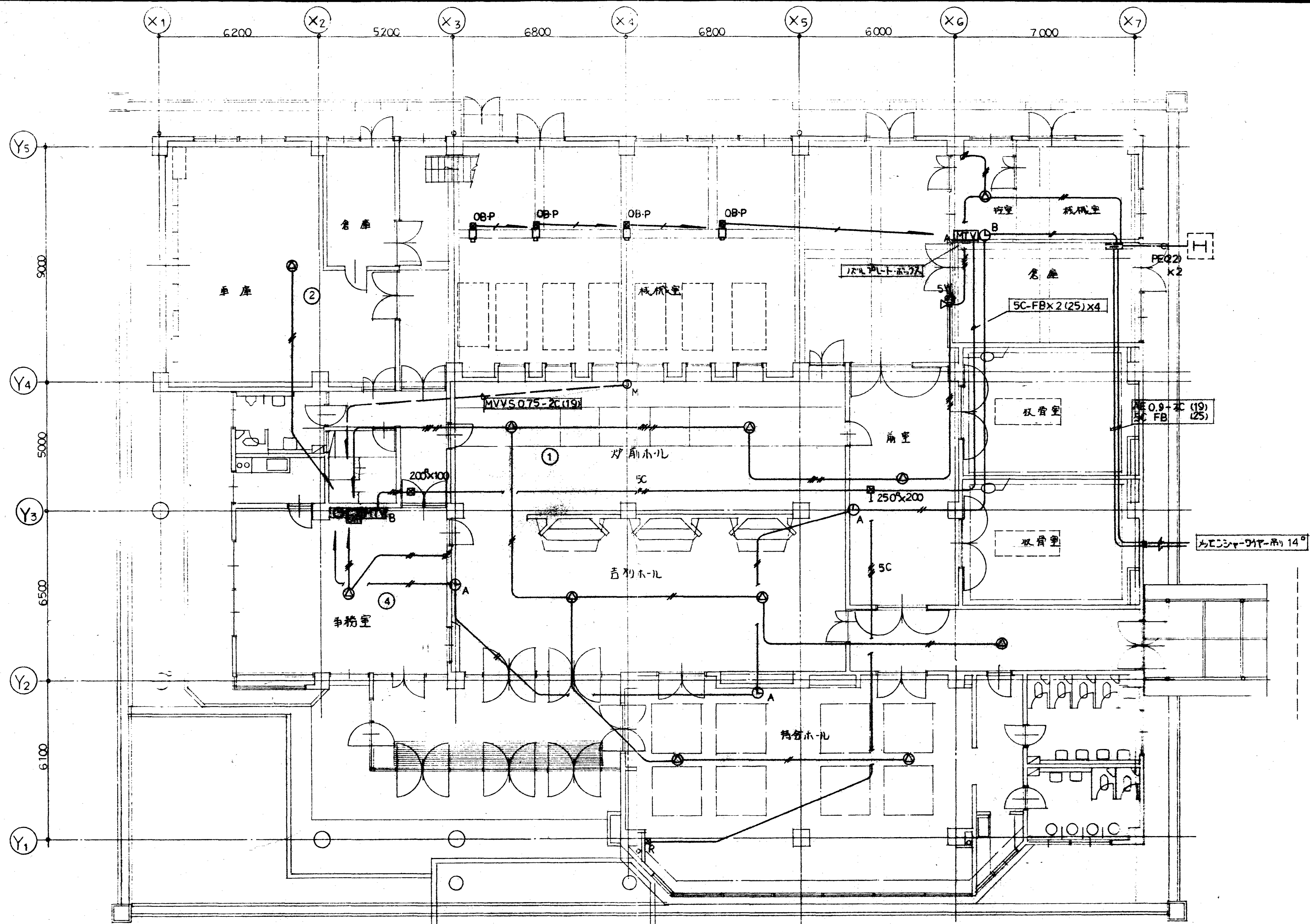


定格入力	5W
入力インピーダンス	1.43kΩ, 2kΩおよび8Ω
周波数特性	250-12,000Hz (偏差20dB)
出力音圧レベル	98dB以上 (1W, 1m)





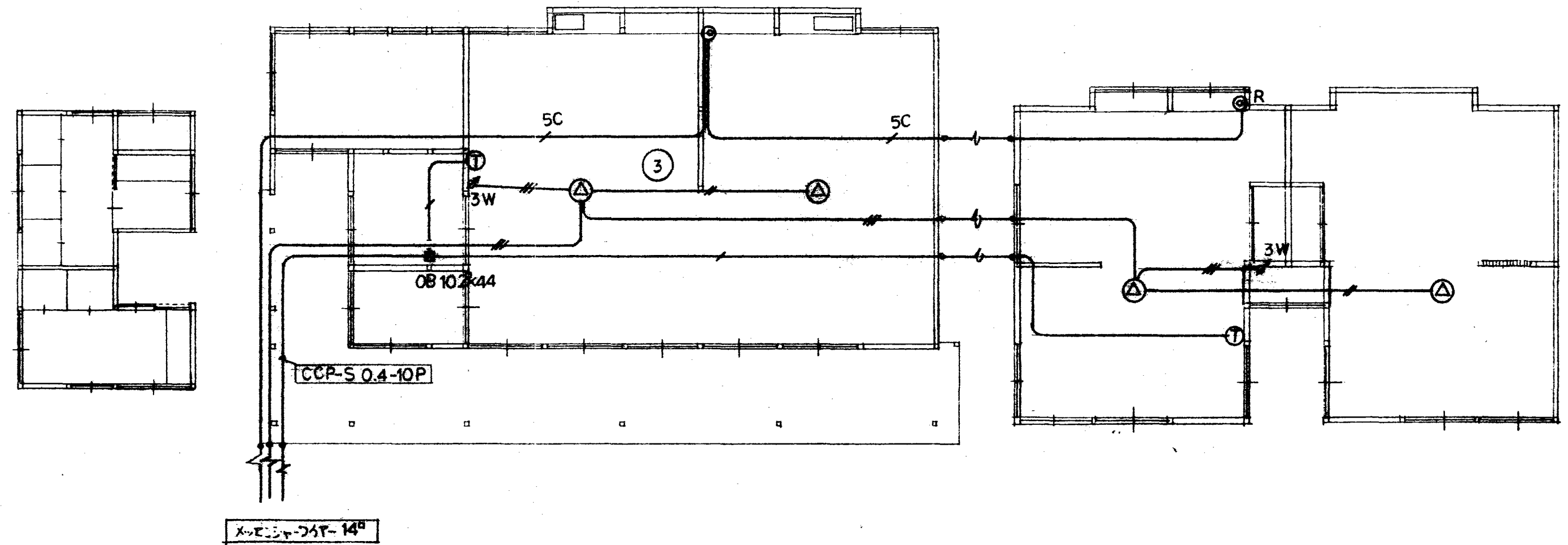
SHFIT 600^{mm}
 床高 700^{mm} x 400^{mm}
 7C-FB(25)

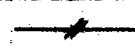
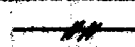
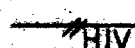


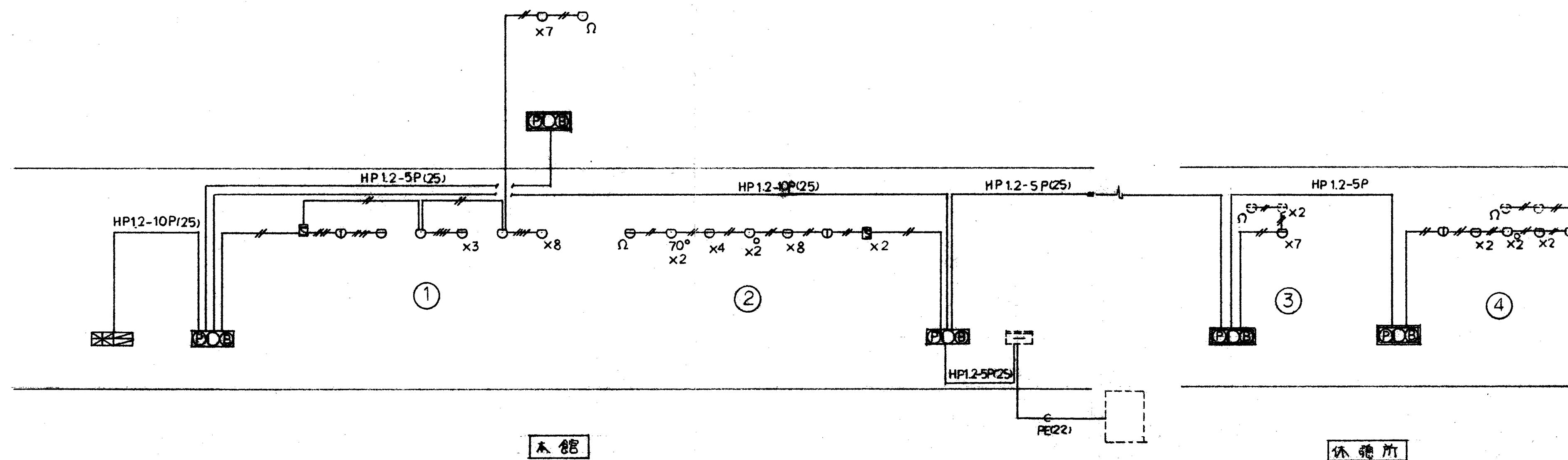
会津若松市斎場新築 工事設計図

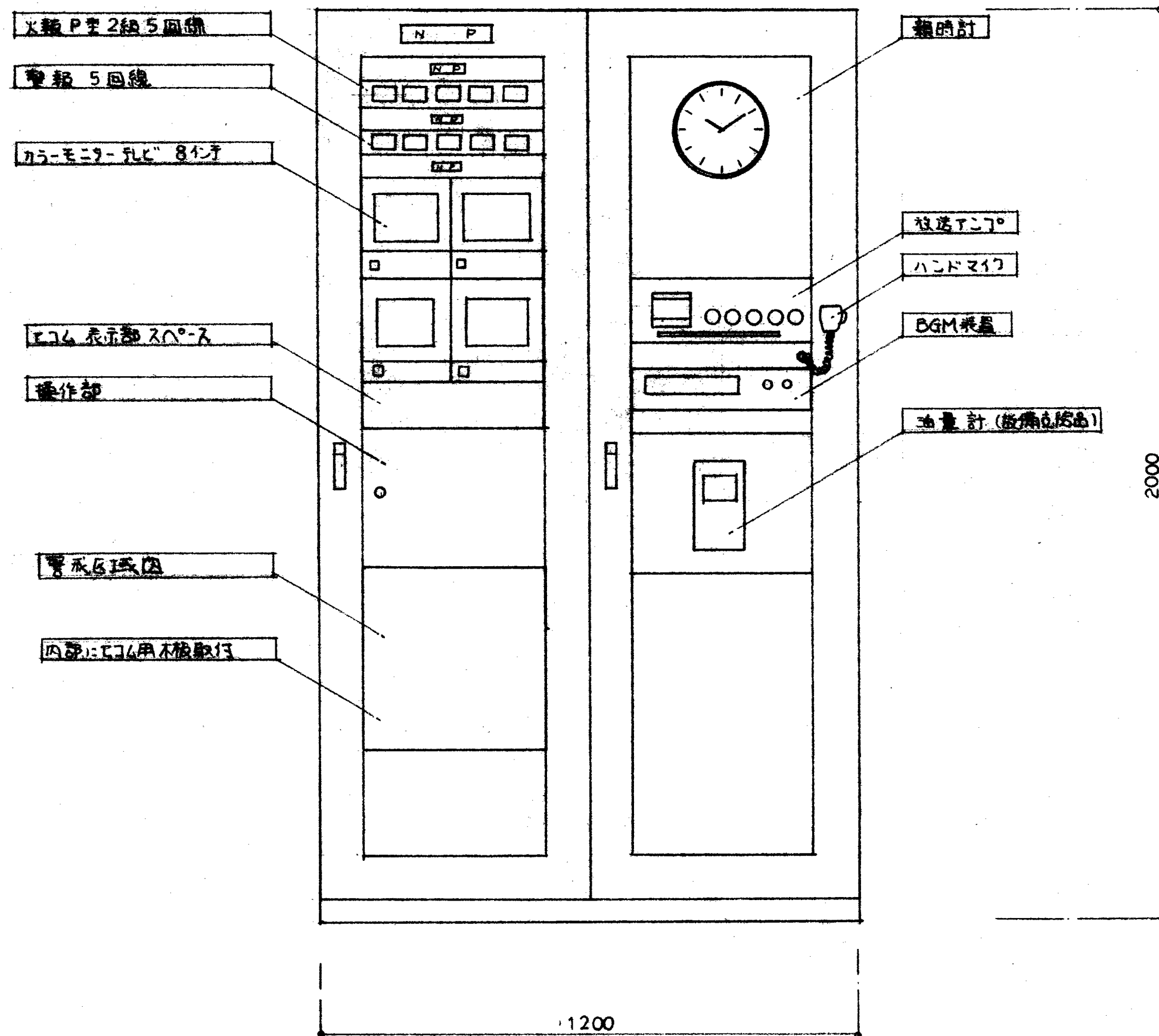
1階平面図 S=1:100
 建築設計 電気設計 ITV設備

No
 E-25

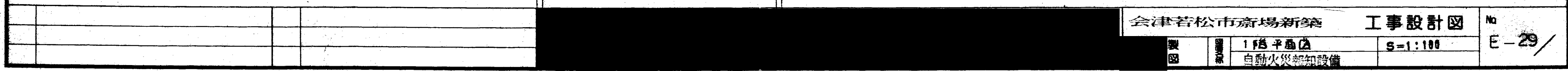


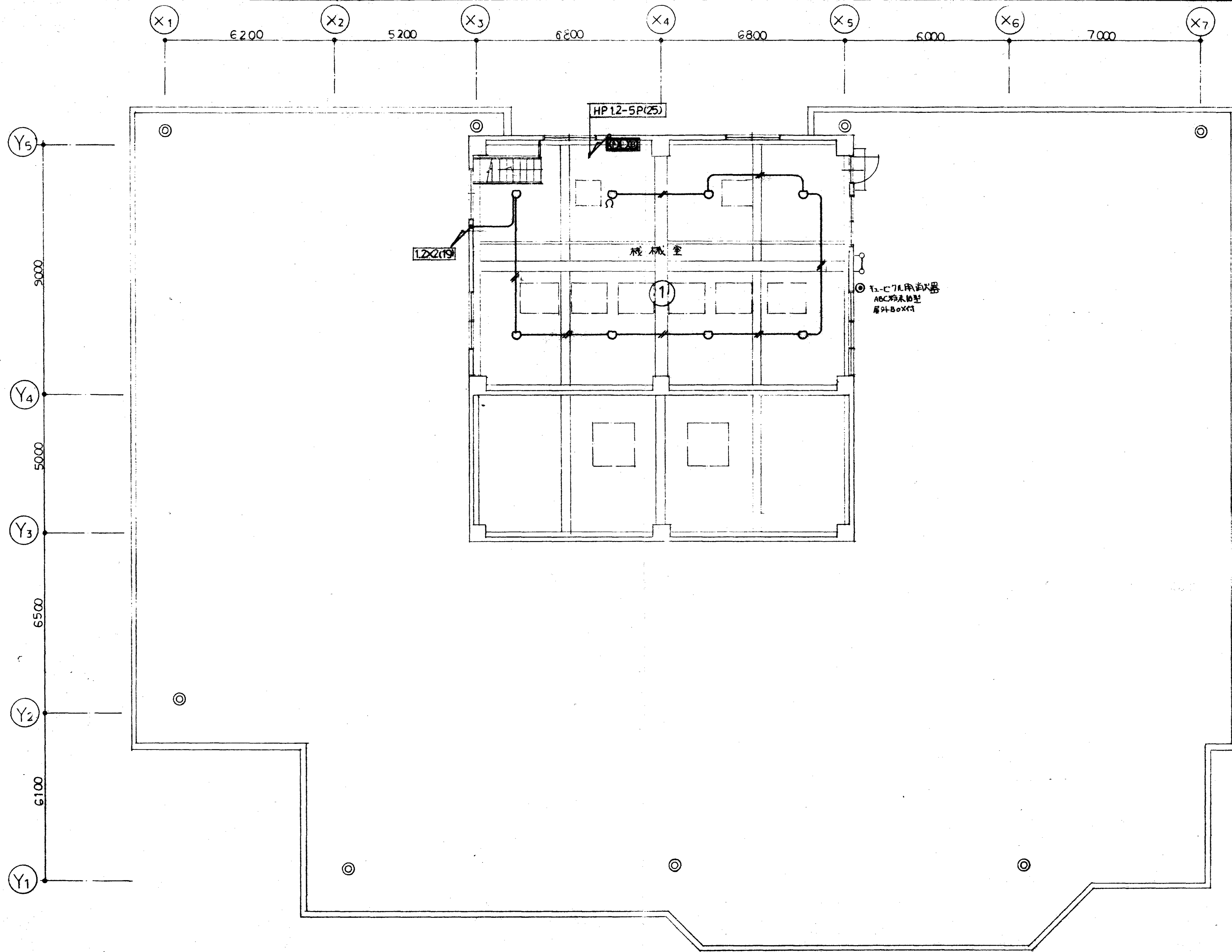
	複合器
	複合器 遠隔型 P型2線電線機、AL150°表示灯
	複合器 停止型 " " "
	AL150°
	感知器 差動式 2種 確実灯付
	感知器 差動式 2種 " "
	感知器 差動式 1種 70℃ " "
	感知器 差動式 1種 120℃ " "
	感知器 差動式 防水型 " "
	感知器 差動式 2種 " "
	1.2 x 2 (19)
	1.2 x 4 (19)
	HIV 1.2 x 2 (19)
	ガス漏れ警報器 LPG 100V

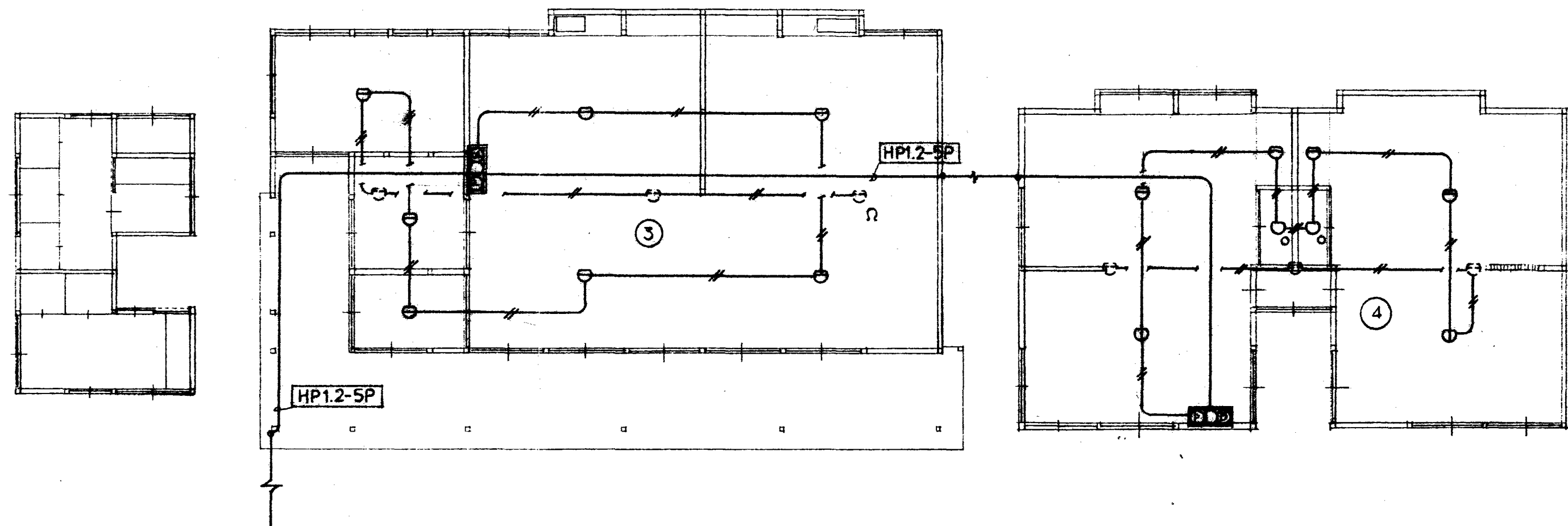


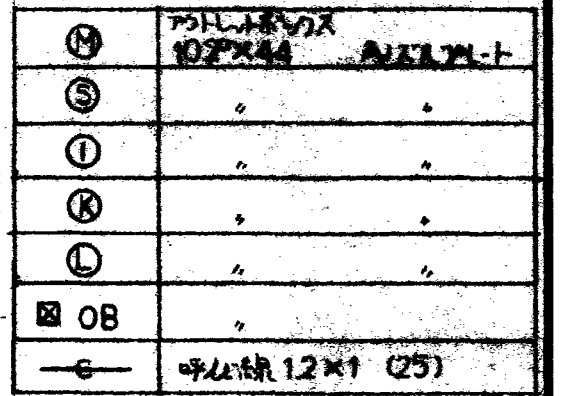


模合盤
(白立型)









会津若松市斎場 新築工事 設計図

機械設備工事



5. 工事範囲

種 別	有 含む	無 別途	備 考
電 気	受 変 電	○	
	自 家 発 電	○	
	蓄 電 池	○	
	非常照明誘導灯	○	
	電灯・コンセント	○	
	照 明 器 具	○	
	遮 断 機 具	○	
	電 話	○	
	イ ン タ ー ホ ン	○	
	拡 音 機	○	
	電 気 時 計	○	
	表 示 器 具	○	
	テレビ・ラジオ共同受信	○	
給 排 水 衛 生	給 水	○	
	給 湯	○	
	排 水・通 気	○	
	衛 生 器 具	○	
	消 火 栓	○	
	ガ ス	○	
	し 尿 浄 化 槽	○	
冷 暖 房 気	空 気 調 和	○	
	暖 房	○	
	冷 房	○	
昇 降 機	エ レ ベ ー タ ー	○	
	ダ ム ウ ェ タ ー	○	
準 備	敷 地 造 成	○	
	既 存 物 件 の 処 理	○	
	擁 壁	○	
	道 路 補 償	○	
	解 体 工 事	○	
仕 上	可 動 間 仕 切	○	
	造 付 家 具	○	
外 構	造 園	○	
	構 内 施 設	○	
	門	○	
	塀	○	
	外 灯	○	
そ の 他	駐 車 場 設 備	○	
	シャ ッ タ ー	○	
	自 動 ド ア ー	○	
	エ ア ー カ ー テ ン	○	
	非 常 用 救 助 袋	○	
	移 動 家 具	○	
	そ の 他 の 備 具	○	
	カーテン類	○	
	カーペット類	○	
	マ ッ ト 類	○	
	ダストシュート	○	
	郵便受	○	
	監視器具	○	
	表示板文字	○	
	掲 示 板	○	
	装 飾 物	○	

6. 建築・機械
電気各工事の
分担区分表
(※通用欄○印
が該当する。)

工 事 項 目	通 用	工 事 内 容	建 築	空 調	衛 生	電 気	昇 降 機	野 心 工 事	備 考
各 工 事 共 通	○	機械搬入口の設置 (E.L.V.用含む)	○						開口部補強及び搬入後閉鎖含む
	○	機械搬入用吊り下げビーム又はフック	○						位置、t 数
	○	ボイラー用自家発電用煙突工事・接続フランジ含む (耐火被覆の穴明けを含む)	○			○		○	煙突までの煙導及び接続は各設備工事
	○	梁の貫通スリーブの補強	○						スリーブ及び周辺モルタル充填は設備工事
	○	床・壁の貫通穴及び貫通スリーブ	○	○	○				周辺補強は建築工事
	○	各壁面ガラリ、フード並びに遮風板	○						機械換気用については設備工事
	○	パイプシャフト及び点検口、シャフト内デッキ	○						パイプユニット取付用金物は設備工事
	○	天井・壁・床の改め口 (点検機作用)	○						
	○	天井・壁・床・貫通パイプ等の穴埋め	○	○	○				
	○	屋内外トレンチ及び便所ビットの築造	○						
電 気	○	外装関連貫通パイプ等周辺のコーキング	○						
	○	電々ケーブル引込みマンホール				○			特殊なものは建築工事
	○	電力ケーブル引込みマンホール				○			
	○	電気等の床ビット及びセパレータ、蓋工事	○						
	○	変圧器等床ビット基礎工事	○						
	○	自家発電機器の床補強・機器基礎工事	○						
	○	の床ビット及び蓋工事	○						
	○	の天井ビーム・フック工事	○						
	○	の地下オイルタンク、オイル配管工事	○						自家発電室内は電気工事
	○	の水配管工事		○					
昇 降 機	○	埋込照明器具及びスピーカの取付用下地及補強	○			○			切込み並びに補強共 (墨出しは電気)
	○	軽鉄間仕切壁に取付ける熱パイプ貫通の補強	○						
	○	電動シャッターの配管配線 (接続迄)				○			本体は建築
	○	オートドアの電源供給配管・配線 (接続迄)				○			
	○	防火戸の煙運動制御盤及び配管・配線 (接続迄)				○			
	○	可動間仕切内配管工事 (接続迄)				○			
	○	アンテナ・マスト等基礎工事	○						
	○	蓄熱槽の築造工事	○						断熱工事、連通管、マンホール ドラップ、清掃を含む
	○	オイルタンク基礎及び外廊のコンクリート工事	○			○			躯体は設備工事
	○	冷凍機・冷却塔の床補強・機器基礎工事	○						機器アンカー並びに仕上工事は空調
空 調	○	ポンプ、空調機、ファン等の機器基礎工事	○						
	○	天井、吹出し等の取付用下地枠	○						切込み補強共 (墨出しは空調)
	○	照明器具併設吹出し口							
	○	吸気用ガラリ		○					
	○	窓下ファンコイルユニットの化粧囲い		○					吹出口、点検口を含む
	○	パッケージ用配管配線 (3Pコンセント迄)				○			100V電源
	○	手元調整器 (リモコン)		○					
	○	自動制御関係計器類		○					
	○	自動盤 (現場) 以降の配管配線		○					
	○	天井換気扇 (100V 単独運転の電源は電気工事)	○						全熱交換形のコントロールス イッチは空調
衛 生	○	壁換気扇	○						
	○	地下各種水槽及びビットの躯体	○						マンホール・ドラップ 各種を含む
	○	地上受水槽基礎、フェンス築造	○						
	○	高架水槽、貯水槽ポンプ等の床補強及び機器基礎	○						機器アンカー及び仕上工事は衛生
	○	機械室厨房等の排水溝及び蓋工事 (車庫)	○						排水溝の蓋は衛生
	○	天井・床・壁の点検口	○						点検用梯子・保守台を含む
	○	造り付流し、ガス台 配管の特殊な穴あけを含む	○						台内配管の周辺ふさは衛生
	○	便器取付開口部	○						切込み・補強共・墨出し・枠は衛生
	○	雨 樋	○						立降受以降の横引配管は衛生
	○	フロートスイッチ、フロートレススイッチ取付				○			(野工事分)
設 備	○	同上用配管配線				○			
	○	浄化槽用動力工事				○			
	○	鏡及び化粧棚 (洗面器上部)				○			近所図に明示した特殊なものは建築
	○	屋外防火用水槽	○						
	○	屋外浄化槽躯体及周囲フェンス築造	○						
	○	軽鉄間仕切に取付ける内水栓用機器等の補強 (パイプ貫通含む)	○						切込み並びに補強・墨出しは衛生
	○	機械室・シャフト・ビット 躯体	○						機械室軽量コンクリート打設含む
	○	出入口・インジケーター押釦の穴あけ				○			補強は建築
	○	機械室床機械据付用穴あけ	○						墨出しは昇降機
	○	機械室内配線ダクト穴あけ	○						は電気
昇 降 機	○	機械室内仕上及び天井機械吊り上げ用フック	○						
	○	出入口等取付後の床・壁・天井仕上	○						
	○	換気設備及び付属電気設備				○			
	○	電源引込				○			
	○	接地工事				○			
	○	昇降路外の監視盤・機作用線及びインターホン配線引込み				○			配管は電気
	○	BGM用配線引込工事				○			
	○	機械室ビット内コンセント工事				○			
	○	エレベーター監視盤製作及び据付				○			
	○								

1. 工事場所 会津若松 市 門田 町 大字 墨岩 字石前甲 833 地内

[illegible]

工事種目	工 事 種 別	工 事 区 分
○ 衛生器具設備		流路式不凍栓
○ 屋内給水設備		止水栓より末端まで
○ 屋外給水設備		引込分岐点より ~~止水栓より末端まで~~ 流路式不凍栓
○ 屋内排水設備		樹への接続まで
○ 屋外排水設備		樹から末端まで
・ 消火設備		
○ 給湯設備		
・ 焼却炉設備		
○ し尿浄化槽設備		
○ ガス設備		
○ ~~ボイラ~~ ~~油~~ ~~ラ~~ 設備	・ ボイラ設備 ○ 地下貯油槽設備	
・ 冷凍機設備		
・ 屋内給汽設備		
・ 屋外給汽設備		
○ 暖房設備		
・ 冷房設備		
○ 空気調和設備		
・ 温風暖房設備		
○ 換気設備	・ 換気設備 ・ 排煙設備	
・ 自動制御設備	・ 自動制御設備 ・ 中央監視制御装置	

1. 共通仕様書

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、**福島県土木部監修建設設備工事共通仕様書**（昭和60年版）（以下「**建設省住宅局監修公共住宅建設工事共通仕様書**（昭和60年版）」（以下「**公共住宅共通仕様書**」）と云う。）及び「**建設大臣官庁告示第28号建設設備設備工事共通仕様書**（昭和60年版）」（以下「**建設共通仕様書**」）と云う。）による。

(3) ~~特記事項：記載の「」内表示記号で「(株○○○)」と表示されているものは「公共住宅通仕帳簿」の「事項」項を示し、「(株○○○○)」と表示されているものは「借財通仕帳簿」の「(借 金 項)」を示す。なお「(株○○○)」と表示されているものは「公共住宅通仕帳簿の特別欄」(注通○○○)と表示されているものは通帳額を示す。~~

M - 2

屋 内 給 水 設 備	①	給 水 方 式	◎水道直結方式 ・ 重力給水方式 ・ 圧力タンク制御方式 ・ ポンプ回転数制御方式	屋 外 給 水 設 備	⑤	同 上 機 種	※ 水道事業者の規程による ◎ MC-3 (◎鉄筋入り ・ なし) (営2.1.9.3)	給 湯 設 備	①	管 材	◎鋼管 (Mタイプ) ・ ステンレス鋼管 ・ 水道用亜鉛めっき鋼管 (住5.2.1) (営2.1.7.1)	
	②	管 材	◎ライニング鋼管 (VA-1 一般部分) ・ ポリ粉体鋼管 (PA, 一般部分)		6	受水槽ボールタップ	※ 水道事業者指定品 (形) (住3.2.7) (営2.1.7.6)		2	弁 類	屋内給水設備当該項目に準ずる。 (住5.2.3) (営2.1.7.2)	
	③	井 類	◎ライニング鋼管 (VD, 土中埋設部分) ・ ポリ粉体鋼管 (PD, 土中埋設部分) (住3.2.1) (営2.1.7.1)		7	埋設弁開閉ハンドル	本工事に ※ 含む ◎ 含まない		③	ガ ス 湯 沸 器	◎ガス供給事業者指定品 ・ BL部品 ・ 製造者規格品 (住5.2.8) (営2.1.3.3)	
	4	可 撓 継 手	水道直結部分 ◎ JIS10kgf/cm ² 高置水槽以下 ※ JIS5kgf/cm ² ・ JIS10kgf/cm ² 65A以上はライニング弁とする。 (住3.2.3) (営2.1.7.2)		8	電 気 的 絶 縁 継 手	・ 取付ける ・ 取付けない (住3.3.1~1)		(イ貯 湯 式	・ 置台形 ・ 壁掛形 ・ バランス形		
	⑤	給 水 栓	◎吊駒式 (※ 節水 ◎ 標準) ・ 駒式 (住3.2.7) (営2.1.1.3)		⑨	負 担 金	本工事に ※ 含まない ◎ 含む		ロ瞬 間 式	◎壁掛形 ・ バランス形		
	⑥	不 凍 給 水 栓	福島県設備工事標準図による。		⑩	加 入 金	本工事に ◎ 含まない ・ 含む		の使用 ガ ス	・ 都市ガス ◎ 液化石油ガス ・ 天然ガス		
	⑦	水 抜 栓	福島県設備工事標準図による。		11	そ の 他	給水本管よりの分水の場合、水道管理者の指示する管材を使用する。		④	電 気 式 湯 沸 器	発熱量 kcal/m ² 12,000 kcal/kg 容量 50 ℓ ・ 100V ◎ 200V 3 KW ・ BL部品 ・ 製造者規格品 (住5.2.8)	
	⑧	井 類	◎樹 (200VP B-1付) ・ VC- (・鉄筋入り ・ なし) ・ B5 ・ B6 ※ くさり付 (住3.2.8, 4.2.5) (営2.1.9.2)		屋 内 排 水 設 備	①	管 材	・ 排水用鋼鉄管 ・ メカニカル排水用鋼鉄管 ◎ 排水用鉛管 ◎ 硬質塩化ビニル管 ・ コーティング鋼管 ・ 配管用炭素鋼管 (白管) ・ 水道用亜鉛めっき鋼管 (住4.2.1) (営2.1.7.1)	5	給 湯 ボ イ ラ ー	形式 (・ 横形 ・ 立形) 燃料 能力 ・ 建設者規格 ・ BL部品 ・ 製造者規格品 (住5.2.8) (営2.1.3.1~2)	
	9	量 水 器	子メーターは ・ 買取り (・ 水道事業者指定品 ・ 製造者規格品) ・ 遠隔操作式 ・ 貸与品 (住3.2.6) (営2.1.7.5)			②	満 水 試 験 継 手	◎ 取付けない ・ 取付ける (住4.3.7) (営2.2.3.4)	6	貯 湯 槽	形式 (・ 横形 ・ 立形) 容量 材質 (営2.1.4.3)	
	10	高 置 水 槽	※ F.R.P製 (・ 角形 ・ 丸形 呼称 m ²) ・ ステンレス製 (営2.1.4.1~2) 水平床強度 (G) ※ 保温形 ・ 普通形 ※ 防波装置 (住3.2.18) ※ 内梯子 (合成樹脂製) ※ 外梯子 (・ アルミ ・ ステンレス ・ 亜鉛メッキ) ※ カギ ・ 一体形 ・ 組立形			③	通 気 金 物	◎ VA-2形 ・ VA-1形	7	煙 突 そ の 他	(イ給湯ボイラー用煙突 ・ 本工事 (鋼板厚 mm) ・ 別途工事 (ロ給湯ボイラー用煙道 ・ 本工事 (鋼板厚 mm) ・ 別途工事 (ハガス湯沸器用排気筒 ・ 本工事 (鋼板厚 mm) ・ 別途工事	
	11	同 上 架 台 及 び 基 礎	架台本工事に ※ 含む ・ 含まない (営2.2.2.1) 基礎本工事に ※ 含まない ・ 含む			④	排 水 金 具	排水金具のニッケルクロームメッキ仕上げは2種2級以上とする。	8	湯 沸 器 排 気 筒	・ 保温する ・ 保温しない (営1.2.8.4)	
	12	受 水 槽	※ F.R.P製 (・ 角形 ・ 丸形 呼称 m ²) ・ ステンレス製 (営2.1.4.2) ・ 水平床強度 (G) ※ 保温形 ・ 普通形 ※ 防波装置 (住3.2.18) ※ 内梯子 (合成樹脂製) ※ 外梯子 (・ アルミ ・ ステンレス ・ 亜鉛メッキ) ※ カギ ・ 一体形 ・ 組立形		屋 外 排 水 設 備	①	管 材	※ ヒューム管B形 ・ 配管用炭素鋼管 (白管) ・ コーティング鋼管 ◎ 硬質塩化ビニル管 (一般管) ・ 水道用亜鉛めっき鋼管 (住4.2.1) (営2.1.7.1)	9	温 水 循 環 ポ ン プ	※ 建設者規格 ・ 製造者規格 (営2.1.2.3)	
	13	同 上 架 台 及 び 基 礎	架台本工事に ※ 含む ・ 含まない (住3.2.18) (営2.1.4.2) 基礎本工事に ※ 含まない ・ 含む			②	イ ン パ ー ト 機	・ SA ・ SB ◎ SC ・ 既製機 (角形) (営2.1.9.4)	10	同 上 附 属 品	※ 建設者規格 ・ 製造者規格 (営2.1.2.3)	
	14	揚 水 ポ ン プ	・ 建設者規格 ・ 製造者規格 (住3.2.12) (営2.1.2.1) ・ 床置横形 ・ 水中形			③	同 上 用 蓋	・ コンクリート製 ◎ 鋼鉄製 ◎ くさり付 (◎ MHA ◎ MHB) ※ 文字付 (住3.2.8, 4.2.5) (営2.1.9.1)	11	膨 張 タ ン ク	※ 保温する K4 (イ) VI ・ 保温しない (営2.2.4.3)	
	15	同 上 附 属 品	※ 含む (住3.2.16~1) (営2.1.2.1~2)			④	た め 機	・ RA ・ RB ◎ RC ・ 既製機 (角形) (営2.1.9.5)	12	配 管 吊 り 及 び 支 持	・ A 種耐震支持 ・ B 種耐震支持	
	16	附属ケーブル (水中ポンプ)	電線最小太さ2.0mm ² 以上とし、中間接続はしないこと。			⑤	同 上 用 蓋	※ コンクリート製 ◎ 鋼鉄製 ◎ くさり付 (◎ MHA ◎ MHB) ※ 文字付 (住3.2.8, 4.2.5) (営2.1.9.1)	⑬	給 湯 栓	ハンドル (◎ 合成樹脂製 ・ 陶器製) パッキンは耐熱性 (住5.2.4)	
	17	機 器 基 礎	本工事に ※ 含まない ・ 含む (営2.2.2.1)		消 火 設 備	⑥	ヒ ュ ー ム 管 基 礎	福島県設備工事標準図による。	14	風 呂 釜	・ BL部品 ・ 製造者規格品 (住5.2.9)	
	18	防 振 基 礎	・ A形 ・ B形 (営2.2.2.1)			⑦	機 の 配 筋	福島県設備工事標準図による。	15	電 気 的 絶 縁 継 手	※ 取付ける ・ 取付けない (営2.2.4.3)	
	19	塩 素 滅 菌 器	圧入式 ・ タンク容量 ℓ ・ 100V ・ 200V (住3.2.13) ※ 附属品を備える			⑧	ヒ ュ ー ム 管 基 礎	福島県設備工事標準図による。	9 層 房 機 器	1	調 理 台 及 び 機 器	本工事に ※ 含まない ・ 含む
	20	同 上 基 礎	本工事に ※ 含まない ・ 含む			6	排 水 ポ ン プ	・ 水中ポンプ (・ 汚水 ・ 汚物 ・ ブレードレス) ・ 建設者規格 ・ 製造者規格 上記を除く排水ポンプ ・ 建設者規格 ・ 製造者規格 (住4.2.6) (営2.1.2.4) ・ 水中形 (電線の最小太さは2.0mm ² 以上として中間接続はしない) ・ 床置横形		2	配 管 接 続	本工事に ※ 含まない ・ 含む
	21	保 温	屋外露出管 (弁類を含む) は14℃で保温厚はIの2倍とする。			7	機 の 配 筋	福島県設備工事標準図による。		3	器 具 の 固 定	燃焼機器及び高さが1.5mを超える機器を固定する。 (営2.1.6.1, 2.2.6.1) 下記の機器は固定する。 1. 2. 3. 4. 5. 6.
	22	機 械 室 配 管 吊 金 物	65φ以上の揚水管には防振吊金物 (・ 単式 ・ 複式) を取付ける。			8	ヒ ュ ー ム 管 基 礎	福島県設備工事標準図による。		4	材 料	機器を構成する主要材料は営繕共通仕様書第2編第1章1・6・2の2・1・2表による。
	23	配 管 吊 り 及 び 支 持	・ A 種耐震支持 ・ B 種耐震支持 (営2.2.2.3)		消 火 設 備	1	消 火 設 備 の 種 類	・ 屋内消火栓 ・ 連結送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー装置 ・ ハロゲン化物消火装置 ・ 泡消火装置 ・ 連結散水装置	10 焼 却 炉 設 備	1	形 式	※ 自然式 ・ 強制燃焼式 (・ 油焚 ・ ガス焚)
	24	そ の 他	給水管の最小口径は20mmとする。ただし器具、水栓類廻りを除く。 ライニング鋼管の継手箇所にはコアを取付ける。			2	管 材	・ 水道用亜鉛めっき鋼管 ・ 圧力配管用炭素鋼管 (スケジュール40以上) ・ 配管用炭素鋼管 (白管) (営2.1.5.2)		2	焼 却 能 力	kg/h kg/D
	25	操 作 用 配 管 系 統 図 板	・ 取付ける ・ 取付けない (住3.3.7)			3	屋 内 消 火 栓 箱	※ HB-1A ・ HB-1B (住6.2.4) (営2.1.5.2) 盗難防止装置 ・ 取付ける ・ 取付けない		3	煙 突	※ 本工事 (※ 製造者規格品 ・ 板厚 mm) ・ 別途 ・ 屋外形はメーカー付属品とする。 ・ 集塵器 (・ 取付ける ・ 取付けない)
④ 屋 外 給 水 設 備	①	管 材	4	ホ ー ス 掛		※ くし形 ・ カゴ形 (住6.2.4) (営2.1.5.2)	4	電 気 工 事		※ 二次側は本工事に含む。		
	②	井 ・ 水 栓 類	5	消 火 栓 弁		※ JIS10kgf/cm ² ・ 20kgf/cm ² (住6.2.4) (営2.1.5.2)	5	防 護 備		本工事に ・ 含む ・ 含まない		
	③	井 類	6	ポンプ及び呼水槽装置		※ ユニット形 ・ 個別形 (住6.2.4) (営2.1.2.5) ※ 消防ポンプは日本消防設備安全センター認定マークとする。	6	基 礎		本工事に ・ 含む ・ 含まない		
	④	量 水 器	7	呼 水 槽 保 温		※ 施工する ・ 施工しない (営1.2.8.4) 屋外露出配管 (弁類を含む) は14℃で保温厚はIの2倍とする。	7	付 属 品		※ 火種棒及び灰種棒		
④ 屋 外 給 水 設 備	①	管 材	備	8	機 器 基 礎	本工事に ※ 含まない ・ 含む (営2.2.2.1)	8	管 弁 類		※ 給水設備工事に準ずる。		
	②	井 ・ 水 栓 類		9	防 振 基 礎	・ A形 ・ B形 (営2.2.2.1)	10 焼 却 炉 設 備					
	③	井 類		10	配 管 吊 り 及 び 支 持	・ A 種耐震支持 ・ B 種耐震支持 (営2.2.2.3)						
	④	量 水 器										

⑪
し
尿
浄
化
槽
設
備

① 処 理 対 象 人 員

50 人(汚水量 2.5 m³/D)

② 処 理 性 能

◎BOD除去率 65 %以上 放流水BOD 90 mg/l以下 SS 75 mg/l以下

③ 処 理 種 別 及 び 方 式

◎単独処理 (◎分離接触ばっ気方式 ・ 分離ばっ気方式) (住9.1.1) (営7.1.1.1)
・ 合併処理 (・ 接触ばっ気方式 ・ 回転板接触方式 ・ 長時間ばっ気方式)
・ 現場施工形 ◎ユニット形 (FRP製) (住9.1.1) (営7.1.1.1)

④ 形 式

設計GL 一約 1300 mm

⑤ 流 入 管 底

・ 水中 ・ 建設者規格 ・ 製造者規格 (住9.2.5) (営7.2.1.5)

6 汚 水 汚 物 ポ ン プ

・ 水中 ・ 建設者規格 ・ 製造者規格 (住4.2.6) (営2.1.2.4)

7 排 水 ポ ン プ

・ 水中 ・ 建設者規格 ・ 製造者規格 (住4.2.6) (営2.1.2.4)

⑧ 空 気 配 管 材 料

※一般配管用ステンレス鋼鋼管 ◎硬質塩化ビニル管(VP)(住3.2.1) (営2.1.7.1)

9 分 水 計 量 装 置

・ 槽外設置 ・ 槽内設置 (住9.2.11) (営7.2.1.11)
材質 ・ SUS304製 (厚さ2mm以上) ・ FRP製 (厚さ4mm以上)
・ PVC製 (厚さ5mm以上) ・ SS41製 (厚さ3.2mm以上、エポキシ樹脂塗装)

10 換 気 装 置 (機 械 室)

・ 取付ける (温度サーモ0~40℃取付) ・ 取付けない

11 付 属 ケーブル (水中ポンプ)

電線最小太さ2.0mm²以上とし、中間接続はしないこと。

12 排 水 方 式

・ ポンプアップ方式 ・ 自然流下方式

⑬ 排 気 管

◎自然排気 ・ 強制排気 (住9.2.23) (営7.2.1.23)

⑭ 防 臭 ふ た

本工事に ◎含む ・ 含まない (住9.2.22) (営7.2.1.22)
・ くさり付 (・ MHA ◎MHB) ◎チェッカープレート ・ 安全ロック式ふた

15 液 面 制 御 装 置

水銀スイッチとする。 (住9.2.21) (営7.2.1.21)

⑯ 施 工 範 囲

躯体工事 本工事に ◎含む ・ 含まない
機械工事 本工事に ◎含む ・ 含まない
電気工事 本工事に ・ 含む ◎含まない
制 御 盤 本工事に ・ 含む ・ 含まない
フェンス 本工事に ・ 含む ・ 含まない

17 フローシートパネル

カラー写真フィルムを厚さ6mmアクリル樹脂板に貼付の上厚さ2mmの透明アクリル樹脂板にて固定する (寸法横 mm縦 mm)。

⑱ 消 毒 剤

◎180日分を納入する。 ・ 納入しない

⑲ 備 品

本工事に ◎含む ・ 含まない (住9.2.3~4, 9.2.26) (営7.2.1.3~4)

⑳ 放 流 水 質 (BOD, SS)

完成引渡6ヶ月後に水質検査報告書を監督員に提出する。

⑫
ガ
ス
設
備

① ガ ス の 種 類

・ 都市ガス (発熱量 kcal/m³, 対空気比重)
◎液化石油ガス (発熱量 12,000 kcal/kg)

② 管 材

◎配管用炭素鋼鋼管 (白管) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (住7.2.1) (営5.2.1.1, 5.3.1.1)
・ 配管用アーク溶接炭素鋼鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管 ・ 塩化ビニル被覆鋼管
◎ポリエチレン被覆鋼管 (埋設部)
親メーター ◎貨与品 ・ 買取り (計量法検定合格品) (住7.2.3) (営5.2.1.4)
青銅製又は黄銅製ニッケルクロームメッキ, 安全機構付。 (住7.2.2) (営5.2.1.2)
・ 取付ける (日本ガス機器検査協会合格証票貼付品) ・ 取付けない (住7.2.6) (営5.2.1)
◎別途 ・ 本工事 (住7.3.3) (営5.3.1.3)
容器容量は (・ 10kg ・ 20kg ◎50kg, 2本立用)
※取付ける ◎取付けない (住7.2.1) (営5.2.1.1)
福島県設備工事標準図による。
本工事に ※含む (鋼板製メラミン焼付塗装) ◎含まない
本工事に ※含む (収納ボックス共) ◎含まない (住7.2.7)
・ 表示する ・ 表示しない (住7.2.7)
本工事に ・ 含む ◎含まない (住7.2.5, 7.2.12)
◎適用する ・ 適用しない (営5.2.2.3)
・ A種耐震支持 ・ B種耐震支持 (営5.2.2.3)

⑬
空
気
調
和
機
・
風
量
測
定
口
・
防
火
ダ
ン
パ
・
防
煙
ダ
ン
パ
・
ビ
ス
ト
ン
ダ
ン
パ
・
管
材

① 設 計 条 件

(温湿度調整目標値)

② 測 定 表

完成後下記の測定表をすみやかに監督員に提出する。
◎温度 ・ 湿度 ◎風量 ・ 騒音 ・ 振動 ・
・ セントラル方式 (中央式) ◎ユニット方式 (個別式)

③ 設 備 方 式

◎空気調和 ・ 全空気方式 ・ ファンコイルユニット, ダクト併用方式 ◎パッケージユニット方式
・ 直接暖房 ・ 蒸気暖房 ・ 温水暖房
・ そ の 他 ・ F F 式暖房 ・ 床暖房

4 温 熱 源

・ 温風暖房機 ・ ボイラー (・ 蒸気 ・ 温水) ・ BL部品 (住10.1.1,10.2.1) (営3.1.1.1~7)

⑤ 冷 熱 源

・ 冷凍機 (・ 遠心 ・ 取収式) ・ チリングユニット (営3.1.2.1~7)
・ 冷温水発生機 ◎パッケージユニット ・ ヒートポンプチリングユニット

6 煤 煙 監 視 装 置

煤煙濃度計を ※ 取付ける ・ 取付けない (営3.1.1.8~9)
記録計を ・ 取付ける ・ 取付けない
・ 監視盤組込形 ・ 別置形
投光器受光器には送風機を ※ 取り付ける ・ 取付けない
煤じん測定口を ・ 取付ける (測定口80φフランジ止) ・ 取付けない
※ 別途 ・ 本工事 (径 mm×高さ m×板厚 mm) (営3.1.1.8)
鋼板厚 3.2mm ・ 4.5mm ・ 図示による (営3.1.1.8)
※ 建設者規格 ・ 製造者規格 (営3.1.9.4)
・ 製造者規格 ・ 建設者規格 (営3.1.10.6)
油面制御装置 ・ 建設者規格 ・ 製造者規格 (防爆形) (営3.1.13.4)
◎複式 ・ 単式 (営3.1.12.8)
温水暖房ピーコックを ※ 取付ける ・ 取付けない (住10.2.2) (営3.1.7.2~3)
蒸気暖房エアモイスナーを ・ 取付ける ・ 取付けない (営3.1.7.9)
放熱器は固定金物を用いて壁及び床に堅固に取付ける。 (営3.2.1.10~11)
ファンコンベクターは接地付とする。
コンベクター及びベースボードヒーター用の弁,トラップはケーシングに (・ 内蔵 ・ 露出)
予備フィルターを50%納入する。(端数切上)
・ ユニット形 (・ 立形 ・ 横形 ・ マルチ形) ◎パッケージ形 (・ 水冷 ◎空冷)
加熱方式 ・ 蒸気 ・ 温水 ・ 電気 (営3.1.4.1)
加湿機 ※ ノズル噴霧式 (・ 蒸気 ・ 水 ・ 加圧水) ・ パン形 ・ 蒸気発生器
エリミネーター ・ 取付ける ・ 取付けない
形 式 ・ パネル形式 ・ 折込形 ・ 自動巻取形 (・ 立形 ・ 横形) ・ 建材誘電形
・ 電気集じん器 (営3.1.5.1~6)
巻取方式 ※ タイマー式 (微差圧計付きとする) ・ タイマー差圧併用式 ・ 差圧式
予備フィルターを100%納入する。
建材 ※ 非再生式 ・ 再生式
運転表示灯を ※ 取付ける ・ 取付けない (営3.1.4.2)
床置形 (・ 露出形 ・ 隠ぺい形) 壁及び床面に固定する。
天井吊り形 (・ 露出形 ・ 隠ぺい形 ・ カセット形)
ローボイ形 (・ 露出形 ・ 隠ぺい形)
温水入口温度 °C, 冷水入口温度 °C
予備フィルターを50%納入する (端数切上)
・ 回転形 ・ 静止形 (営3.1.6.1~2)
※ 保温する [K4(IV)] ・ 保温しない (営1.2.8.5)
◎低速 ・ 高速 (住11.2.2~6) (営3.1.11.1~4)
◎矩形風道 (◎亜鉛鉄板 ・ 鋼板 ・ ステンレス (SUS304))
◎円形風道 (◎スパイラルダクト (亜鉛鉄板) ・ ステンレス (SUS304) ・ 硬質塩化ビニル管)
横走り主風道は ・ A種耐震支持 ・ B種耐震支持 (営3.2.2.2~3)

7 煙 突

※ 別途 ・ 本工事 (径 mm×高さ m×板厚 mm) (営3.1.1.8)

8 煙 道

鋼板厚 3.2mm ・ 4.5mm ・ 図示による (営3.1.1.8)

9 オ イ ル ポ ン プ

※ 建設者規格 ・ 製造者規格 (営3.1.9.4)

10 オイルサービスタンク

・ 製造者規格 ・ 建設者規格 (営3.1.10.6)
油面制御装置 ・ 建設者規格 ・ 製造者規格 (防爆形) (営3.1.13.4)
◎複式 ・ 単式 (営3.1.12.8)
温水暖房ピーコックを ※ 取付ける ・ 取付けない (住10.2.2) (営3.1.7.2~3)
蒸気暖房エアモイスナーを ・ 取付ける ・ 取付けない (営3.1.7.9)
放熱器は固定金物を用いて壁及び床に堅固に取付ける。 (営3.2.1.10~11)
ファンコンベクターは接地付とする。
コンベクター及びベースボードヒーター用の弁,トラップはケーシングに (・ 内蔵 ・ 露出)
予備フィルターを50%納入する。(端数切上)
・ ユニット形 (・ 立形 ・ 横形 ・ マルチ形) ◎パッケージ形 (・ 水冷 ◎空冷)
加熱方式 ・ 蒸気 ・ 温水 ・ 電気 (営3.1.4.1)
加湿機 ※ ノズル噴霧式 (・ 蒸気 ・ 水 ・ 加圧水) ・ パン形 ・ 蒸気発生器
エリミネーター ・ 取付ける ・ 取付けない
形 式 ・ パネル形式 ・ 折込形 ・ 自動巻取形 (・ 立形 ・ 横形) ・ 建材誘電形
・ 電気集じん器 (営3.1.5.1~6)
巻取方式 ※ タイマー式 (微差圧計付きとする) ・ タイマー差圧併用式 ・ 差圧式
予備フィルターを100%納入する。
建材 ※ 非再生式 ・ 再生式
運転表示灯を ※ 取付ける ・ 取付けない (営3.1.4.2)
床置形 (・ 露出形 ・ 隠ぺい形) 壁及び床面に固定する。
天井吊り形 (・ 露出形 ・ 隠ぺい形 ・ カセット形)
ローボイ形 (・ 露出形 ・ 隠ぺい形)
温水入口温度 °C, 冷水入口温度 °C
予備フィルターを50%納入する (端数切上)
・ 回転形 ・ 静止形 (営3.1.6.1~2)
※ 保温する [K4(IV)] ・ 保温しない (営1.2.8.5)
◎低速 ・ 高速 (住11.2.2~6) (営3.1.11.1~4)
◎矩形風道 (◎亜鉛鉄板 ・ 鋼板 ・ ステンレス (SUS304))
◎円形風道 (◎スパイラルダクト (亜鉛鉄板) ・ ステンレス (SUS304) ・ 硬質塩化ビニル管)
横走り主風道は ・ A種耐震支持 ・ B種耐震支持 (営3.2.2.2~3)

⑪ 管 用 伸 縮 継 手

◎複式 ・ 単式 (営3.1.12.8)
温水暖房ピーコックを ※ 取付ける ・ 取付けない (住10.2.2) (営3.1.7.2~3)
蒸気暖房エアモイスナーを ・ 取付ける ・ 取付けない (営3.1.7.9)
放熱器は固定金物を用いて壁及び床に堅固に取付ける。 (営3.2.1.10~11)
ファンコンベクターは接地付とする。
コンベクター及びベースボードヒーター用の弁,トラップはケーシングに (・ 内蔵 ・ 露出)
予備フィルターを50%納入する。(端数切上)
・ ユニット形 (・ 立形 ・ 横形 ・ マルチ形) ◎パッケージ形 (・ 水冷 ◎空冷)
加熱方式 ・ 蒸気 ・ 温水 ・ 電気 (営3.1.4.1)
加湿機 ※ ノズル噴霧式 (・ 蒸気 ・ 水 ・ 加圧水) ・ パン形 ・ 蒸気発生器
エリミネーター ・ 取付ける ・ 取付けない
形 式 ・ パネル形式 ・ 折込形 ・ 自動巻取形 (・ 立形 ・ 横形) ・ 建材誘電形
・ 電気集じん器 (営3.1.5.1~6)
巻取方式 ※ タイマー式 (微差圧計付きとする) ・ タイマー差圧併用式 ・ 差圧式
予備フィルターを100%納入する。
建材 ※ 非再生式 ・ 再生式
運転表示灯を ※ 取付ける ・ 取付けない (営3.1.4.2)
床置形 (・ 露出形 ・ 隠ぺい形) 壁及び床面に固定する。
天井吊り形 (・ 露出形 ・ 隠ぺい形 ・ カセット形)
ローボイ形 (・ 露出形 ・ 隠ぺい形)
温水入口温度 °C, 冷水入口温度 °C
予備フィルターを50%納入する (端数切上)
・ 回転形 ・ 静止形 (営3.1.6.1~2)
※ 保温する [K4(IV)] ・ 保温しない (営1.2.8.5)
◎低速 ・ 高速 (住11.2.2~6) (営3.1.11.1~4)
◎矩形風道 (◎亜鉛鉄板 ・ 鋼板 ・ ステンレス (SUS304))
◎円形風道 (◎スパイラルダクト (亜鉛鉄板) ・ ステンレス (SUS304) ・ 硬質塩化ビニル管)
横走り主風道は ・ A種耐震支持 ・ B種耐震支持 (営3.2.2.2~3)

12 放 熱 器

温水暖房ピーコックを ※ 取付ける ・ 取付けない (住10.2.2) (営3.1.7.2~3)
蒸気暖房エアモイスナーを ・ 取付ける ・ 取付けない (営3.1.7.9)
放熱器は固定金物を用いて壁及び床に堅固に取付ける。 (営3.2.1.10~11)
ファンコンベクターは接地付とする。
コンベクター及びベースボードヒーター用の弁,トラップはケーシングに (・ 内蔵 ・ 露出)
予備フィルターを50%納入する。(端数切上)
・ ユニット形 (・ 立形 ・ 横形 ・ マルチ形) ◎パッケージ形 (・ 水冷 ◎空冷)
加熱方式 ・ 蒸気 ・ 温水 ・ 電気 (営3.1.4.1)
加湿機 ※ ノズル噴霧式 (・ 蒸気 ・ 水 ・ 加圧水) ・ パン形 ・ 蒸気発生器
エリミネーター ・ 取付ける ・ 取付けない
形 式 ・ パネル形式 ・ 折込形 ・ 自動巻取形 (・ 立形 ・ 横形) ・ 建材誘電形
・ 電気集じん器 (営3.1.5.1~6)
巻取方式 ※ タイマー式 (微差圧計付きとする) ・ タイマー差圧併用式 ・ 差圧式
予備フィルターを100%納入する。
建材 ※ 非再生式 ・ 再生式
運転表示灯を ※ 取付ける ・ 取付けない (営3.1.4.2)
床置形 (・ 露出形 ・ 隠ぺい形) 壁及び床面に固定する。
天井吊り形 (・ 露出形 ・ 隠ぺい形 ・ カセット形)
ローボイ形 (・ 露出形 ・ 隠ぺい形)
温水入口温度 °C, 冷水入口温度 °C
予備フィルターを50%納入する (端数切上)
・ 回転形 ・ 静止形 (営3.1.6.1~2)
※ 保温する [K4(IV)] ・ 保温しない (営1.2.8.5)
◎低速 ・ 高速 (住11.2.2~6) (営3.1.11.1~4)
◎矩形風道 (◎亜鉛鉄板 ・ 鋼板 ・ ステンレス (SUS304))
◎円形風道 (◎スパイラルダクト (亜鉛鉄板) ・ ステンレス (SUS304) ・ 硬質塩化ビニル管)
横走り主風道は ・ A種耐震支持 ・ B種耐震支持 (営3.2.2.2~3)

15 ファンコイルユニット

運転表示灯を ※ 取付ける ・ 取付けない (営3.1.4.2)
床置形 (・ 露出形 ・ 隠ぺい形) 壁及び床面に固定する。
天井吊り形 (・ 露出形 ・ 隠ぺい形 ・ カセット形)
ローボイ形 (・ 露出形 ・ 隠ぺい形)
温水入口温度 °C, 冷水入口温度 °C
予備フィルターを50%納入する (端数切上)
・ 回転形 ・ 静止形 (営3.1.6.1~2)
※ 保温する [K4(IV)] ・ 保温しない (営1.2.8.5)
◎低速 ・ 高速 (住11.2.2~6) (営3.1.11.1~4)
◎矩形風道 (◎亜鉛鉄板 ・ 鋼板 ・ ステンレス (SUS304))
◎円形風道 (◎スパイラルダクト (亜鉛鉄板) ・ ステンレス (SUS304) ・ 硬質塩化ビニル管)
横走り主風道は ・ A種耐震支持 ・ B種耐震支持 (営3.2.2.2~3)

16 全 熱 交 換 器

・ 回転形 ・ 静止形 (営3.1.6.1~2)
※ 保温する [K4(IV)] ・ 保温しない (営1.2.8.5)
◎低速 ・ 高速 (住11.2.2~6) (営3.1.11.1~4)
◎矩形風道 (◎亜鉛鉄板 ・ 鋼板 ・ ステンレス (SUS304))
◎円形風道 (◎スパイラルダクト (亜鉛鉄板) ・ ステンレス (SUS304) ・ 硬質塩化ビニル管)
横走り主風道は ・ A種耐震支持 ・ B種耐震支持 (営3.2.2.2~3)

17 膨 張 水 槽

※ 保温する [K4(IV)] ・ 保温しない (営1.2.8.5)
◎低速 ・ 高速 (住11.2.2~6) (営3.1.11.1~4)
◎矩形風道 (◎亜鉛鉄板 ・ 鋼板 ・ ステンレス (SUS304))
◎円形風道 (◎スパイラルダクト (亜鉛鉄板) ・ ステンレス (SUS304) ・ 硬質塩化ビニル管)
横走り主風道は ・ A種耐震支持 ・ B種耐震支持 (営3.2.2.2~3)

⑬ 風 道

◎低速 ・ 高速 (住11.2.2~6) (営3.1.11.1~4)
◎矩形風道 (◎亜鉛鉄板 ・ 鋼板 ・ ステンレス (SUS304))
◎円形風道 (◎スパイラルダクト (亜鉛鉄板) ・ ステンレス (SUS304) ・ 硬質塩化ビニル管)
横走り主風道は ・ A種耐震支持 ・ B種耐震支持 (営3.2.2.2~3)

19 風 道 の 吊 り 及 び 支 持

横走り主風道は ・ A種耐震支持 ・ B種耐震支持 (営3.2.2.2~3)

⑭
風
量
測
定
口
・
吹
出
口
及
び
吸
込
口
・
防
煙
ダ
ン
パ
・
防
火
ダ
ン
パ
・
ビ
ス
ト
ン
ダ
ン
パ
・
管
材

20 風 量 測 定 口

取付け位置は図示による。 (営3.1.11.17)

⑳ 吹 出 口 及 び 吸 込 口

◎アルミ製 ・ 鋼板製 (営3.1.11.7~8)

22 防 煙 ダ ン パ

(4) 操作方式 ※電気式 (瞬間通電式又は電動式DC24V0.6A以下) ・ 空気式
(4) 復帰方式 ※遠隔式 (電動式 (定格入力DC24V0.7A以下)) ・ 手動式
(4) 作動方式 ・ 順送り閉鎖機構 ・ 同時閉鎖機構
(二) 日本建築センター防災性能評定委員会の評定品とする。 (営3.1.11.12)

㉓ 防 火 ダ ン パ

(4) 日本建築センター防災性能評定委員会の評定品とする。 (住11.2.7) (営3.1.11.11)
(4) 図示のFVDとは、防火ダンパーに風量調節機構を組み込んだもので調整機構は、段階的調節機構とする。
復帰方式 ・ 自動式 ・ 手元式 (営3.1.11.14)
蒸気管 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) (住10.2.6) (営3.1.12.1~2)
油管 ◎ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管)
冷温水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) ・ 銅管 (Mタイプ)
排水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) ◎硬質塩化ビニル管 (一般管)
冷却水管 ※ ライニング鋼管 (白管)
冷媒管 ◎ 銅管 (Lタイプ) ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (sch40)
膨脹管空気抜き管及び膨脹水槽よりボイラの給水管は配管用炭素鋼鋼管 (白) とする。
・ JIS5kgf/cm² ・ JIS10kgf/cm² (営3.1.12.3~7)
冷却水用65φ以上の弁類はライニング弁とする。
下記の管に、温度計を取付ける。 (営3.1.13.2)
(4) 冷凍機の冷却水及び冷水の出入口、ボイラ温水入口
(4) ユニット型空調機と機体の冷温水出入口,パッケージ型空調機と機体の冷却水及び温水の出入口
(4) 熱交換器の温水出入口,冷温水管寄せの各返り管
(二) 空調機,温風暖房機廻り送気風道,外気風道及び送気風道
下記の管に圧力計及び連成計を取付ける。 (営3.1.13.1)
圧力計 (4) 冷凍機の冷却水及び冷水の出入口
(4) ユニット型空調機と機体の冷温水出入口
(4) 熱交換器の温水出入口,オイルポンプの吐出管
連成計 オイルポンプの吸込管
下記の箇所に取付ける。 (営3.1.13.7)
冷温水管寄せの各返り管 (・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング32A))
冷凍機の (・ 冷水 ・ 冷却水) 出口 (・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング32A)
ボイラの温水出口 (・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング32A)
熱交換器の温水出口 (・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング32A)
65φ以上の冷温水管 (・ 冷却水管 ・ 給水管) には、防振吊金物 (・ 単式 ・ 複式) を取付ける。 (営3.2.3.1)
・ A種耐震支持 ・ B種耐震支持 (営3.2.3.1~5)
※ 別途 ・ 本工事 (営3.2.1.1~13)
・ 防振基礎 (・ A形 ・ B形) (営3.2.1.1~13)
◎別途 ・ 本工事
※ 取付ける ・ 取付けない (営3.1.1.10)
・ 設ける ・ 設けない
原則として80A以上は溶接接合とする。ただし主管は約15m以内にフランジ継手を挿入する。
(機械室に限る)
(4) 風道

13	空気調和・暖房・冷房設備		(ロ) 地震感知器の配管配線は ・ 別途 ・ 本工事 (ハ) 煤煙濃度計の指示計迄の配管配線は別途、指示計以降の配管配線は本工事とする。 (ニ) ~~火災警報装置~~ と操作スイッチ間の渡り配管配線は ・ 別途 ○ 本工事 (ホ) 防煙ダンプと運動制御器迄の配管配線及び運動制御器から煙感知器迄の配管配線は ・ 別途 ・ 本工事		
		41 油配管の埋設	溶接接合とする。(営3.2.3.4) 防食被覆は所轄消防署の規定による。()		
14	換気設備	42 消火器	・ 本工事(収納ボックス共) ○ 別途		
		43 その他	ヒューズ(温度ヒューズも含む)及び表示灯は予備品として100%納入する。 ボイラー室内制御盤以降二次側配線は耐熱電線とする。		
15	排煙設備	① 準用事項	空気調和、暖房、冷房の当該項目に準ずる項目は下記の○印あるものとする。 ・ 2 ・ 14 ・ ⑬ ・ 19 ・ 20 ・ 21 ・ 22 ・ 23 ・ 24 ・ 32 ・ 33 ・ 38 ・ 39 ・ 40 ・ 43		
		② 換気扇類及び付属品	・ BL部品 ○ 製造者規格品 (住11.2.1)		
16	地下貯油槽設備	3 一般湯沸器のフード	・ 別途 ・ 本工事		
		4 厨房用フード	※ ステンレス製(※ SUS304 ・ SUS430)厚さ1.0mm以上とする。(営3.1.11.15) ・ 亜鉛鉄板製(厚さ1.0mm以上とする) フードの周囲には幕板(フード画から天井面まで)を取付ける(・ 本工事 ・ 別途工事) 幕板材質 ※ ステンレス製(※ SUS304 ・ SUS430)厚さ1.0mm以上 ・ 亜鉛鉄板製(厚さ1.0mm以上) フードコックを ※ 取付ける ・ 取付けない		
17	自動制御設備	5 保温	多湿箇所(浴室、厨房)の外気取入れ風道は(ただし送風機、排風機は除く)保温する。(営1.2.8.5)		
		⑥ 電気工事の範囲	一般共通事項16項「他工事との取り扱い」による他下記による。 (イ) 換気扇、全熱交換器及びガス器具排気運動装置の配管、配線は 本工事に ○ 含まない ・ 含む		
18	中央監視制御装置	1 風道	・ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製(厚さ1.6mm以上) (営3.1.11.1-2)		
		2 排煙口の形式	・ 可動パネル ・ 可動羽根(スリット共) (営3.1.11.9)		
19	その他	3 排煙機	日本建築センター防災性能評定委員会の評定品とする。(営3.1.8.4)		
		4 開放装置	・ 手動式 ・ 手動及び遠隔操作式 (営3.1.11.9)		
20	その他	5 非常電源	本工事に ・ 含む ・ 含まない		
		6 風量測定方式	完成後測定表を提出する。 JISA-4303の検査基準4・2・1-(2)-(ロ)による。		
21	その他	7 排煙風道の吊り及び支持	・ A種耐震支持 ・ B種耐震支持		
22	その他	① 管	※ 配管用炭素鋼鋼管(黒管) (営3.1.12.2)		
		② 油槽蓋	※ 本工事(○建設省形〔 〕・製造者規格〔 〕)・別途		
23	地下貯油槽設備	③ 遠隔油量指示計	指示計を ○ 取付ける ・ 取付けない (営3.1.13.5-6) 形式 ※ 建設省形 ○ 製造者規格品(○電気式 防曇) ・ 空気式		
		④ 計量尺	青銅製又は黄銅製及びアルミ製とし、100ℓ未満目盛刻印入とする。(営3.1.10.5)		
24	その他	⑤ 危険物表示板	鋼板製メラミン焼付塗装とし槽最高の適切な位置に取付ける。		
		⑥ 計量口、注油口	○ 施錠付とする。		
25	その他	⑦ すえ付	営繕機械設備工事標準図の ○ 施工15による。保護は(○エポキシ樹脂塗り ・ アスファルト塗り ・ モルタル塗り)とする。		
26	その他	⑧ コンクリート工事			
		⑨ 油配管の埋設	溶接接合とする。(営3.2.3.4) 防食被覆は所轄消防署の規定による。()		
27	その他	⑩ 消火器	※ 本工事(収納ボックス共) ○ 別途		
		⑪ 管用手継手	所轄消防署の規定による。()		
28	その他	⑫ 燃料油	○ 熱源運転用の燃料油を貯油槽容量の3%納入する ・ 納入しない		
		1 自動制御方式	・ 電気式 ・ 電子式 ・ 空気式 (営4.1.1.1)		
29	その他	2 空気圧縮機	※ 空冷式 ・ 水冷式 (営4.1.1.6)		
		3 自動制御盤類、現場盤などの構成	営繕共通仕様書電気設備工事(昭和60年版)第2編第9節によるほか、中央監視制御装置のシステム構成上必要とされる機能は追従すること。(営4.1.1.7)		
30	その他	4 温・湿度検出器及び調節器	室内装置のサーモスタット、ヒューミディスタット、調節器はケース付とする。(営4.2.2.1)		
		5 電気工事の範囲	一般共通事項16項「他工事との取り扱い」によるほか下記による。 制御用の配管配線は(・ 本工事 ・ 別途工事)		
31	その他	1 中央監視制御装置のシステム構成、機能	別添システム構成図及び機能一覧表ならびに管理点数表による。(営4.1.2.1)		
		2 管理対象	・ 電気設備 ・ 給排水衛生設備 ・ 空調設備 ・ 防災設備 ・ エレベータ設備 ・ 自家発電設備 ・ その他()		
32	その他	3 自動制御設備との整合	自動制御盤及び現場盤とはこのシステム構成において協調をとること。		
		4 中央処理装置	主記憶容量 キロバイト (営4.1.2.2)		
33	その他	5 監視装置および機器	・ 各装置分離形 ・ 一体形 (営4.1.2.2)		
		6 グラフィックパネル	・ 自立形 ・ 操作卓組込一体形 (営4.1.2.2)		
34	その他	7 記録装置	材質(・合成樹脂製 ・ 鋼板製) (営4.1.2.2) 各記録はプリンターを用いて行ない、正常時は黒印字、異常時は赤印字とする。(営4.1.2.3)		
		8 中央監視盤と端末装置との通話	インターホンを設置(・する ・ しない) 通話形式は相互式とする。(営4.1.2.3)		
35	その他	9 電源装置の種別	・ 簡易形電源装置 蓄電池を ・ 設ける(形式 容量 Ah) ・ 設けない ・ 交流無停電電源装置		
		10 その他	(イ) 定格電圧 V、50Hz 容量 KVA (ロ) 蓄電池形式 容量 Ah (営4.1.2.2) 営繕共通仕様書電気設備工事(昭和60年版)第7編第1章～第2章による。		

注1 機器取付高

機器取付高さは、下記を標準とする。ただしこれによりがたい場合は監督員と協議する。

	名 称		測 点	取付高(㎜)		名 称		測 点	取付高(㎜)	
衛 生 器	衛 生 器 具	小便器 (壁掛 壁掛ストール)	床面～前縁上端	530	衛 生 器 具	鏡 (一 般 用) (身 障 者 用) (浴室洗い場用)	床面～鏡上端 〃 〃	1,700 1,700 1,100		
		洗 面 器	〃	720		化 粧 棚	床面～棚上端	1,050		
		身障者用洗面器	〃	760			空 気 調 和	室内形温湿度検出器	床面～中 心	1,500
		手 洗 器	〃	760				ファンコイル用 操作スイッチ	〃	1,300
		流 し	〃	820			排煙口手動操作箱	〃 〃	800～1,500	
		洗浄用ハイタンク	床面～タンク下端	2,000以上		そ の 他				
器 具	洗浄済み付ロータック (和風大便器) (洋風大便器)	〃 〃	500 550							
	水 栓(流 し)	流 し 床～吐水口	300							
		(浴 槽)	浴 槽 縁 ～ 〃	150						
		(手 洗 器)	前縁上端～ 〃	150						
		(浴室洗い場)	洗い場床面～ 〃	250						
		(洗 濯 機)	床 面 ～ 〃	1,200						

機 械 設 備 工 事 ・ 試 験 内 容 一 覧

1. 給排水・衛生・暖房・空調設備

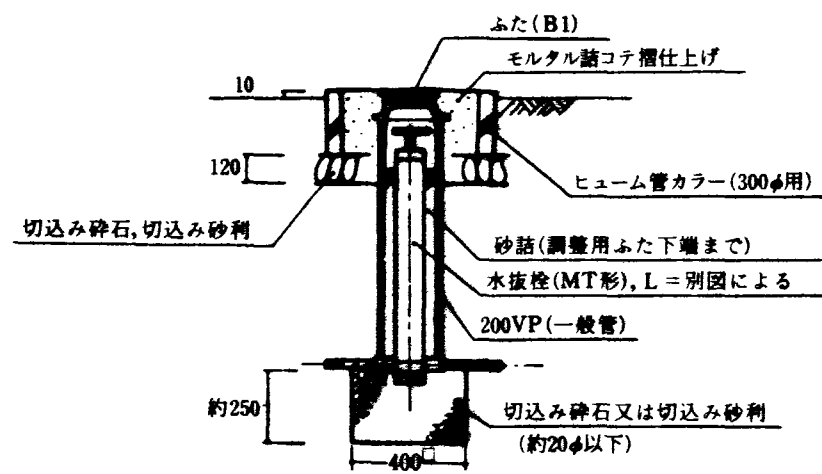
工 種	項 目	試 験 時 期				試 験 方 法	規 定 値	最 小 保 持 時 間	備 考
		配管途中	隠ぺい前	煙戻し前	配管完了後				
1	ポンプ本体				据付完了後	水 圧	最高吐出圧力（運転範囲に於る最高全揚程＋最高押込圧力）の1.5倍、但し最低1.5kgf/cm ²		揚水ポンプ、深井戸用水中ポンプ、濾水循環ポンプ
2	〃				〃	〃	最高吐出圧力の1.5倍、但し最低4.0kgf/cm ²		汚水、雑排水、汚物用水中ポンプ
3	〃（屋内消火栓設備）				〃	〃	最高吐出圧力の1.5倍以上 但し最小10kgf/cm ²		消火ポンプ
4	圧力水槽、貯湯槽				〃	〃	最高使用圧力4.3kgf/cm ² 以下は最高使用圧力の2倍 2kgf/cm ² 未満は2kgf/cm ² 最高使用圧力が4.3kgf/cm ² を超え15kgf/cm ² 以下は最高使用圧力の1.3倍に3kgf/cm ² を加えた圧力		
⑤	給水装置に該当する管	○	○	○	○	〃	最小17.5kgf/cm ²	60分	水道事業者の試験圧力がある場合はそれに依る。
6	揚水管	○	○	○	○	〃	ポンプ全揚程に相当する圧力の2倍、但し最小10kgf/cm ²	〃	
7	高置水槽以下の配管	○	○	○	○	〃	静水頭に相当する圧力の2倍、但し最小10kgf/cm ²	〃	
⑧	給湯管	○	○	○	○	〃	同上		
⑨	排水管	○	○	○	○	滴 水	煙試験は刺激性の濃煙を使用し25mmH ₂ Oとする（試験は15分）	30分	汚水・一般雑排水、衛生器具取付完了後
10	水質試験				○	簡易試験	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、塩素イオン、有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）、一般細菌並びに大腸菌群、PH値、臭気、味、色度、濁度以上10項目		福島県条例第39号 福島県給水施設等条例
11	塩素滅菌装置				機器取付後	動作試験	注入及び停止をそれぞれ10回以上繰り返し異常の有無		（注3.3.8）
12	水槽類				○	滴 水	満水状態で12時間以上放置後漏水の有無		（注3.3.8）（注5.3.5）
⑬	通水試験				○	通 水	水栓等器具取付後各々全開又は作動させ吐出水が清澄になるまで行う。及び各器具の水量の調整		（注3.3.8）
14	連絡送水管送水口	○	○	○	○	水 圧	最小17.5kgf/cm ²	60分	
15	ハロゲン化物消火配管				○	気 密	25kgf/cm ² 、加圧の場合25kgf/cm ² 42kgf/cm ² 、〃〃42kgf/cm ²	10分	空気又は窒素ガス
16	粉末消火配管				○	〃	25kgf/cm ²	10分	〃〃
17	鋼製ボイラ				据付完了後	水 圧	・最高使用圧力4.3kgf/cm ² 以下は最高使用圧力の2倍、但し2kgf/cm ² 未満は2kgf/cm ² ・最高使用圧力4.3kgf/cm ² を超え15kgf/cm ² 以下は最高使用圧力の1.3倍に3kgf/cm ² を加えた圧力 ・最高使用圧力以上の圧力を受ける恐れのない温水ボイラーは最高使用圧力に1kgf/cm ² を加えた圧力		
18	鋳鉄製ボイラ				据付完了後	水 圧	2kgf/cm ² 最高使用圧力の1.5倍、但し2kgf/cm ² 未満は2kgf/cm ² 最高使用圧力が2kgf/cm ² 以下は4kgf/cm ² 、最高使用圧力が2kgf/cm ² を超えるボイラーは最高使用圧力の2倍		蒸気ボイラー 温水ボイラー セクション
19	冷凍機				○	〃	設計圧力の1.5倍		冷水及び冷却水系路
20	遠心冷凍機				○	気 密	真空700mmHg以上とし、真空降下は12時間に対して1時間当り0.35mmHg以下とす。		フロン12などの高圧ガス使用を除く
21	吸収冷凍機				○	〃	ハロンガスによる漏れ試験（機内より機外へ）又はヘリウムガスによる漏れ試験（機外より機内）漏れ量は2×10 ⁻⁸ atm・cc/s		直置き吸収冷凍水機 小形直置き吸収冷凍水機
22	鋳鉄放熱器				○	水 圧	最高使用圧力2kgf/cm ² 以下は4kgf/cm ² 、最高使用圧力2kgf/cm ² を超える場合最高使用圧力の1.5倍、但し最低4kgf/cm ²		
23	フィンチューブ放熱器 ファンコンベクター				○	気 密 耐 圧	空気又は窒素ガス圧試験で5kgf/cm ²		
②④	地下貯油槽			○		水 圧	0.75kgf/cm ² 以上	10分	
25	熱交換器、管寄せ				○	〃	最高使用圧力4.3kgf/cm ² 以下は最高使用圧力の2倍、但し2kgf/cm ² 未満は2kgf/cm ²		
26	蒸気配管	○	○	○	○	〃	最高使用圧力の2倍、但し2kgf/cm ² 未満は2kgf/cm ²	30分	
②⑦	油配管	○	○	○	○	空 気 圧	最大常用圧力の1.5倍	30分	
②⑧	冷媒配管				○	気 密	フロン12 高圧側13.2kg/cm ² G、低圧側8kg/cm ² G フロン22 〃 16.0kg/cm ² G 〃 8kg/cm ² G	30分	窒素ガス、炭酸ガス又は乾燥空気
29									
30									
③①	し尿浄化槽	○		○	○	水 圧	当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍	60分	汚水移送管、消泡管
		○		○	○	気 密	最高使用圧力の1.1倍の圧力	60分	送気管、散気管

2. ガス設備

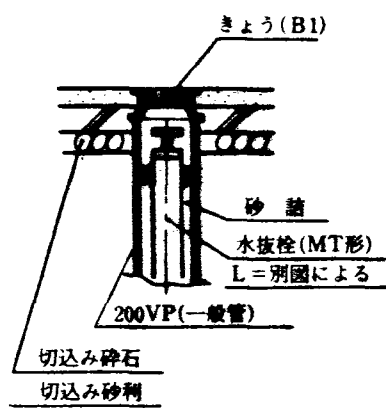
1	都市ガス	○	○	○	○	気点 密火	原則として最高使用圧力の1.1倍以上 ガスメーター取付後、管内空気を排出して行う。	供給会社 規 程	JIS S 2121（記録） （都市ガス用燃焼器具類の試験方法）
②	液化石油ガス	○	○	○	○	気点 密火	圧力値は高圧側15.6kgf/cm ² 以上、低圧側840mmH ₂ O以上1,000mmH ₂ O未満 ガスメーター取付後管内空気を排出して行う。		JIS S 2101（記録） （液化石油ガス用燃焼器具類の試験方法）

⑥ 水抜栓類施工要領

① 屋外埋設の場合

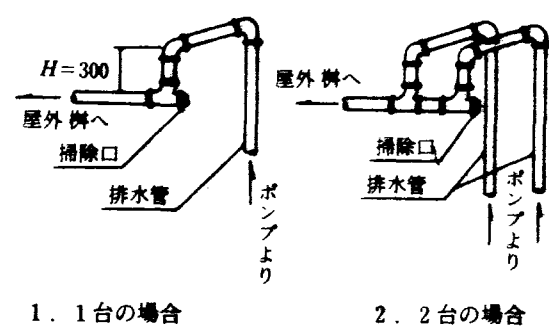
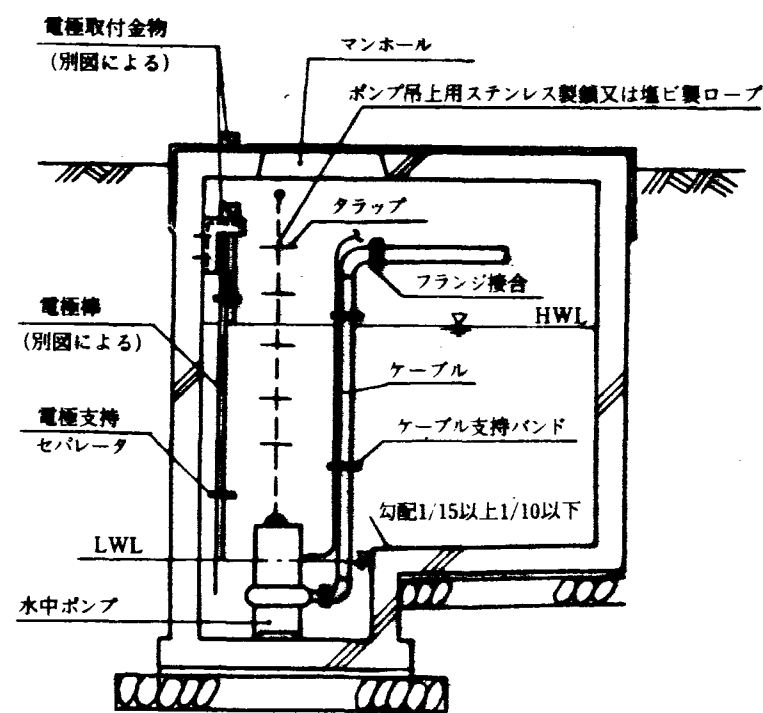


2. 屋内埋設の場合



注：(1) 下部は屋外埋設の場合に準ずる。
(2) ハンドル床の場合、高さは図示による。

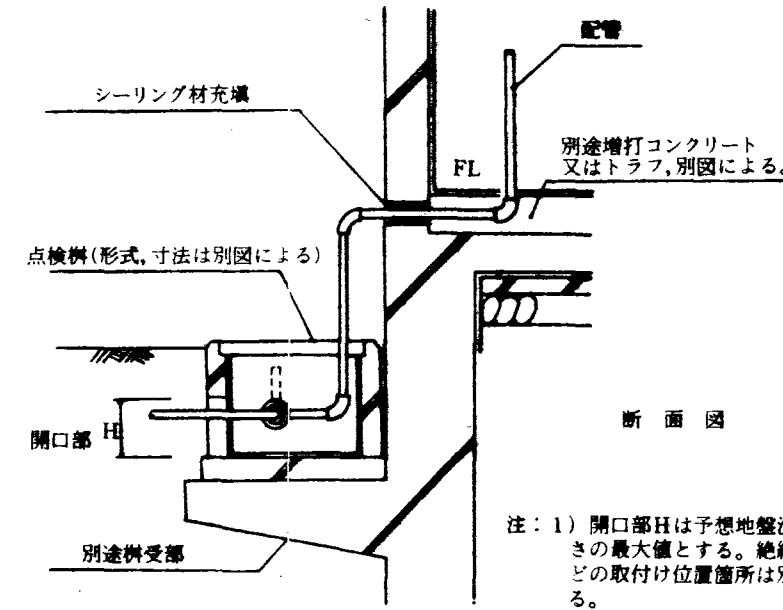
6 水中ポンプの設置及び関連配管施工要領



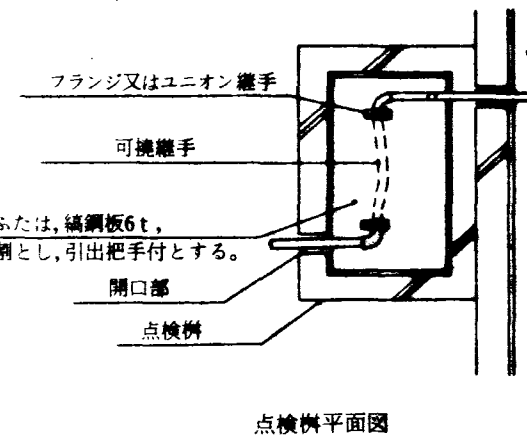
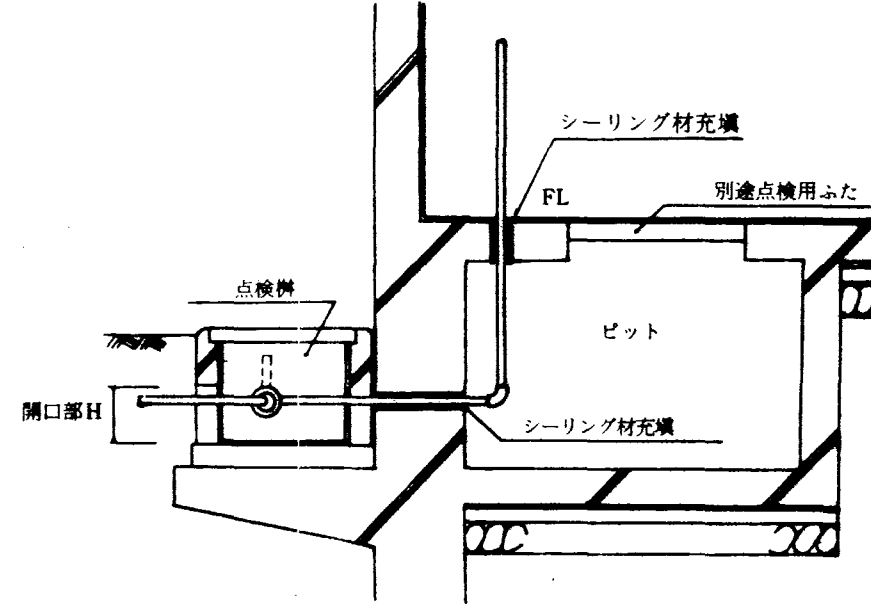
汚水・排水ポンプ配管例

⑦ ガス配管可撓継手及び配管敷設要領

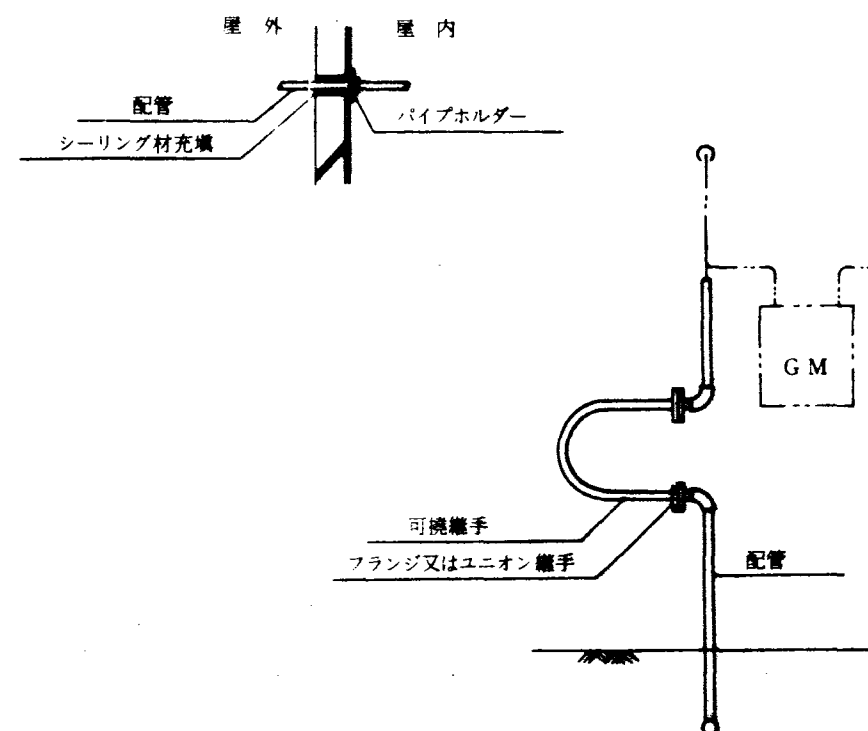
① 屋外立上げの場合(その1)



2. 屋内立上げの場合(その2)

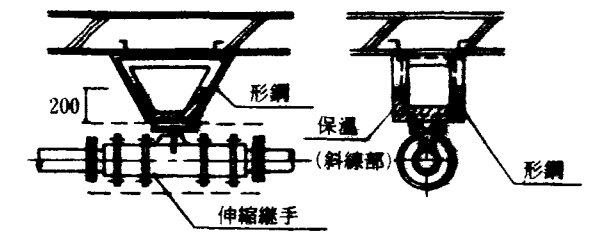


③ 屋外立上げの場合

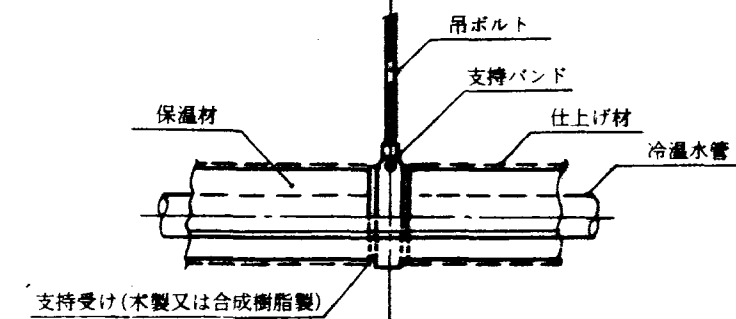


1 冷温水配管支持金物などの保温要領

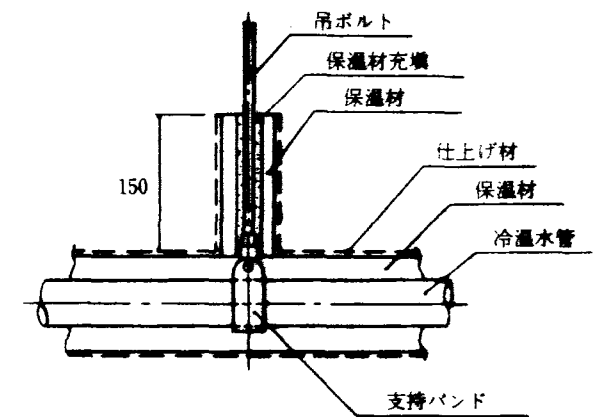
1. 伸縮継手の場合



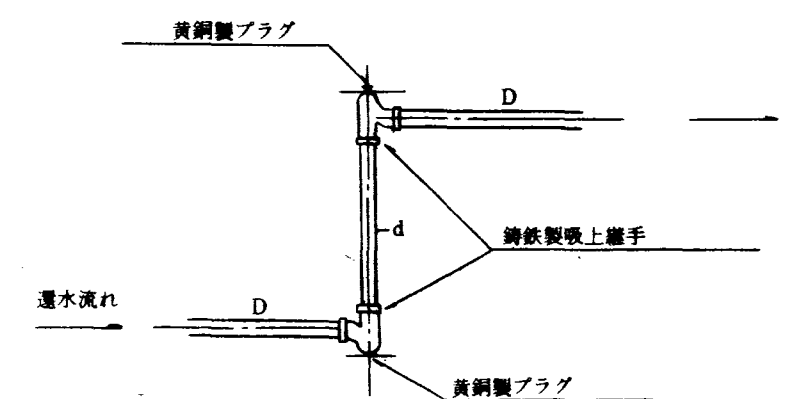
2. 冷温水配管の場合



3. 監督員の承諾による



2 蒸気管吸上継手施工要領図

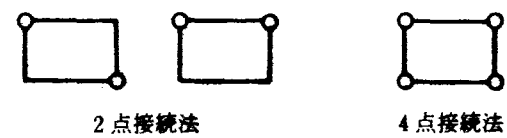


管の呼び径	D	15	20	25	32	40	50	65
d	15	15	20	25	32	40	50	

③ 風道の製作と接合要領

① 風道のかどの継目は2箇所以上とし、次に例を示す。

- (1) 2点接続法——鉄板を2枚組み合わせて、接続を2箇所とする。
- (2) 4点接続法——鉄板を各面4枚組み合わせ、接続を4箇所とする。



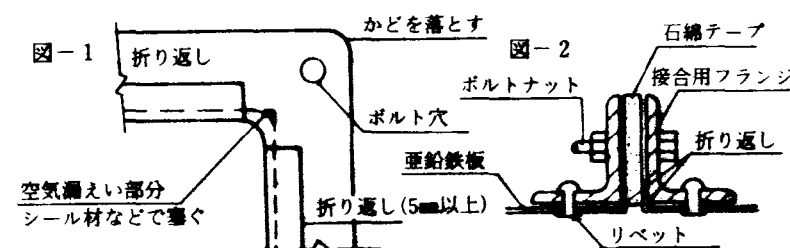
② 風道の継目は次による。

- (1) ビッツバグはぜ
 - (2) ボタンパンチスナップはぜ
 - (3) 内部甲はぜ
- 内部甲はぜ継ぎは、上記(1)(2)はぜが風道のかどの継目に用いられるのと違い、流れの直角方向及び流れ方向（標準の板取りができないもの）の継目に用いられる。



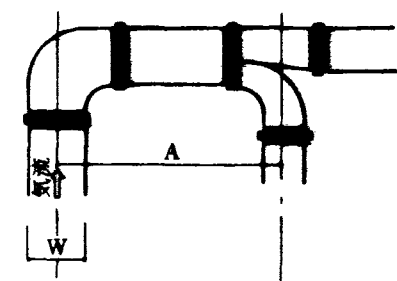
③ 風道の接続

- (1) 接合フランジと風道両部は、空気漏えいの最大の原因となるから、風道の折返しに注意し、製作後シーリング材を用いて隙間を塞がなければならない。(図-1)
- (2) フランジ接合面の外周は、危険防止のためかどを落とす。(図-1)
- (3) フランジを風道に取付ける場合、接合面の余肉とまくれはグラインダなどで平滑に仕上げたものをリベットで十分に締める。(図-2)
- (4) フランジ接合は、バックンを使用してボルトで片締めのないように、気密に締付ける。(図-2)



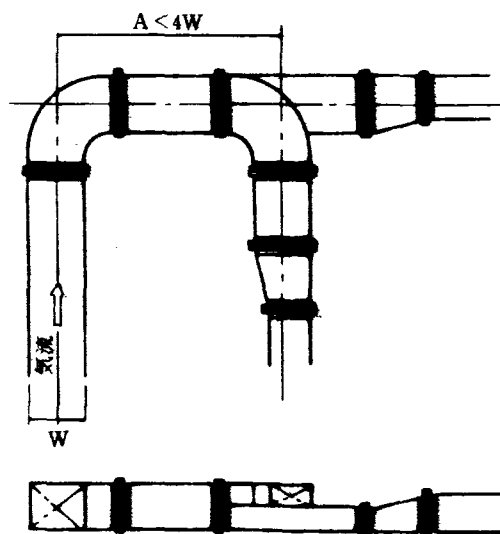
④ 曲り直後の風道の分岐要領

① 割込み分岐の場合



- ・ $A > 8W$ はガイドベーン不必要
 - ・ $4W \leq A \leq 8W$ はガイドベーン必要
 - ・ $A < 4W$ は下図による
- 注：ガイドベーンは監督員と協議する。

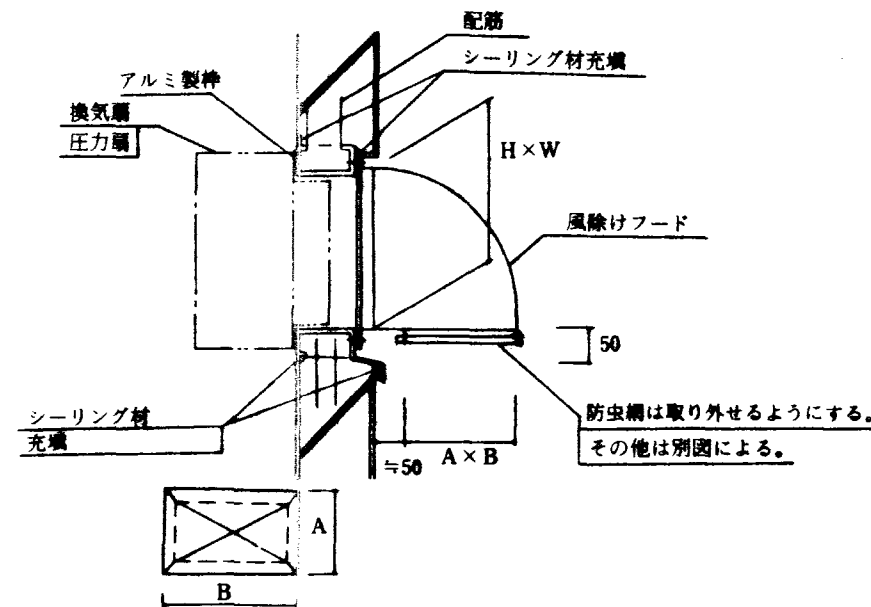
② 同上（上下に分岐する場合）



・ $A < 4W$ の場合

⑤ 換気扇類取付け及び、風除けフード製作要領

注：枠は建物の配筋に溶接する。



1. 換気扇の場合（防虫網付、なし共）

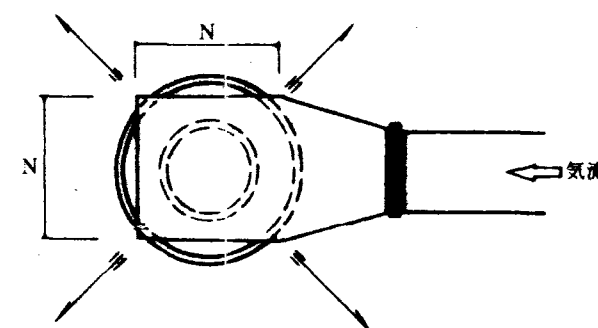
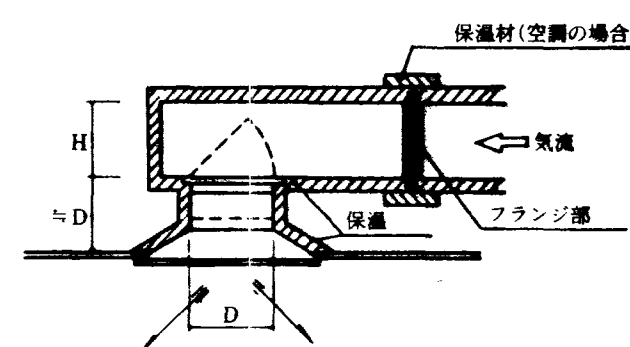
寸法	羽根径	200φ	250φ	300φ	
A × B		250 × 250	300 × 300	300 × 350	
H × W		250 × 250	300 × 300	350 × 350	

2. 有圧換気扇の場合

寸法	羽根径	250φ	300φ	350φ	注 記
A × B		300 × 300	300 × 350	300 × 400	防虫網なし
H × W		300 × 300	350 × 350	400 × 400	
A × B		300 × 350	300 × 500	350 × 600	防虫網付
H × W		300 × 350	350 × 500	400 × 600	

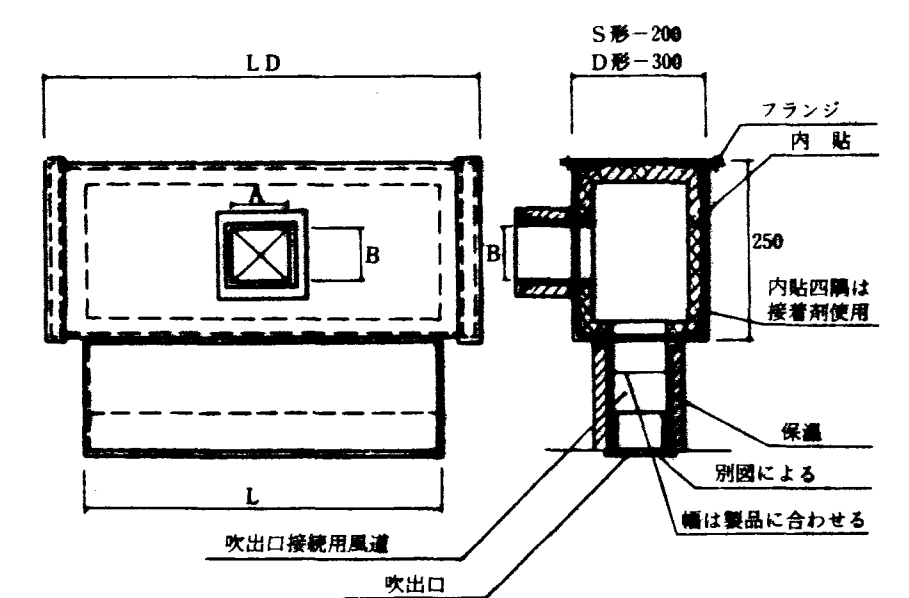
- 注：(1) 防虫網はステンレス製とし網目は10メッシュとする。
(2) 防虫網固定用のアングル（形綱）の幅は25とする。

⑥ アネモディフューザと風道の取付け要領



ネック径(D)	130	150	200	250	300	350
N	400	400	400	500	500	500
H	250	250	250	300	300	300

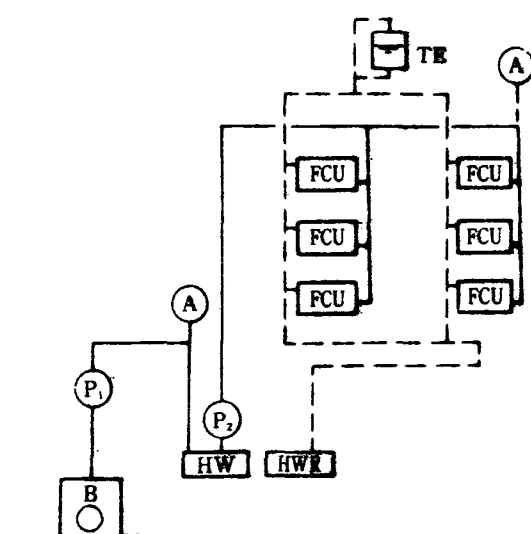
⑦ ブリーズライン用チャンバ製作要領



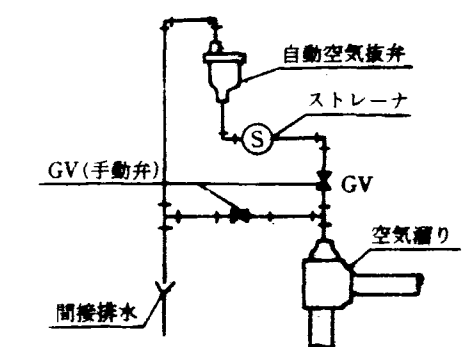
- 注：(1) 内貼箇所は別図による、内貼仕様は特記仕様書による。
(2) A及びBは接続ダクト寸法を示す。
(3) ダクト接続口は約1mに付1個とする。

L	500	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000	3,500	4,000	4,500	5,000
L D	700	1,200	1,700	2,200	2,700	3,200	3,700	4,200	4,700	5,200

8 自動空気抜弁取付け要領

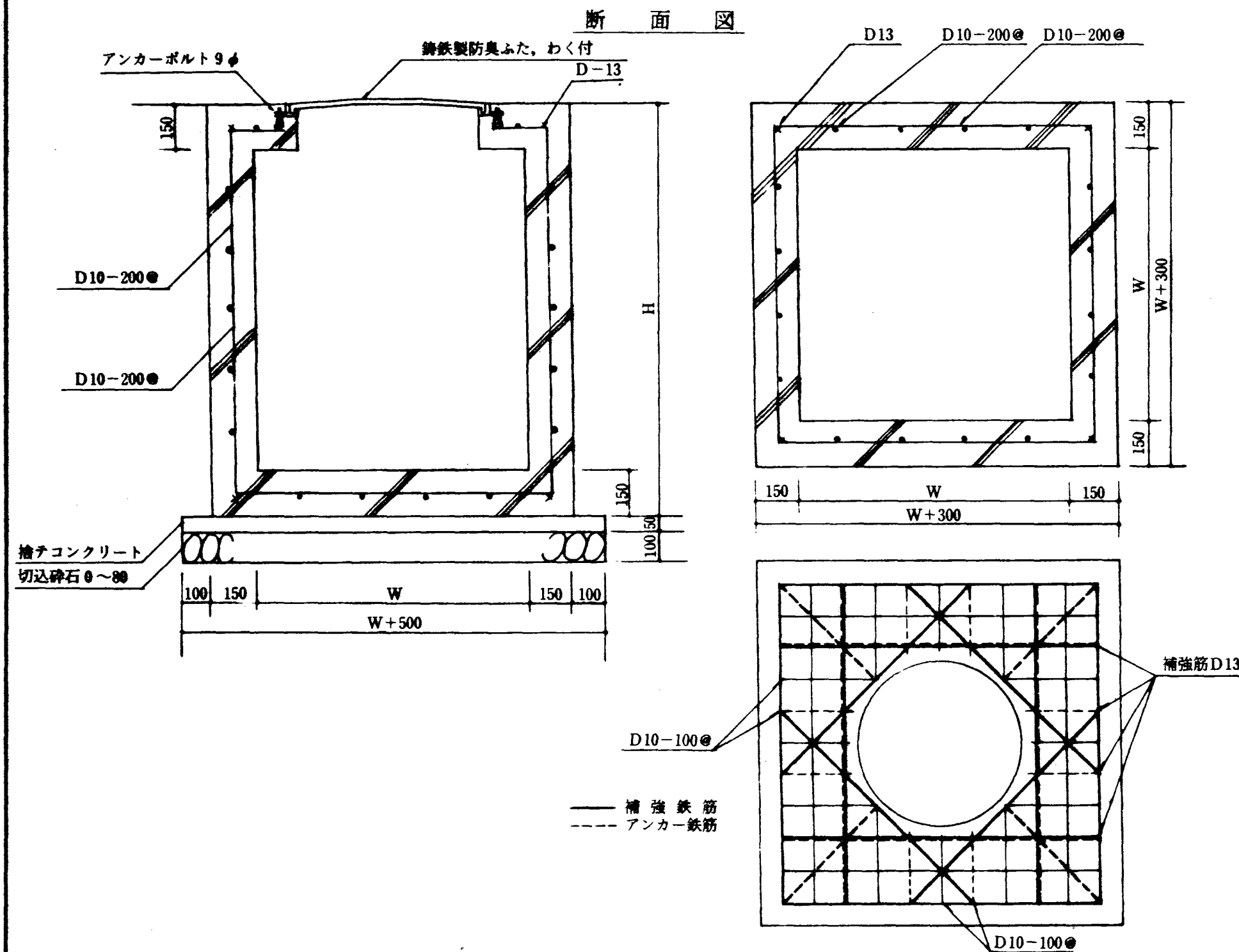


- 注：(1) 上図は空調関係の冷却水配管の場合を示す。
(2) ④は自動空気抜弁を示し、詳細は下図による。

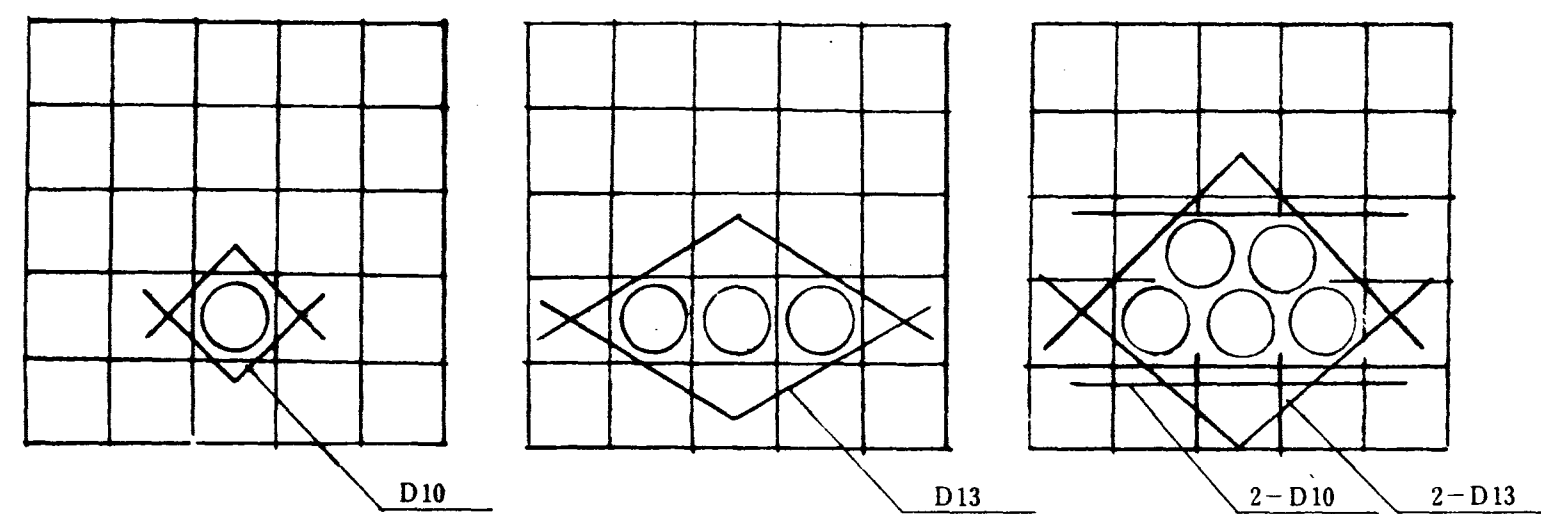


自動空気抜弁要領図

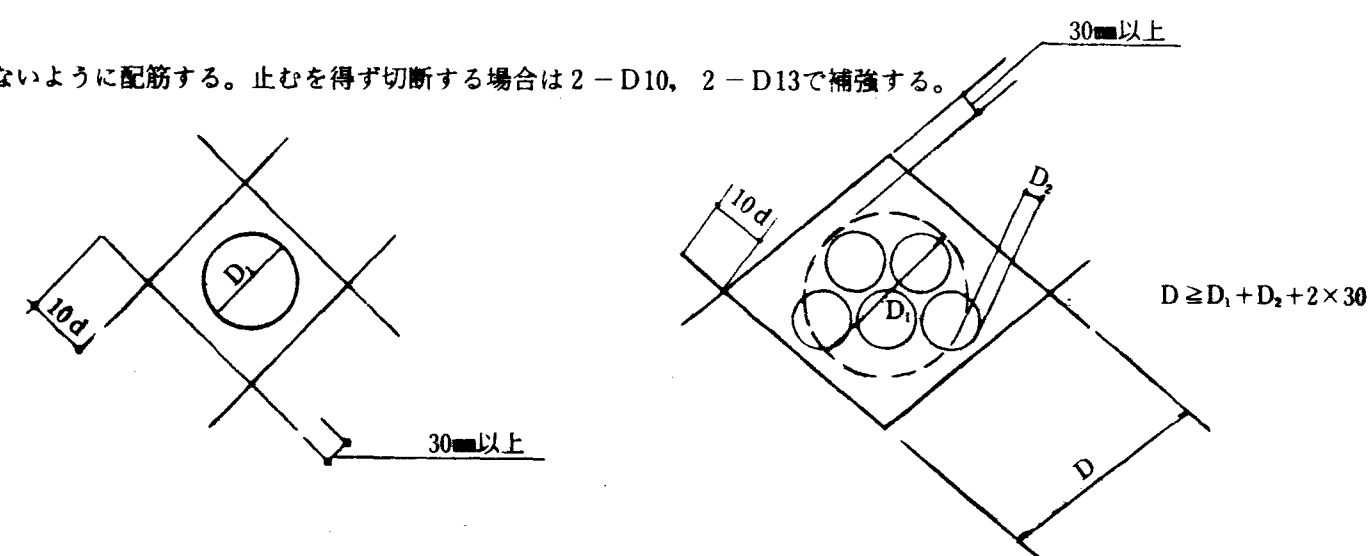
桁 の 配 筋 図 (A)



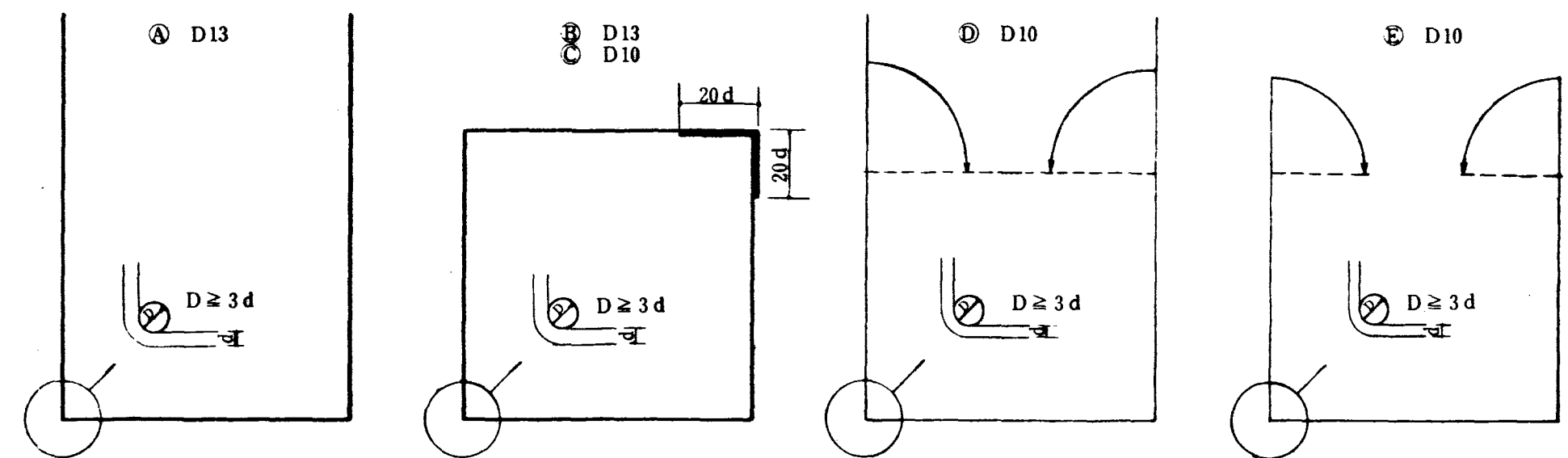
配筋補強図



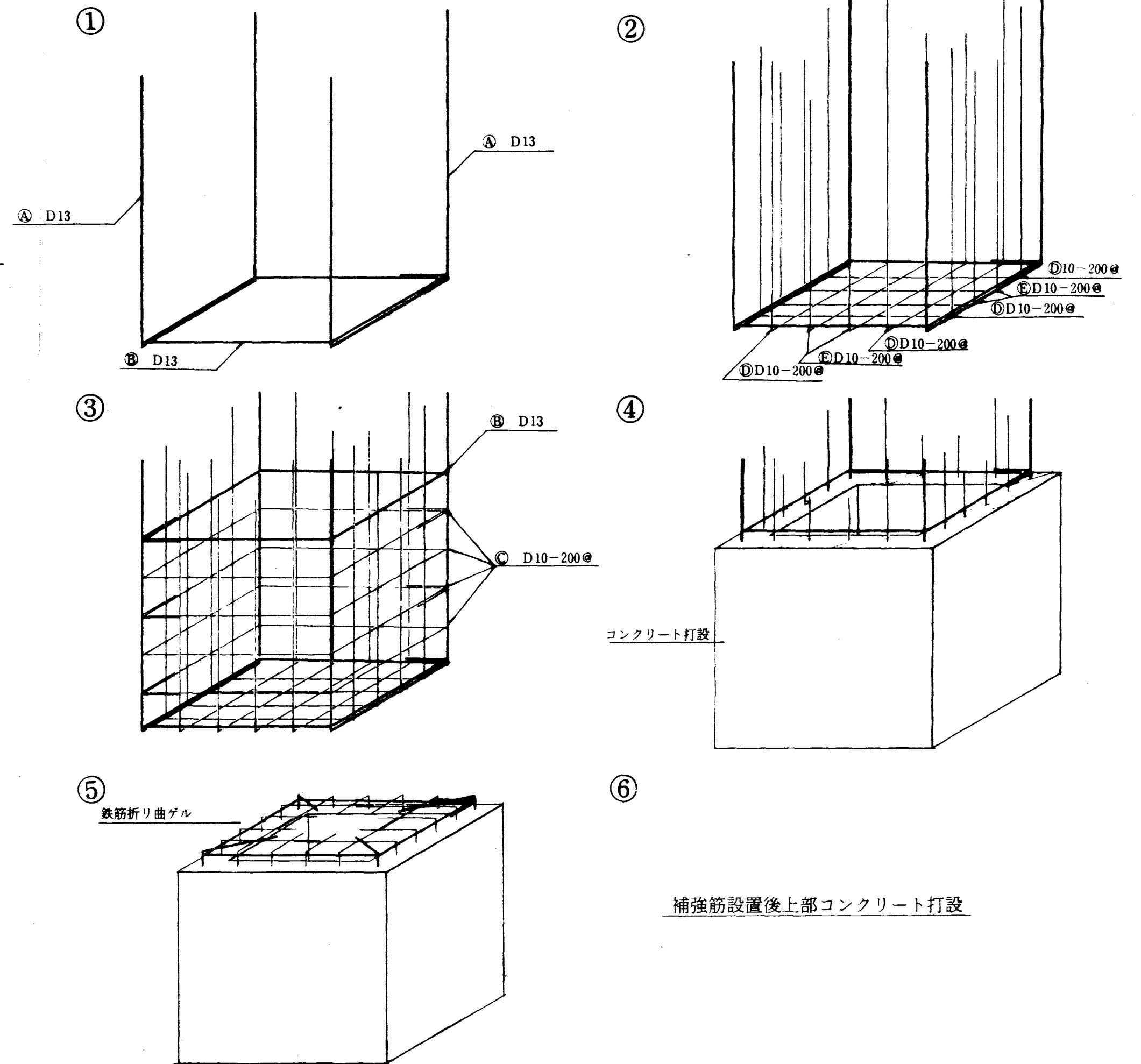
※鉄筋はなるべく切断しないように配筋する。止むを得ず切断する場合は2-D10, 2-D13で補強する。

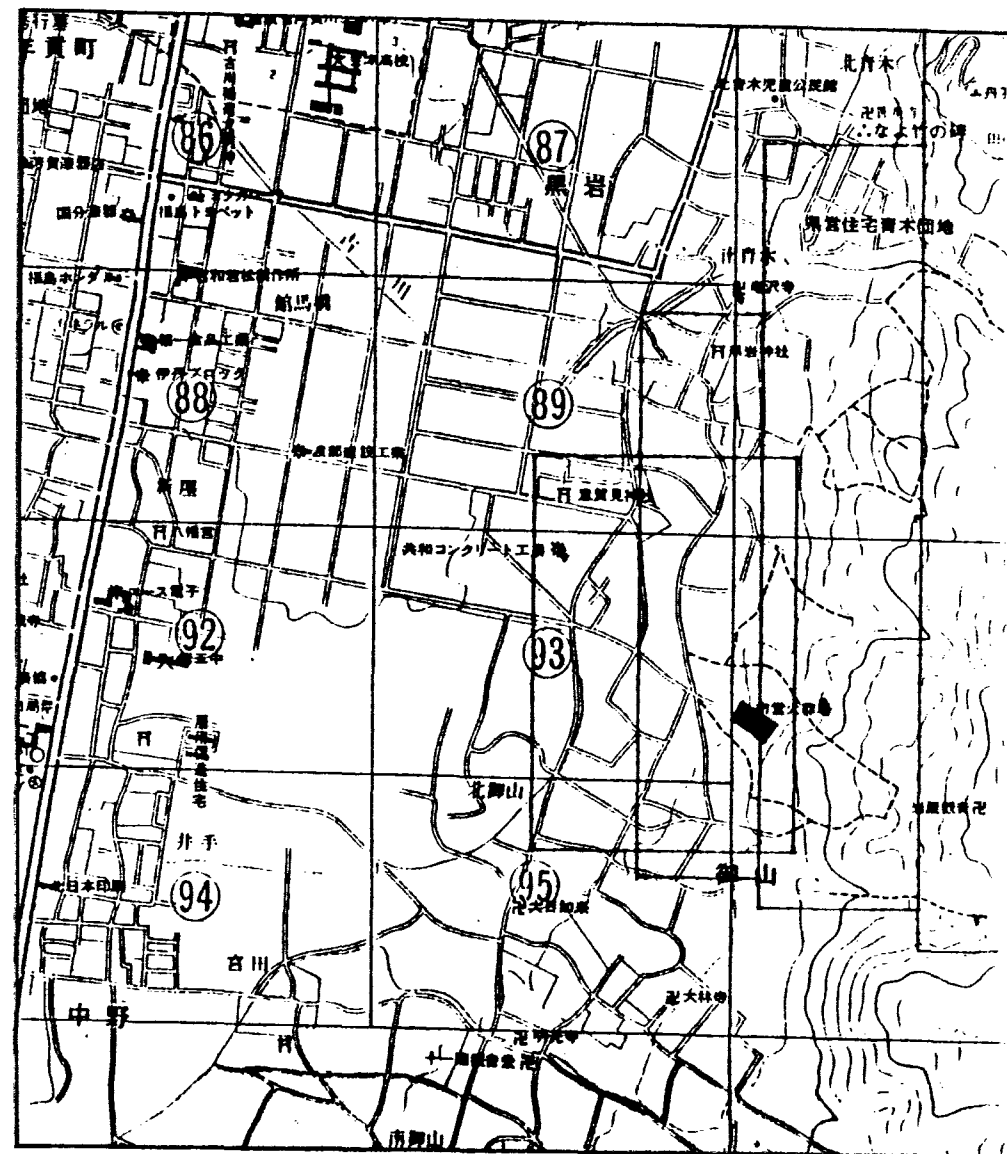


鐵筋折曲圖



鉄筋組立図

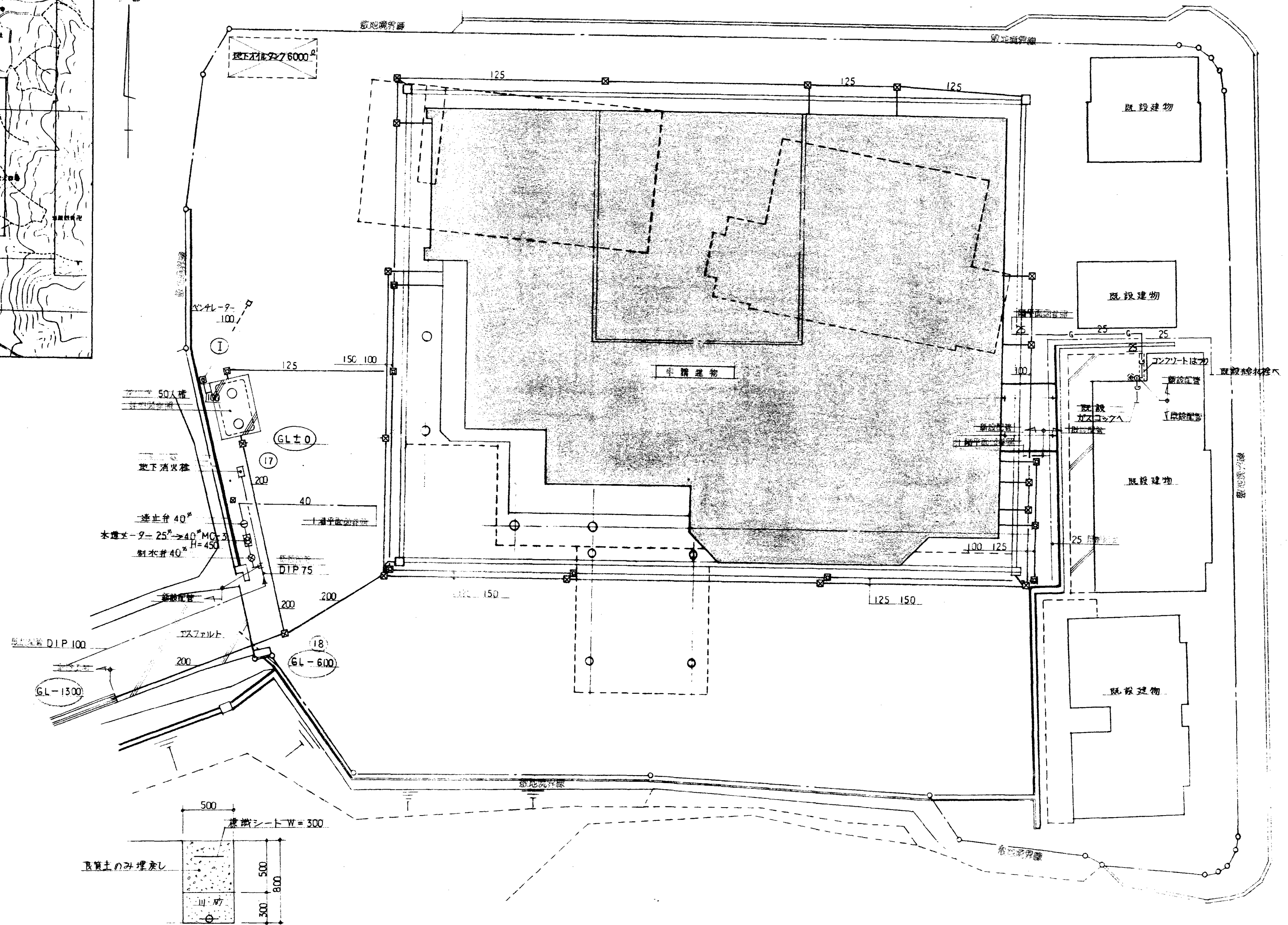




案内図

材料リスト

名	称	寸	法
A	汚水	SC-2 550	M H B
B	〃	〃 600	〃
C	〃	SC-3 650	M H A
D	〃	〃 800	〃
E	〃	〃 950	〃
F	〃	〃 1080	〃
G	〃	SC-2 550	〃
H	〃	SC-4 1220	〃
I	〃	〃 1340	〃
1	排水	RC-2 550	M H B
2	〃	RC-3 610	〃
3	〃	〃 710	〃
4	〃	〃 740	〃
5	〃	〃 800	M H A
6	〃	〃 950	〃
7	〃	〃 1100	〃
8	〃	RC-4 1230	〃
9	〃	RC-2 550	〃
10	〃	RC-3 615	〃
11	〃	〃 760	〃
12	〃	〃 910	〃
13	〃	〃 945	〃
14	〃	〃 1045	〃
15	〃	〃 1085	〃
16	〃	RC-4 1340	〃
17	〃	〃 1440	〃
18	〃	〃 1150	〃



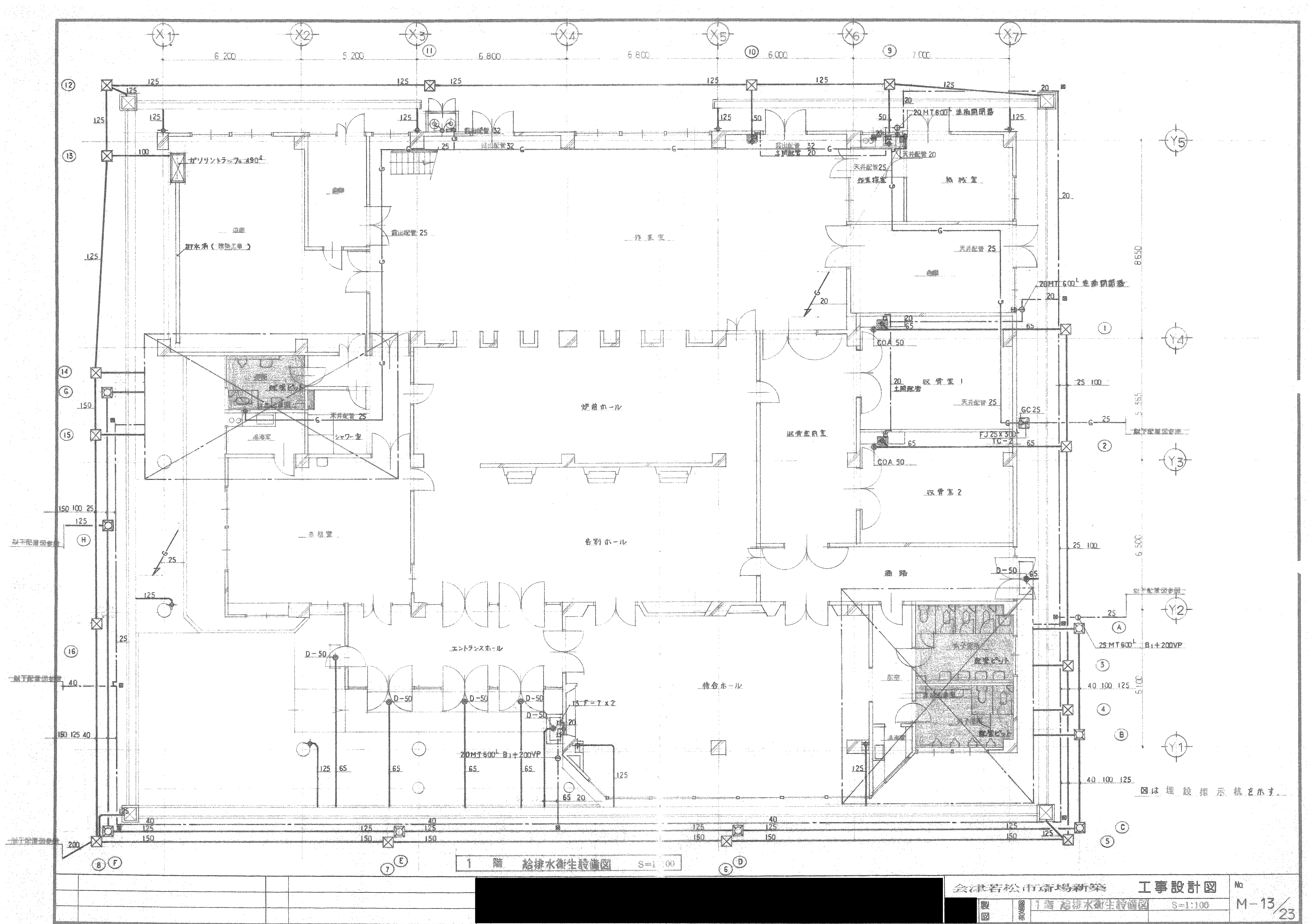
配置図 8=1:200

☒は埋設配管を示す。
(コンクリート管)

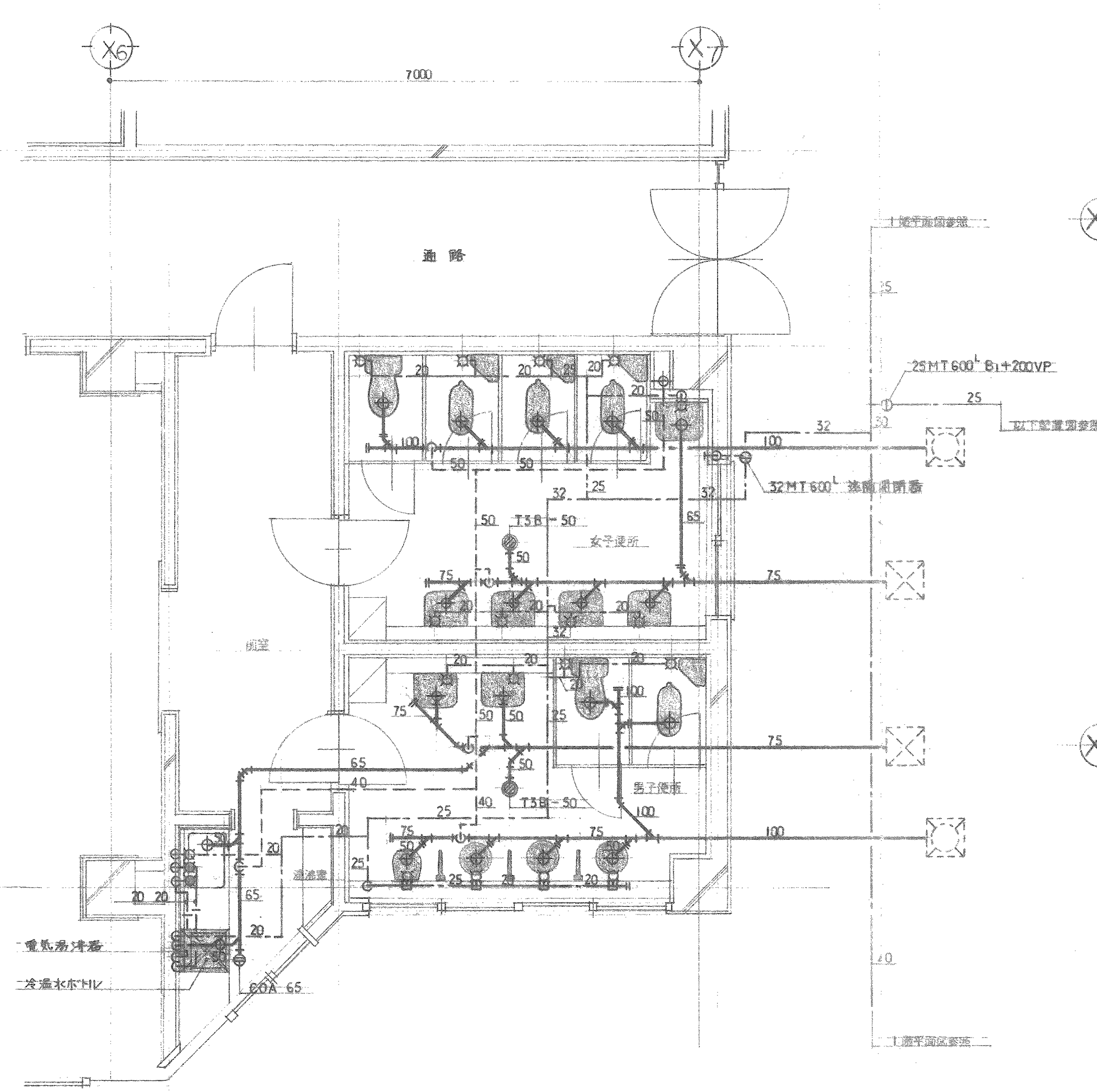
給水管埋設

器具表

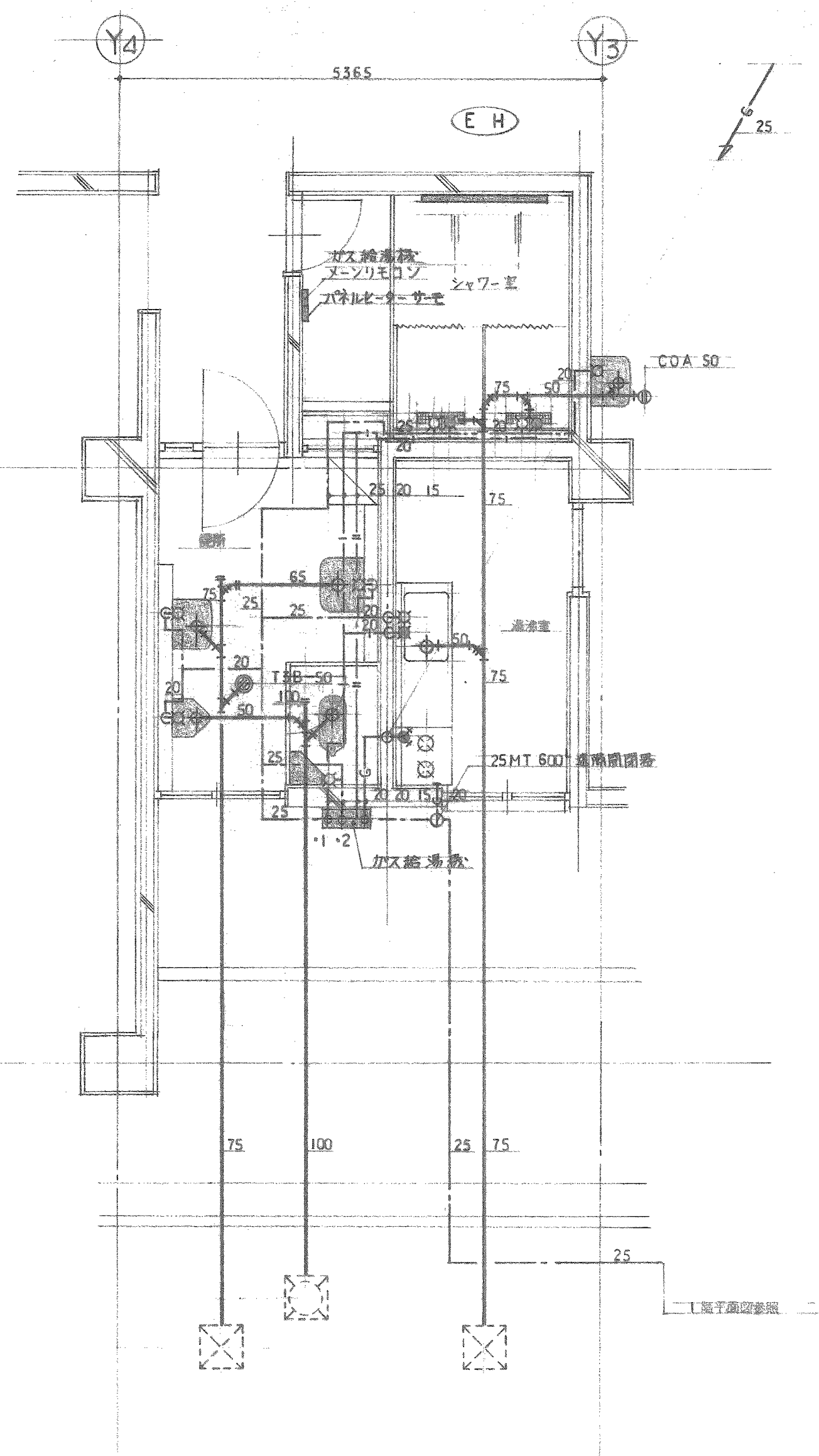
器具名称	器具仕様	(使用場所)																		数量
		男子便所	女子便所	湯沸室	便所	シャワー室	湯沸室	風呂室	作業室	作業室	収容室1	収容室2	ボイラ室	大開閉	外部	その他				
洋風大便器	(C730B S730B)	1	1																	2
和風大便器	VC317R (S570BF T55H1)	1	3		1															5
感知フラッシュバルブ	(TEA 96L)	4																		4
ストール小便器	(U 100 TU100P)	3																		3
〃	(U 309C T60P)	1																		1
〃	VTU320R				1															1
洗面器	VL630 ストラップ	2	4		1				1											8
〃	〃 Pトラップ							1												1
〃	(L330CFR TL180A)											1	1							2
掃除流し	VS210		1		1															2
化粧鏡	360×450 耐食型	2	4		1	1		1	1											10
化粧棚	陶器製 450×140							1	1											2
タオル棚	(TS113A1R)							1												1
タオルフック	(TS118WS)					2														2
水石鹸入れ	縦型 350CC	2	4		1			1	1											9
標記板	陶器製 140×60	6	4		2															12
隔板	(A 100)	3																		3
横形自在水栓	13 F-10A									1										1
万能ホーム水栓	13 F-7													2						2
シャワーセット	(TBS62BZ)					2														2
湯水混合栓	(TK180)			1			1													2
横形自在水栓	(TK605)			1																1
床排水金物	T3B-50	1	1		1															3
排水目皿	D-50													6						6
床上掃除口	COA 65			1																1
〃	COA 50							1			1	1								3
通気口	50 VA-2		1																	1
床排水金物	(PBF-TM-60)					2														2
ガス湯沸器	5号 ワンタッチ元止式 GV.								1											1
ガス給湯機	20号 壁掛瞬間型 湯量台共GV.CV共														1					1
電気湯沸器	95℃.45℃(調理台型) 50 ^ℓ			1																1
冷温水ボトル	1 ^φ 200 ^V 3 ^{kw} (ES-50DW)																			
ガスコック	470×413×565 ^H 1 ^φ 100 ^V 600 ^W			1																1
〃	32 ^φ サービス型												1							1
〃	25 ^φ 〃														1					1
〃	13 ^φ ×10 ^φ 可とう管コック								1											1
ヒューズコック	13×10 ^φ 2ロ						1		1											2
ガス調整器	7 ^φ HT 2本用 転倒防止フェン2本												1							1
ガスリントラップ	490 ^ℓ 1200×600 3槽式 本体 無熱型 蓋SS製 T=2															1				1
凍結防止ヒーター	・1 1 M 1 ^φ 100 ^V 15 ^W															1				1
〃	・2 1 M 〃															1				1



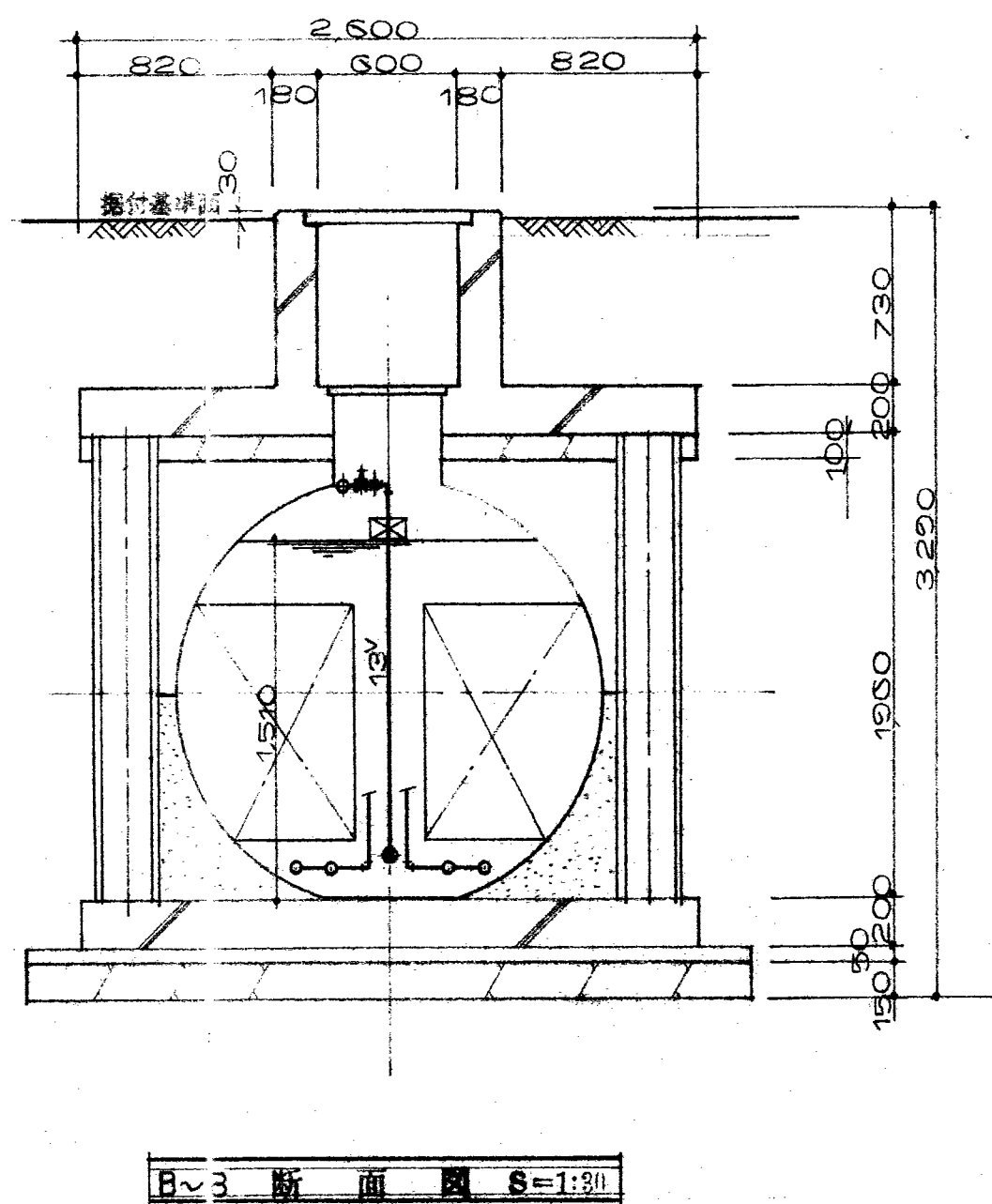
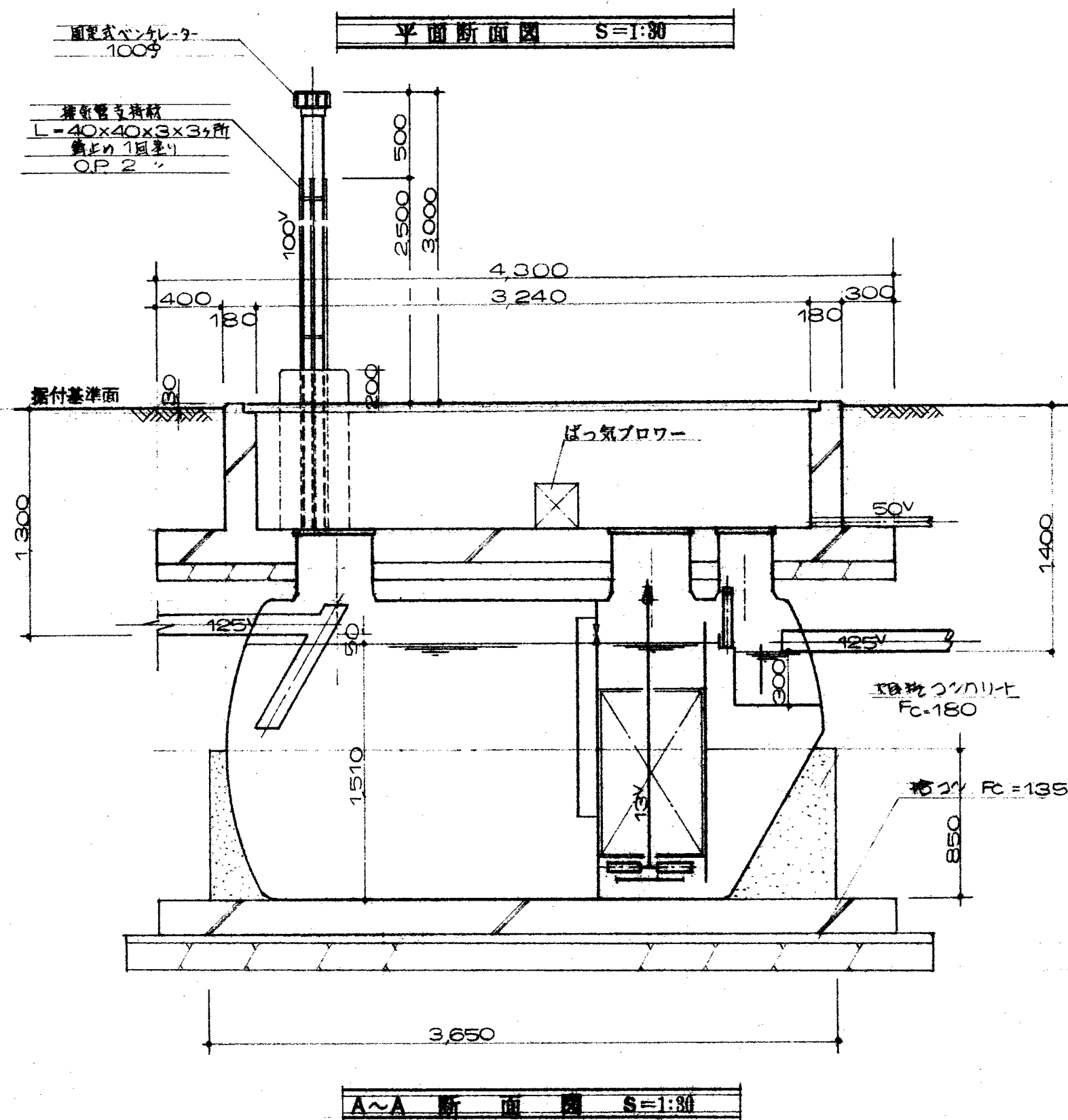
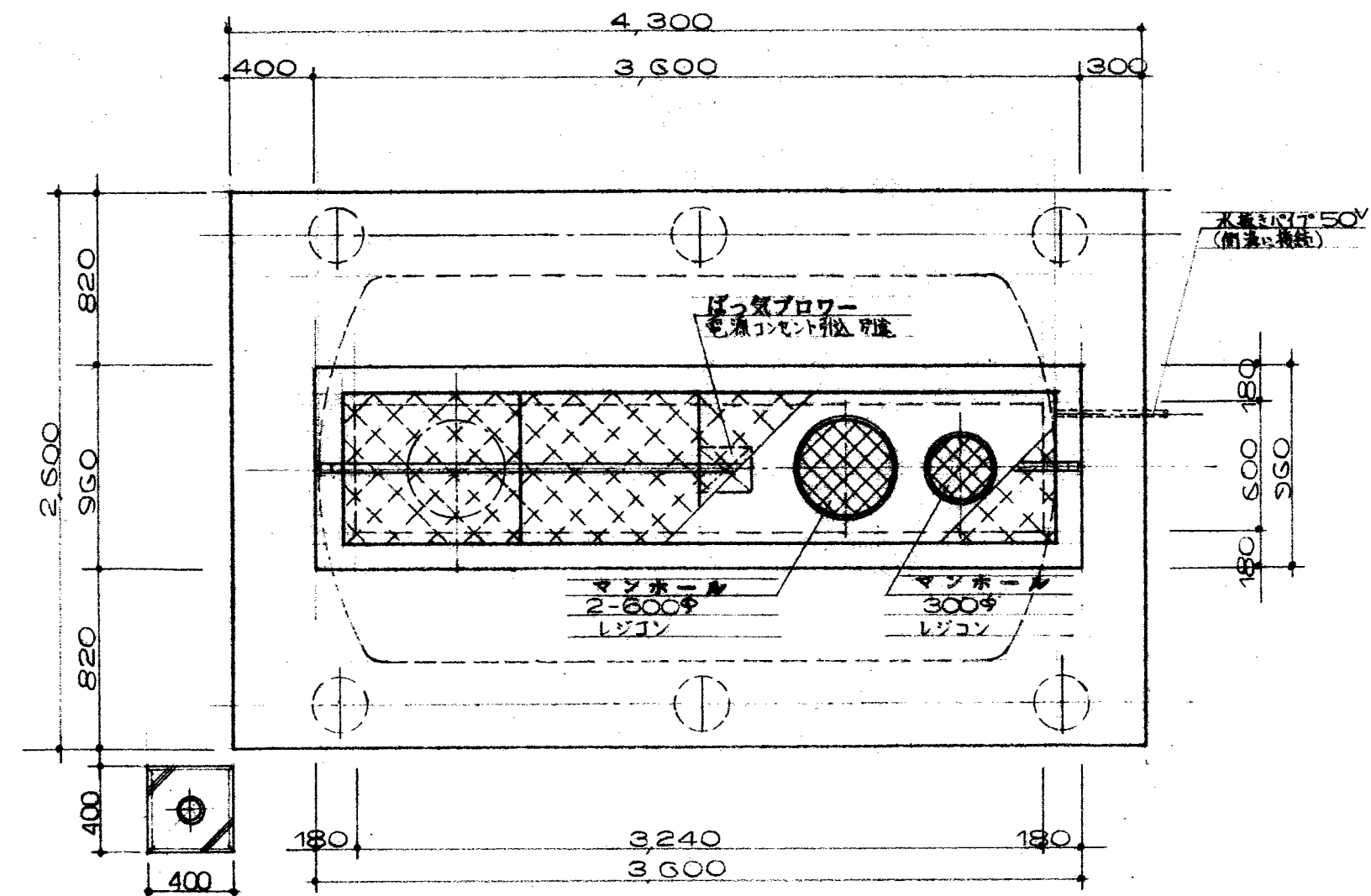
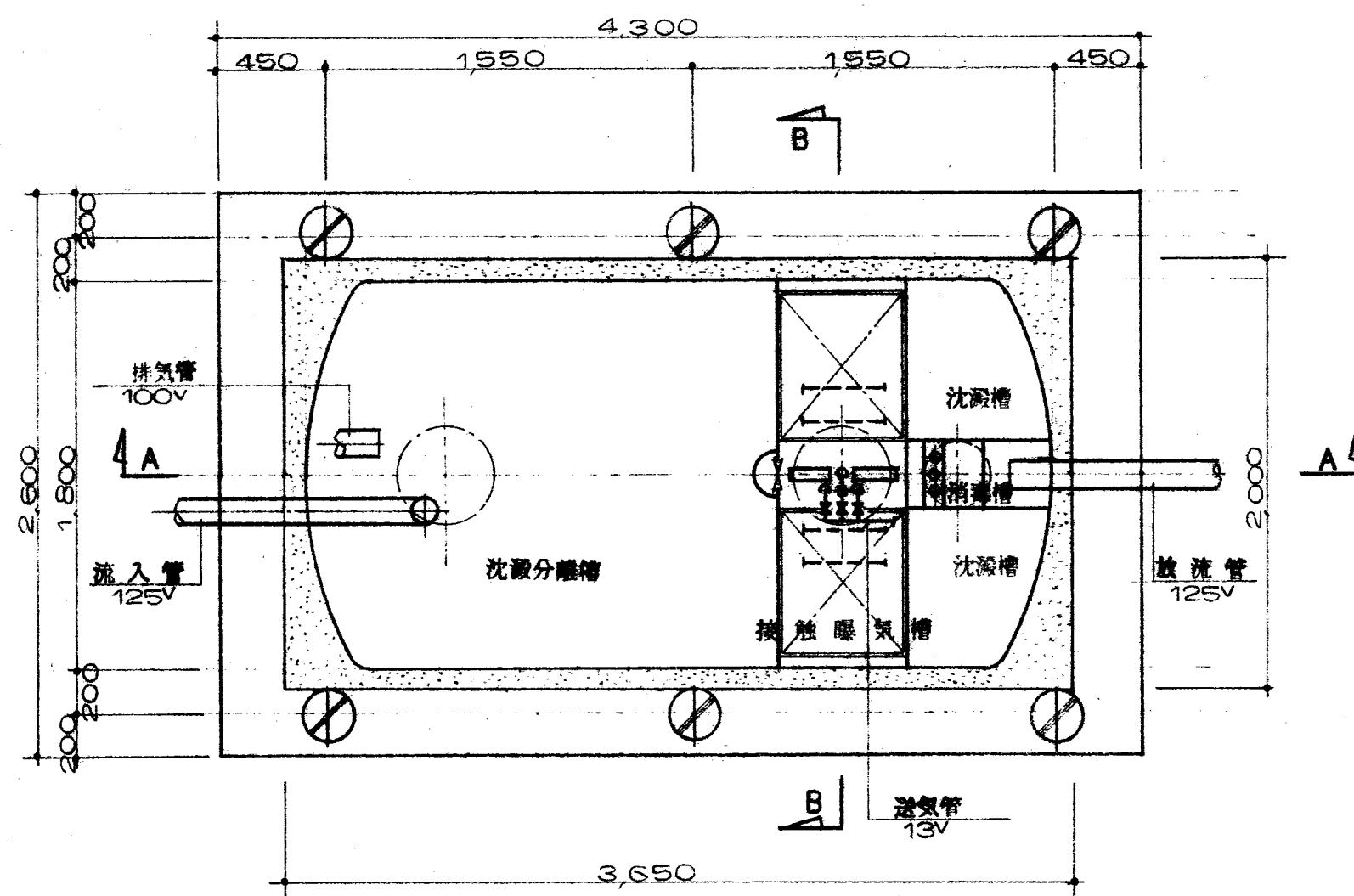
1 階 給排水衛生設備図 S=1:100



便所配管詳細図 S=1:50

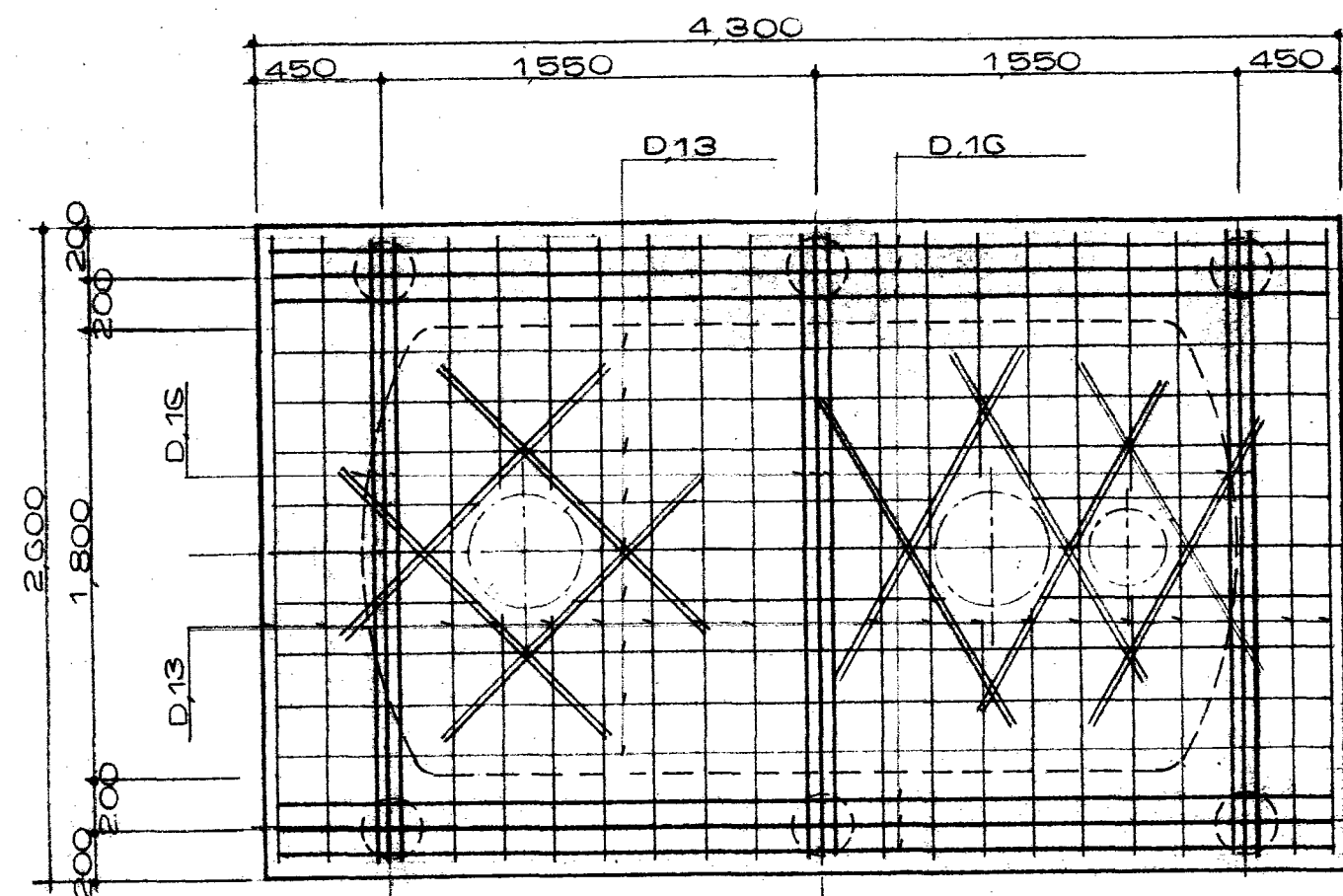


シャワー室、脱衣室、便所配管詳細図 S=1:50



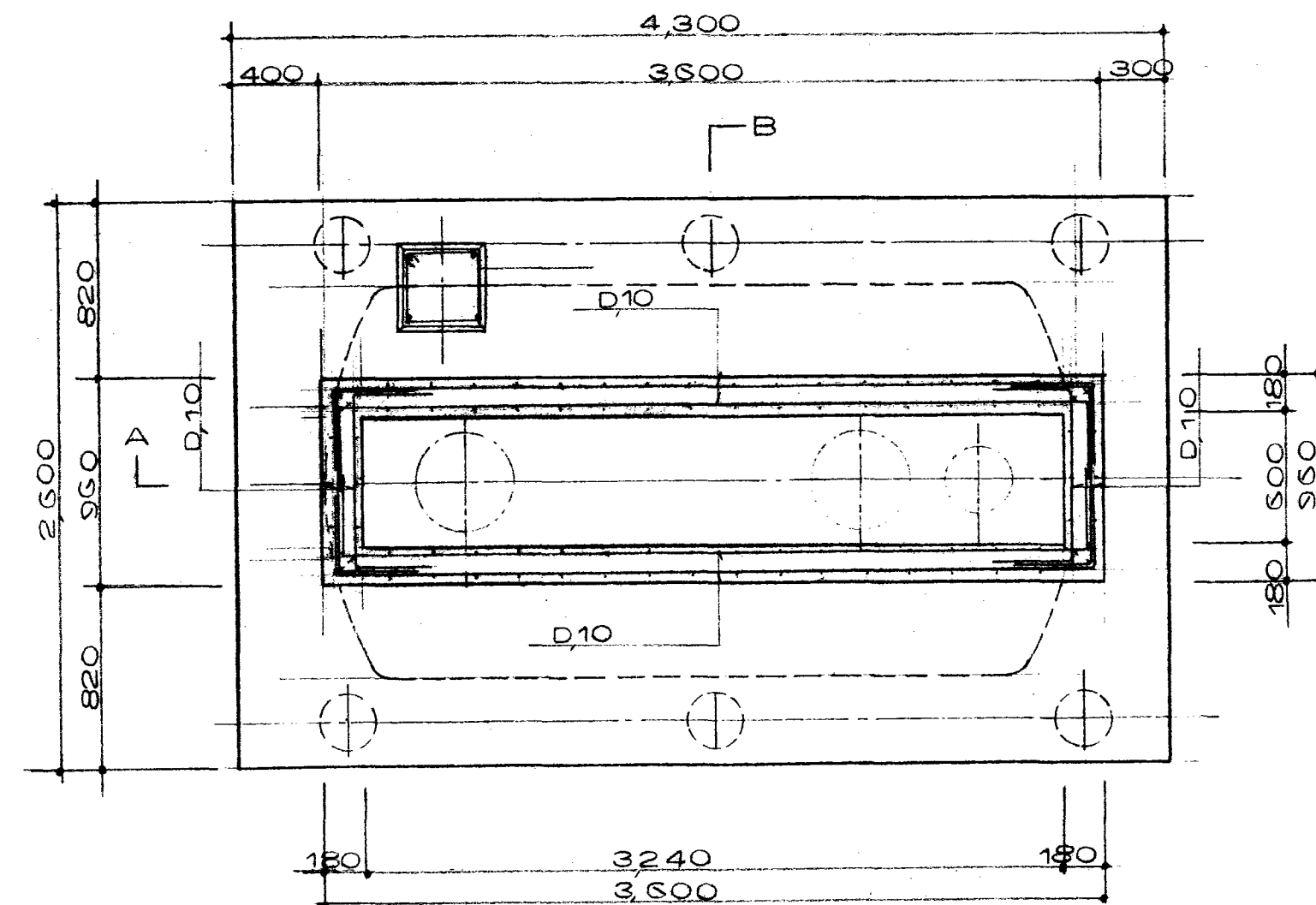
鋼板厚 2mm
F_c = 210 kg/cm²
SD - 30

単独処理 浄化槽 50人槽 90 PPM	
分離接触曝気方式	
認定番号	85-1A-185-5
型式番号	
名 称	容 積
沈殿分離槽	4,819 M ³
接触曝気槽	1,386 M ³
沈殿槽	0,832 M ³
消塞槽	0,033 M ³
ばっ気ブロー	
13φ×80φ×0.15kg/cm ² ×69W×1台	
単相100V	



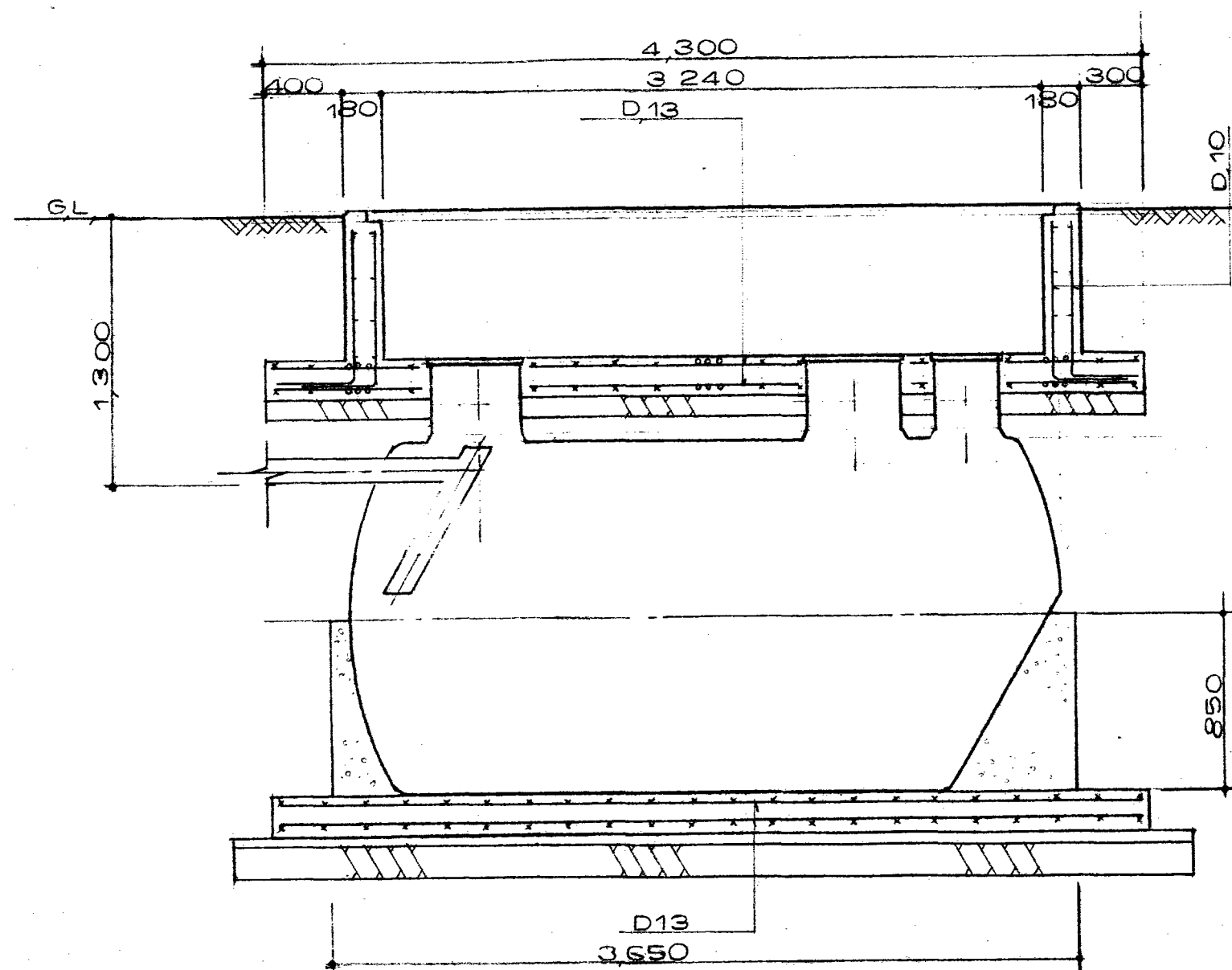
スラブ配筋平面図

S = 1 ; 30

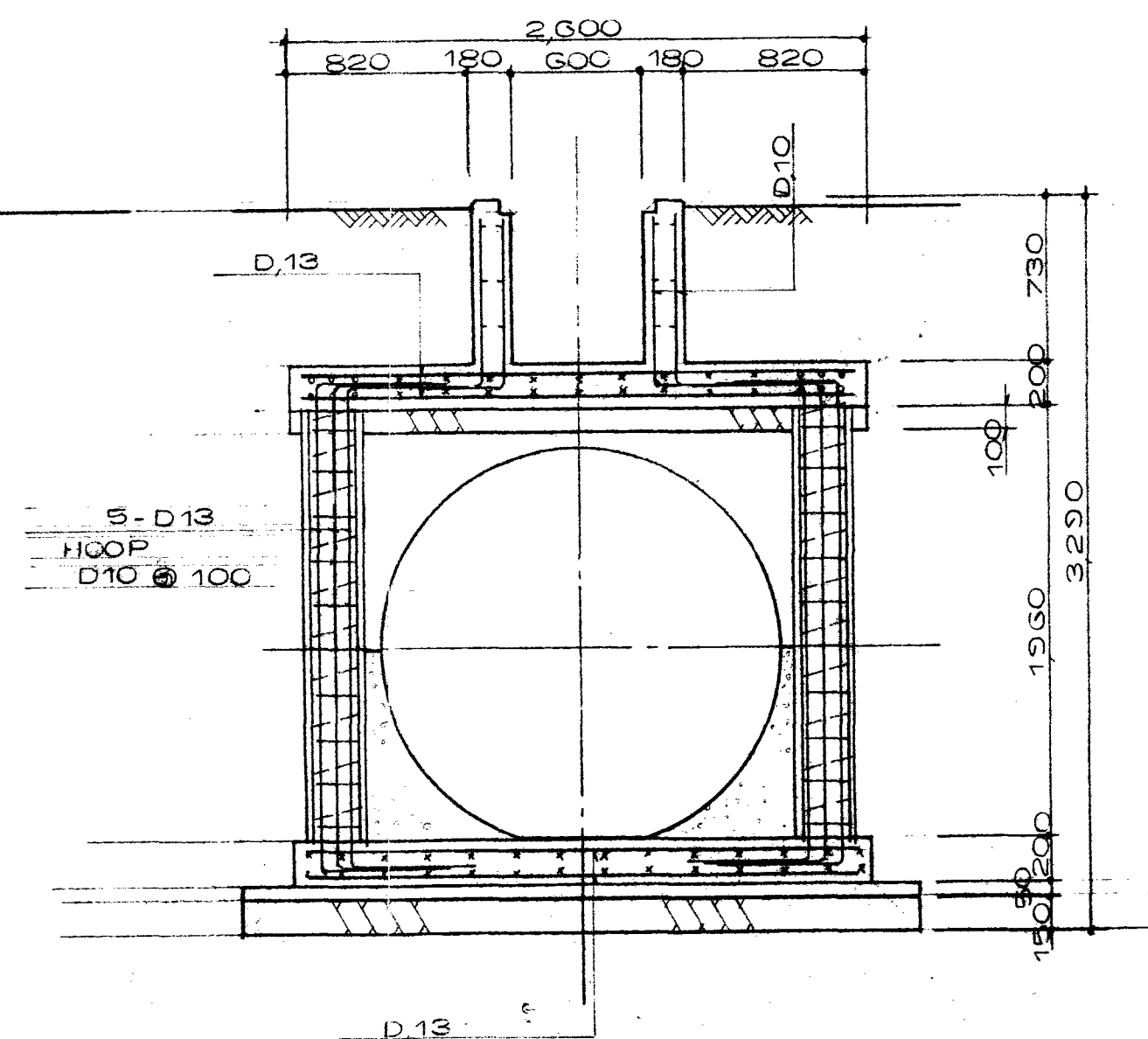


試驗比例配筋 平面圖

S = 1 : 30

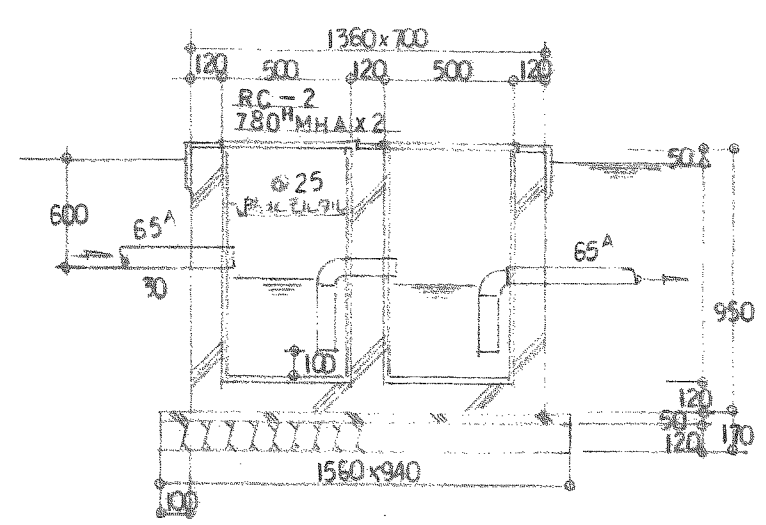
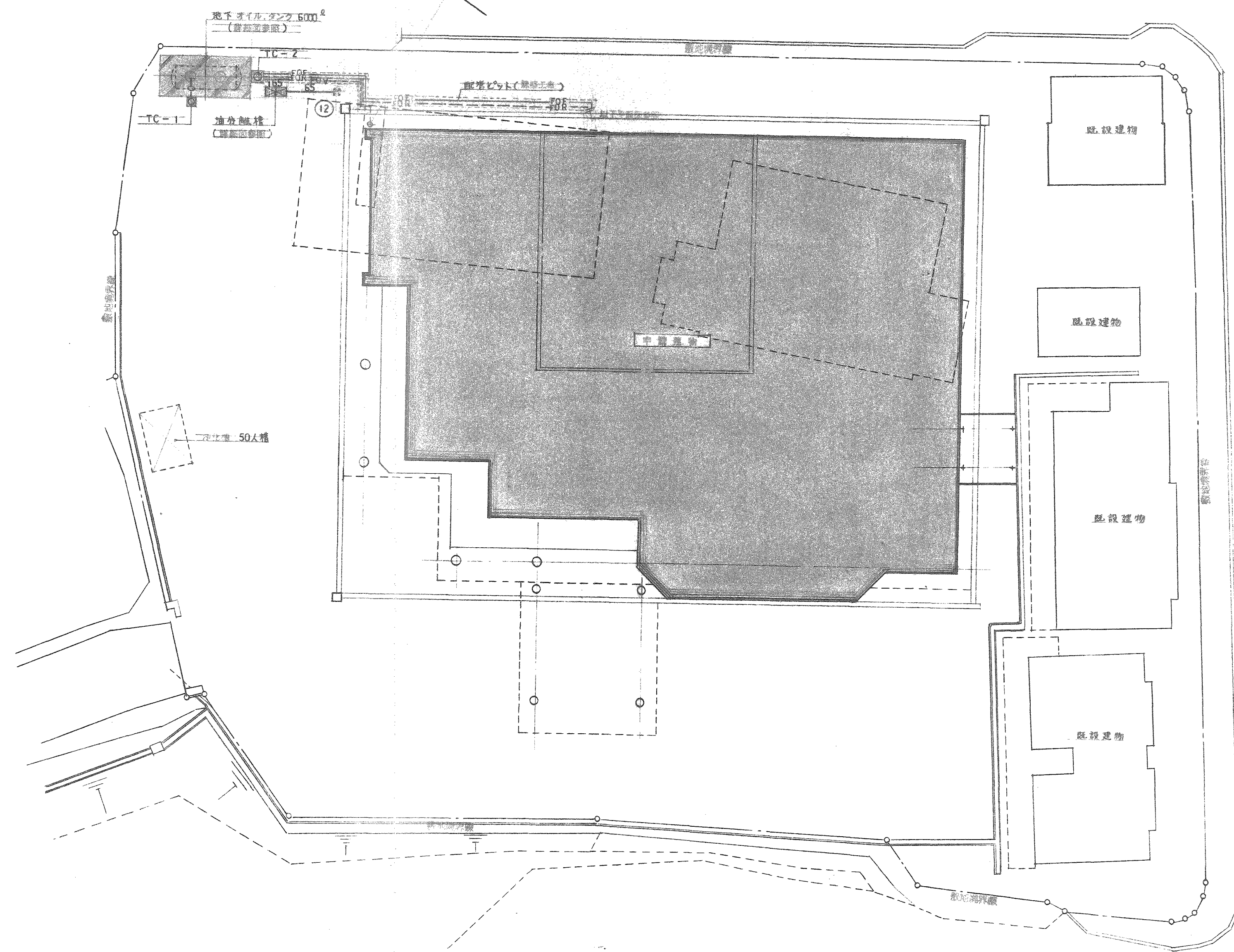
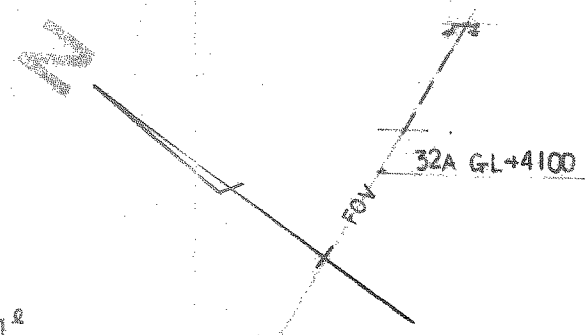


A - A S-1130



B - B S - 1 30

配筋表	
スラブ	主筋 鉄筋 共に D13 @ 200 タカレ
ベース	" "
壁	タカ 33 共に D10 @ 200 タカレ
友柱筋	5-D13
	HOOP D10 @ 100
開口補強筋	2-D13 上・下 2本ずつ
スラブ補強筋	短一様 3-D16 補強
躯体コンクリート	$F_c = 210 \text{ kg/cm}^2$
根巻コンクリート	$F_c = 180 \text{ kg/cm}^2$
床コンクリート	$F_c = 135 \text{ kg/cm}^2$
鉄筋	SD-30
砂	$Q \sim 40 \text{ mm}$

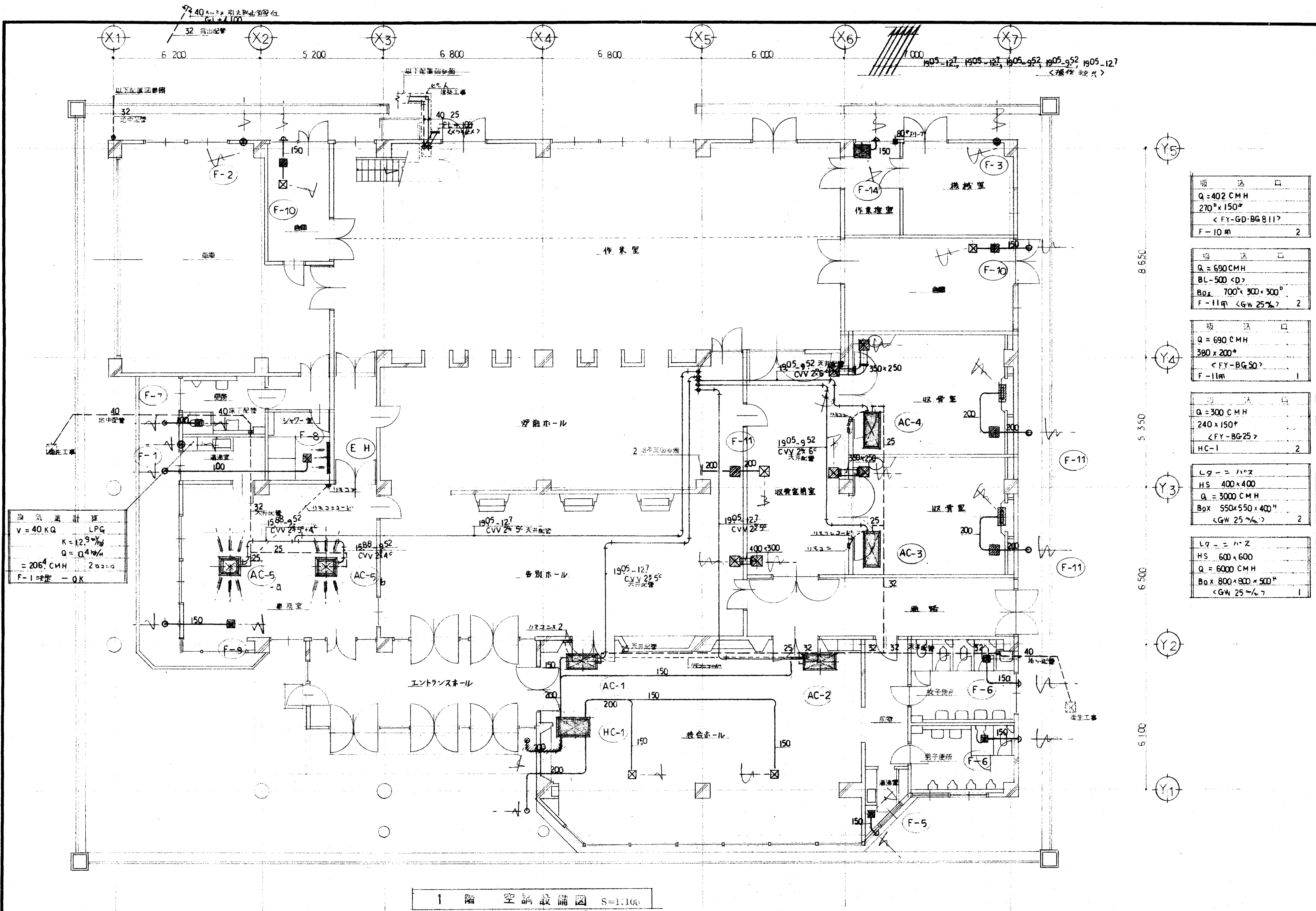


分断機断面図 NO SCALE
鉄筋 SD 30 10° 2=φVL @ 150

配置図 S=1:200

機 器 表

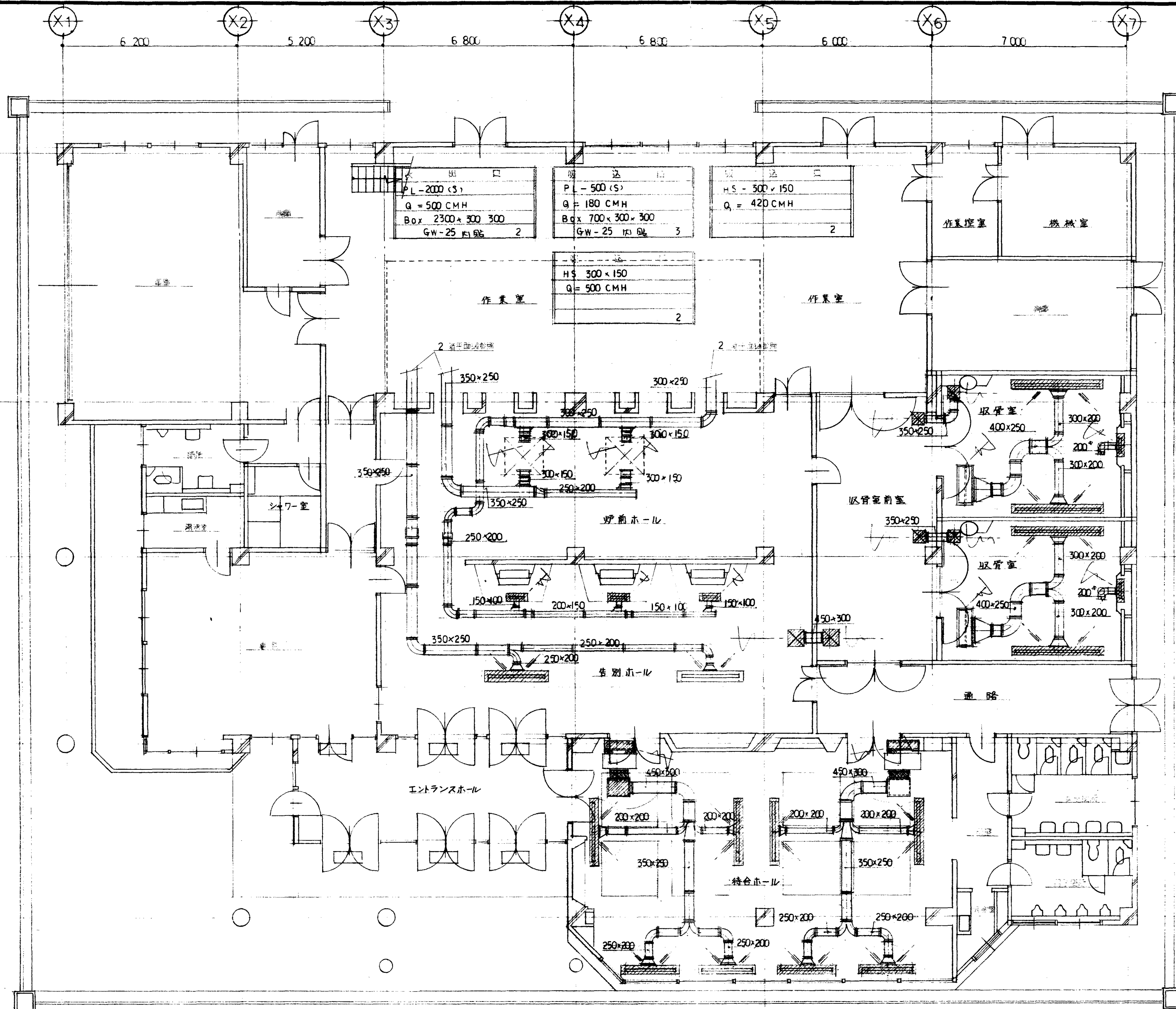
記号	機器名称	機器型式	機 器 仕 様	(系 統) 設置場所	台数	電 動 機			基礎・架台	備 考
						相	電圧	出力		
AC-1 ~2	空調機	空調機・ポンプ 天埋ダクト型	C=11200kcal/h ODU 1065 ^H ×1000×370 ^D H=12200 " IDU 360 ^H ×1300×650 ^D +E-HEAT<3kW> Q=2400 CMH P=15mmHg	待合ホール	2	3φ	200V	OD-3.75+0.14kW ID-3.0+0.4kW	コンクリート; 400 ^H <建築工事> 架台: 600 ^H	
AC-3 ~4	空調機	空調機・ポンプ フールカム型	C=9000kcal/h ODU 1065 ^H ×830×370 ^D H=9600 " IDU 290 ^H ×1500×700 ^D <K-9-12> Q=1620 CMH P=8mmHg	収容室	2	3φ	200V	OD-2.5+0.14kW ID-0.115kW	コンクリート; 400 ^H <建築工事> 架台: 600 ^H	
AC-5	空調機 <ツインタイプ>	空調機・ポンプ 天埋カム型	C=12500kcal/h ODU 1065 ^H ×1000×370 ^D H=13500 " IDU 290 ^H ×850×900 ^D ×2 +E-HEAT<2X2> Q=1200×2 CMH	事務室	1	3φ	200V	OD-4.1+0.16kW ID-2.0+3.5kW×2	コンクリート; 400 ^H <建築工事> 架台: 600 ^H	
HC-1	熱交換機ユニット	全熱/顕熱/換気	Q=600.800 CMH <蓄熱式両方式> 200 ^φ ダクト	待合ホール	1	1φ	100V	470W		
HC-2	熱交換機ユニット	全熱/換気	Q=800.1000 CMH <蓄熱回転式> 300 ^φ ダクト P=9~19mmHg	作業室	1	1φ	100V	715W		
F-1	送風機	金属製	250 ^φ ×882 CMH SUSフット・ホップ式 電動式	事務室	1	1φ	100V	25.5W		
F-2	送風機	スタンダード	250 ^φ ×900 CMH SUSフット・ホップ式 電動式	車庫	1	1φ	100V	25W		
F-3	送風機	箱型・低騒音形	300 ^φ ×1080 CMH SUSフット・ホップ式 風圧フィルター付	機械室	1	1φ	100V	25W		
F-4	送風機	箱型・大風量形	300 ^φ ×1740 CMH SUSフット・ホップ式 風圧フィルター付	2F機械室	2	1φ	100V	50W		
F-5	天井扇	インテリジヤ形	320 ^φ ×516 CMH SUSセルフレジ 風圧式150 ^φ ダクト	浴室	1	1φ	100V	64W		
F-6	天井扇	インテリジヤ形	270 ^φ ×261 CMH SUSセルフレジ 風圧式150 ^φ ダクト	男子トイレ 女子トイレ	2	1φ	100V	29W		
F-7	天井扇	インテリジヤ形	170 ^φ ×84 CMH SUSベルトキャップ 風圧式100 ^φ ダクト	便所	1	1φ	100V	28W		
F-8	天井扇	<スリム型> インテリジヤ形	240 ^φ ×135 CMH SUSベルトキャップ 風圧式100 ^φ ダクト	シャワー室	1	1φ	100V	22W		
F-9	天井扇	インテリジヤ形	270 ^φ ×261 CMH SUSベルトキャップ 風圧式150 ^φ ダクト	事務室	1	1φ	100V	29W		
F-10	中間ダクトファン	ミロコファン	200 ^φ ×402 CMH SUS<VC-S>×1 風圧式150 ^φ ダクト 満室吸込口 270 ^φ 付	車庫	2	1φ	100V	79W		
F-11	中間ダクトファン	ミロコファン	230 ^φ ×690 CMH SUS<VC>2.SFx1 風圧式200 ^φ ダクト	収容室他	3	1φ	100V	135W		
F-12	中間ダクトファン	静音斜流ダクトファン	300 ^φ ×1260 CMH	作業室	1	1φ	100V	91W		
F-13	中間ダクトファン	静音斜流ダクトファン	450 ^φ ×2400 CMH	"	2	1φ	100V	228W		
F-14	天井扇	台所用	270 ^φ ×261 CMH SUSセルフレジ 風圧式150 ^φ ダクト 天井フィルター付	作業室	1	1φ	100V	29W		
E H	パネルヒーター	ガスヒート壁掛型	H=688 kcal/h 防湿加工 1355×250×45	シャワー室	1	1φ	100V	800W		



換気量計算
 $V = 40 \text{ KQ}$ LPG
 $K = 12.9 \text{ m}^3/\text{h}$
 $Q = 0.4 \text{ m}^3/\text{h}$
 $= 206 \text{ CMH}$ 2台必要
 F-1 1台定 - QK

吸込口 $Q = 402 \text{ CMH}$ $270 \times 150^*$ $< \text{FY-GD-BG811} >$ F-10 1台 2
吸込口 $Q = 690 \text{ CMH}$ $BL-500 < D >$ $B \times L: 700 \times 300 \times 300^*$ $F-11 \text{ 台} < G.W. 25\% >$ 2
吸込口 $Q = 690 \text{ CMH}$ $380 \times 200^*$ $< \text{FY-BG50} >$ F-11 1台 1
吸込口 $Q = 300 \text{ CMH}$ $240 \times 150^*$ $< \text{FY-BG25} >$ HC-1 2台 2
吐出 $L \times W = \text{ハズ}$ $HS: 400 \times 400$ $Q = 3000 \text{ CMH}$ $B \times L: 550 \times 550 \times 400^*$ $< G.W. 25\% >$ 2
吐出 $L \times W = \text{ハズ}$ $HS: 600 \times 600$ $Q = 6000 \text{ CMH}$ $B \times L: 800 \times 800 \times 900^*$ $< G.W. 25\% >$ 1

1 階 空調設備図 S=1:100



PL-2000 (D)	Q = 810 CMH	Box 2300 x 350 x 350	GW-25 内貼	4
-------------	-------------	----------------------	----------	---

PL-500 (S)	Q = 180 CMH	Box 700 x 300 x 300	GW-25 内貼	3
------------	-------------	---------------------	----------	---

PL-1800 (D)	Q = 700 CMH	Box 2100 x 350 x 350	GW-25 内貼	4
-------------	-------------	----------------------	----------	---

PL-2000 (S)	Q = 500 CMH	Box 2300 x 300 x 300	GW-25 内貼	4
-------------	-------------	----------------------	----------	---

HS 1200 x 400	2台	Q = 2400 CMH	GW-25 内貼	2
---------------	----	--------------	----------	---

S 1100 x 600 x 500	2	GW-50 内貼	2
--------------------	---	----------	---

S 1000 x 200 x 300	2	R 1200 x 300 x 150	2
--------------------	---	--------------------	---

1 階 空調設備図

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7
6200 5200 6800 6800 6000 7000

Y1
6550
Y2
5350
Y3
6500
Y4
6100
Y5

給気ガラリ
2700 x 1000 ^H
Q = 10800 CMH
75mm付
アルミ、北付
1

給気ガラリ
2700 x 1000 ^H
75mm付
アルミ、北付
1

給気チャーム
2700 x 1000 x 600 ^D
GW-50% 内張り
1

給気チャーム
2700 x 1000 x 600 ^D
GW-50% 内張り
1

給気ガラリ
1500 x 1000 ^H
Q = 10800 CMH
75mm付
アルミ、北付
1

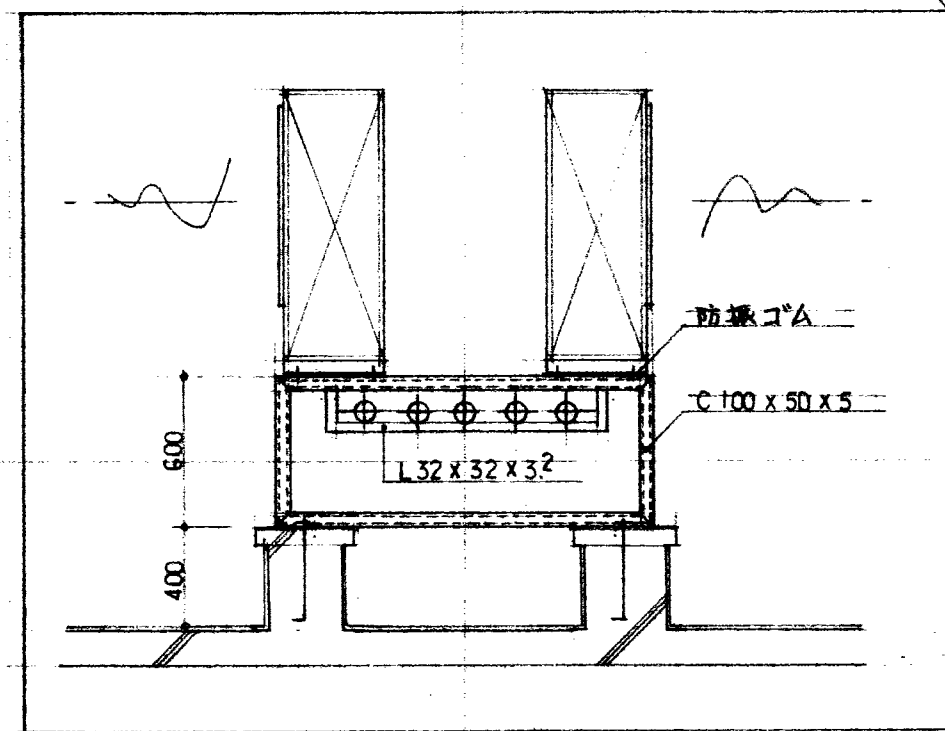
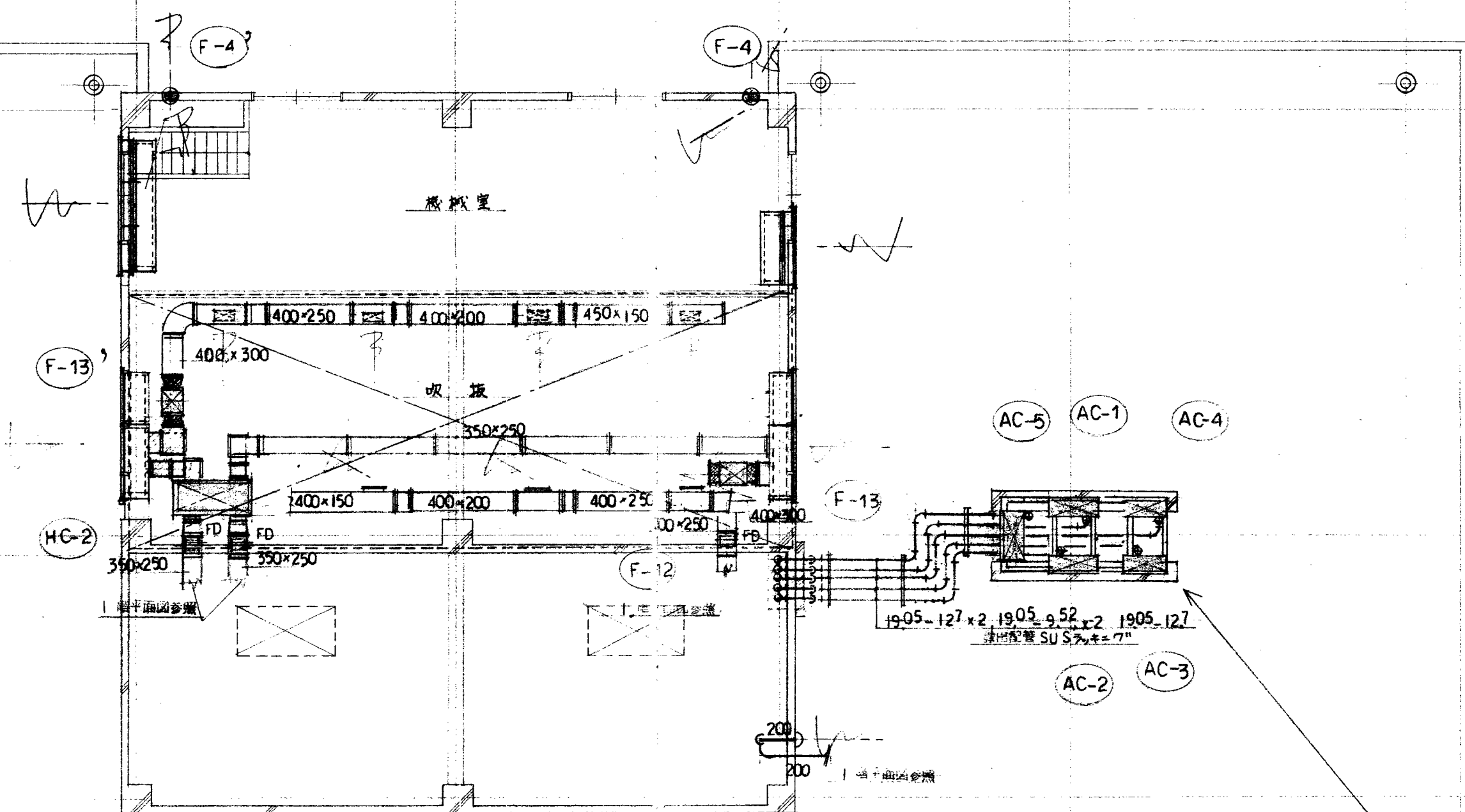
給気ガラリ
2700 x 1000 ^H
75mm付
アルミ、北付
1

給気チャーム
2700 x 1000 x 600 ^D
GW-50% 内張り
1

給気チャーム
2700 x 1000 x 600 ^D
GW-50% 内張り
1

吸込口
VHS 300 x 150
Q = 600 CMH
4

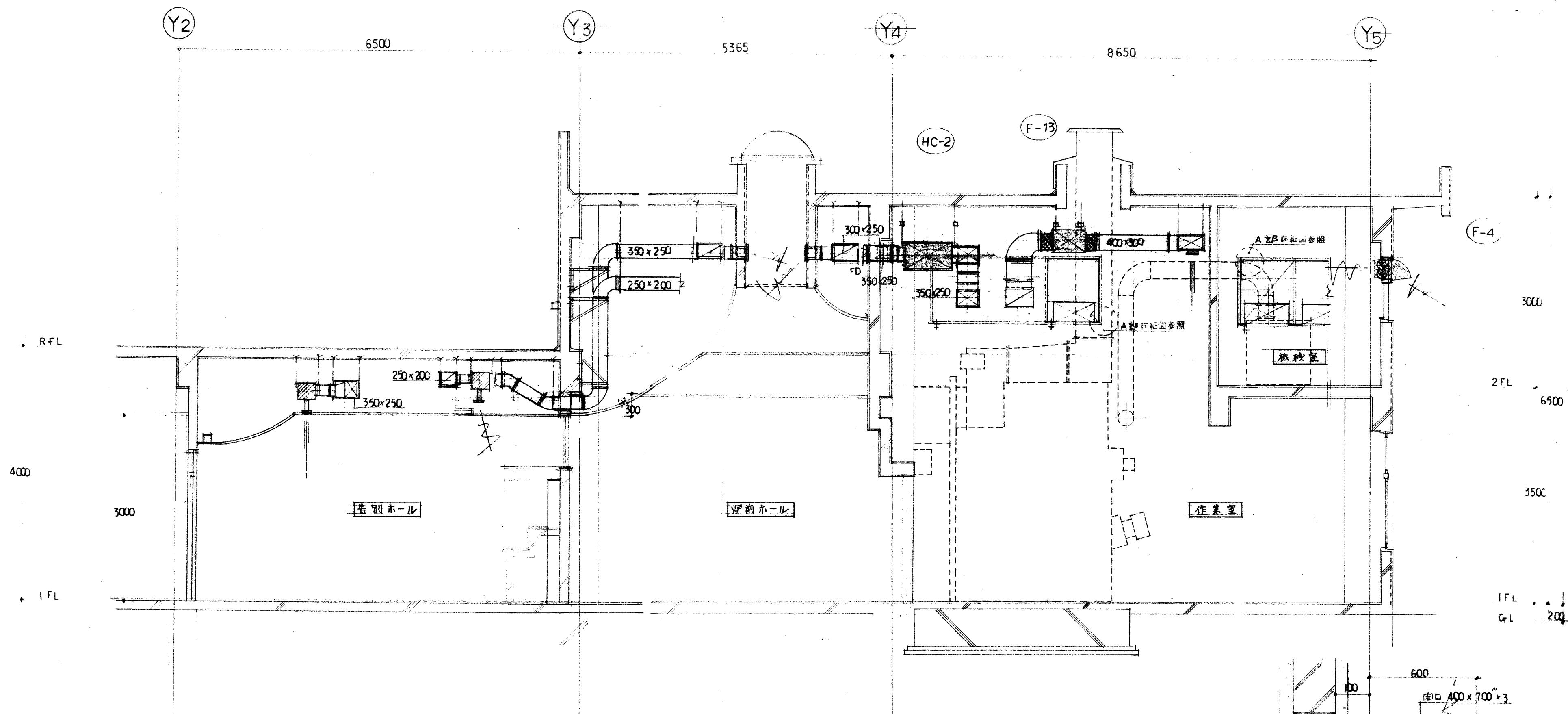
吸込口
HS 300 x 150
Q = 600 CMH
4



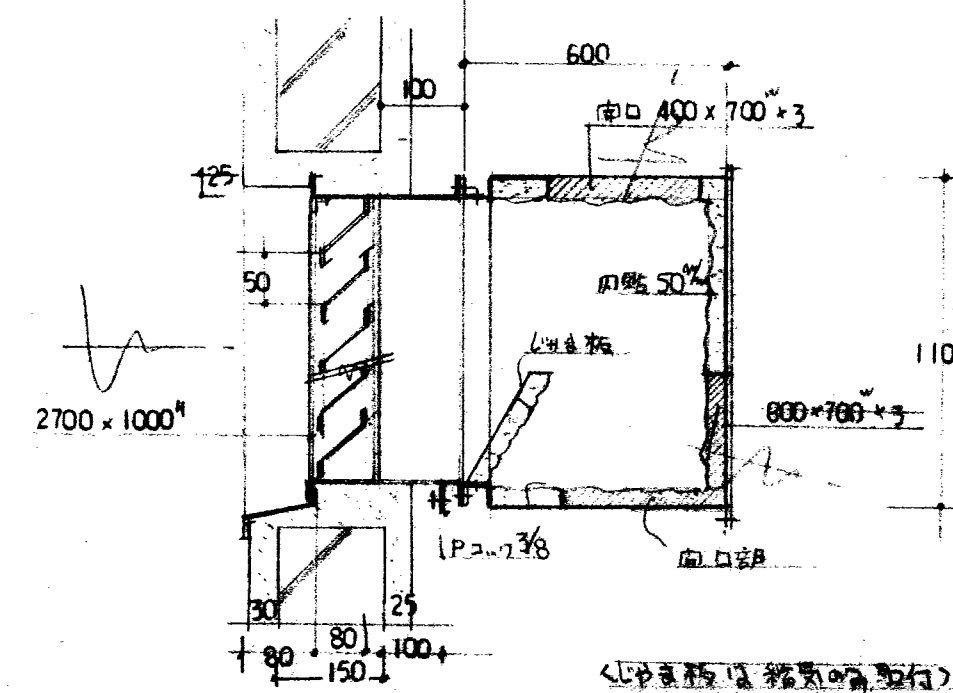
19.05-127 x 2, 19.05-9.52 x 2, 19.05-127

外気取り入れダクト
断熱部 厚30mm以上
口出ダクトOP止部

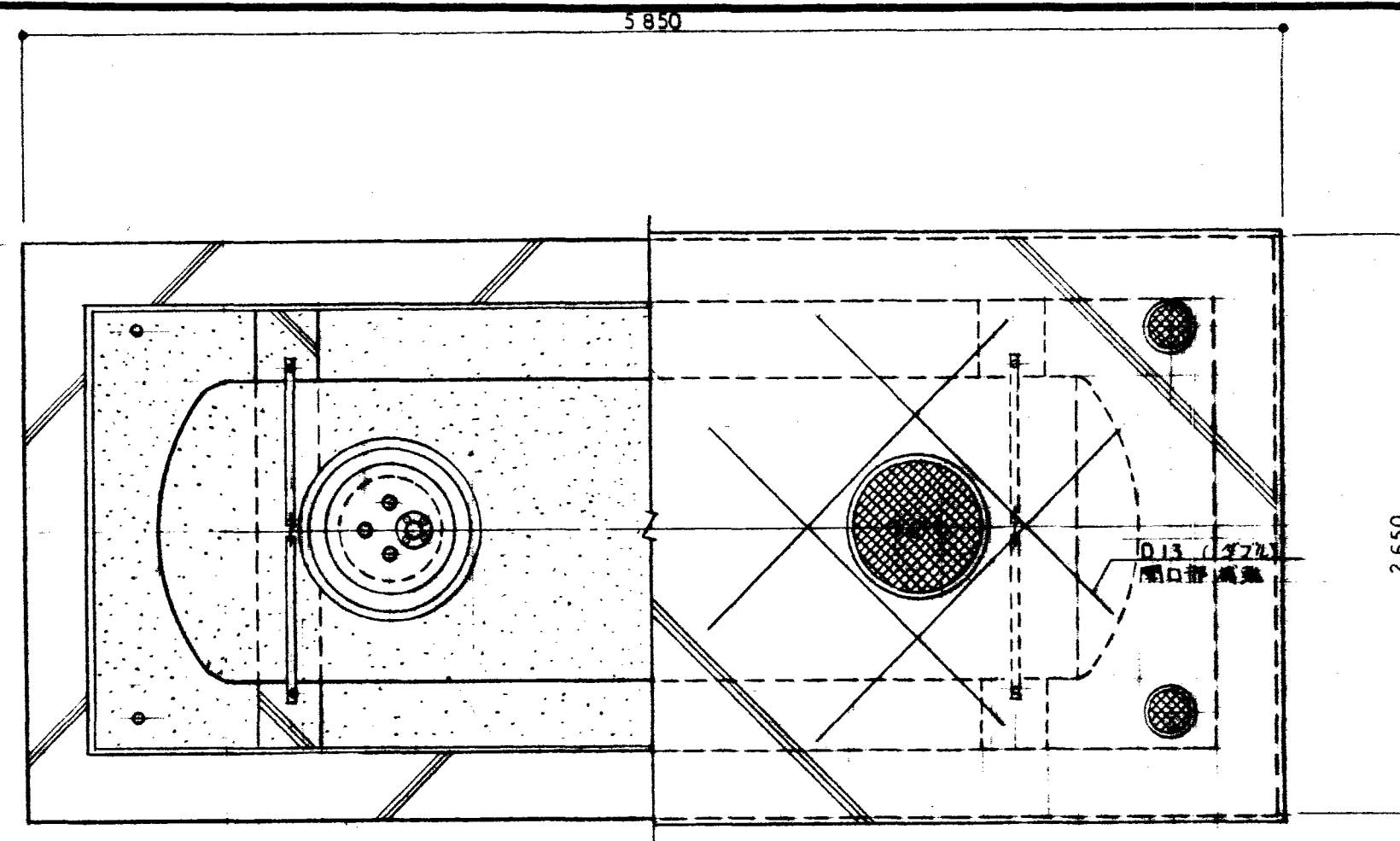
2 階 空調設備図 S=1:100



断面詳細図 S=1:50

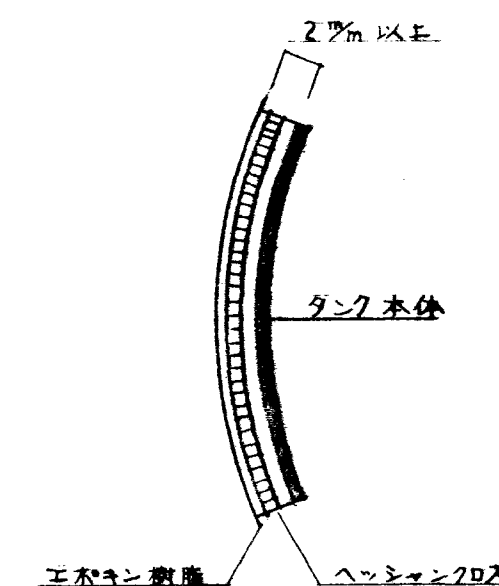


A部 断面詳細図



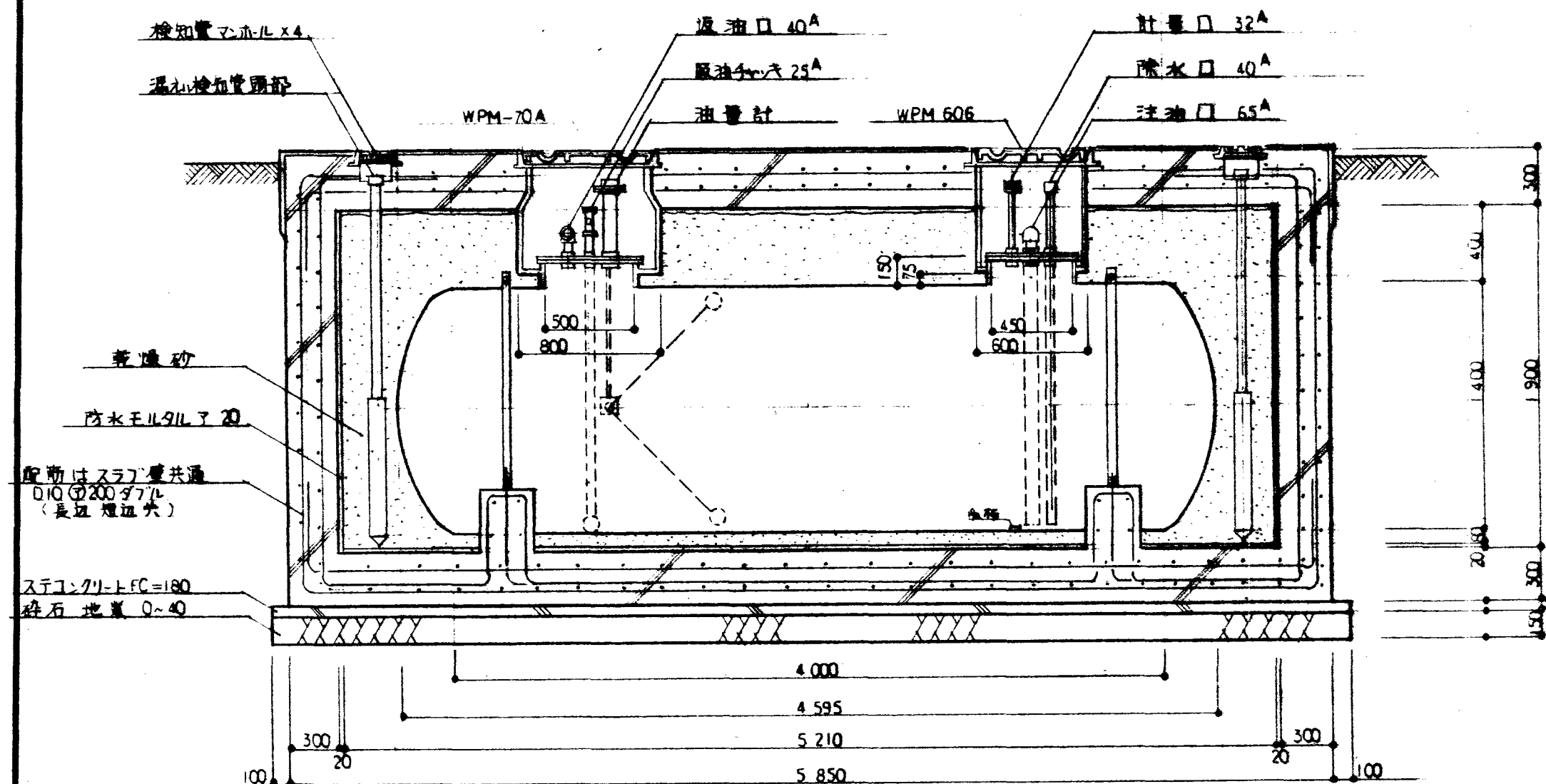
オイル地下タンク詳細図 S=1:30

オイル地下タンク仕様			
寸法	1400 x 4000 (4595)		
容量	6000 ^ℓ		
板厚	鋼 6.0	鉄 6.0	
注油口	65	ストレー	
計量口	32		
汲油口	25	アングルチャッキ	
汲油口	40		
排水口	40		
通気口	32		
油面計取付口	100	ELL-5192	
付属品			
プロテクター	800 ^φ x 700 ^φ x 1 600 ^φ x 1		
漏えい検知管及び小た	200 ^φ x 4 ^φ		
マンホール	600 ^φ x 1 700 ^φ x 1 (WPM)		
固定バンド	FB 50 x 6		



エポキシ樹脂塗り

オイル地下タンク詳細図 S=1:30



オイル地下タンク詳細図 S=1:30

